SHARP

# 取扱説明書

## 液晶カラーテレビ

形 名

エル シー ビーティー

# LC-37BT5

**応用編** 本機を使いこなし、より楽しくご覧いただくためのガイドブックです

テレビを使いこなす

BS／110°CSデジタル放送の機能と操作

他の機器をつないで使う

情報ページ

このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

**この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**

- ご使用前に「安全上のご注意」（基本編 4ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

# もくじ

## テレビを使いこなす 5



## BS／110°CS デジタル放送の機能と操作 39

## BS／110゜CS デジタル放送の機能と操作 （つづき）



## 他の機器をつないで使う 87

# もくじ(つづき)

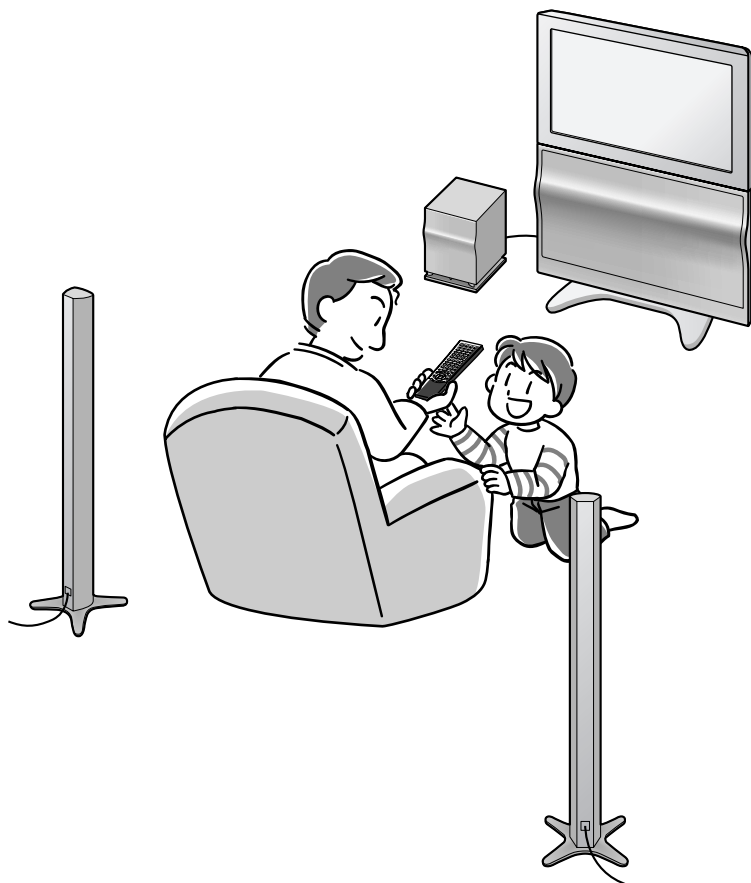
**他の機器を つないで使う (つづき)**



**情報ページ 133**



**ご注意** お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※ 本取扱説明書に掲載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。
※ 本取扱説明書で「テレビ」と表現している場合は、液晶カラーテレビを表します。

# テレビを使いこなす

● この章では、テレビのいろいろな機能を使いこなし、より楽しくご覧いただくために、各機能と操作方法につき説明しています。

# 画面サイズの自動最適化(オートワイド)

## オートワイド機能について

■オートワイドとは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。

■オートワイド機能にはつぎの4つの項目があります。各項目はテレビメニューの操作で設定します。

「映像判別」………… 受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に最適化するよう設定することができます。(☞**7**ページ)

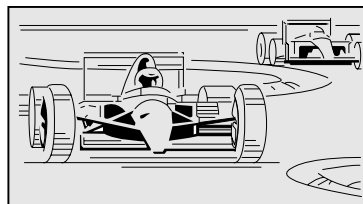
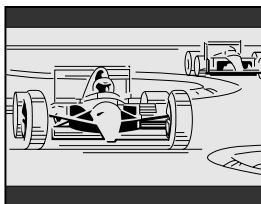
「EDTVII対応」…… ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。(水平高画質化機能はありません。)(☞**8**ページ)

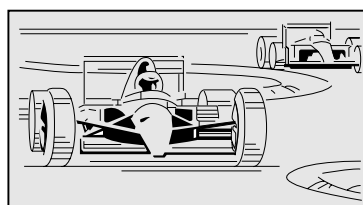
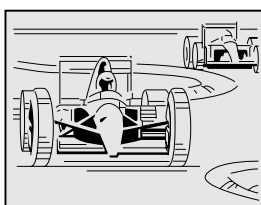
「S2対応」…………… S2入力端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。(☞**10**ページ)
(ビデオ入力のみ)

「D識別対応」……… D4映像端子に接続するケーブルを選択します。(☞**11**ページ)
(ビデオ1·2入力のみ)

### オートワイド機能を働かせたときの画面表示例

上下に黒い帯の入った映像

- 映像判別
- EDTVII対応
- S2対応
- D識別対応

スクイーズ映像

- S2対応
- D識別対応

- オートワイド機能が働いているとき画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。これは表示している映像に最適な画面サイズを探そうとしているために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、つぎの手順を行い、オートワイド機能が働かないようにしてください。
  ① テレビメニューボタンを押し、テレビメニュー画面を表示する。
  ② 左右カーソルボタンで「本体設定」を選ぶ。
  ③ 上下カーソルボタンで「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。
  ④ 画面に表示されているすべての項目(「映像判別」「EDTVII対応」「S2対応」「D識別対応」のうち表示されているもの)を「しない」に設定する。(D識別対応は「信号」に設定する。)
  • 詳しい操作方法については、**7**〜**11**ページをご覧ください。
  ⑤ テレビメニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す。
- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによってオートワイド機能が働かない場合があります。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 字幕など画面の一部が欠ける場合には、位置調整(**12**ページ)で垂直位置を調整してください。このとき、画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能(オートワイド機能を含む)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

## 映像判別の設定

■受信している放送や外部入力されたソフトの映像の上下に黒い帯があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」にする機能です。
■映像判別機能は、テレビを受信しているとき、ビデオ1〜4入力およびi.LINK入力のときに働きます。

扉を開けたところ

**1**

① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する
② ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ
③ ▲ ▼で「オートワイド」を選び、決定を押す

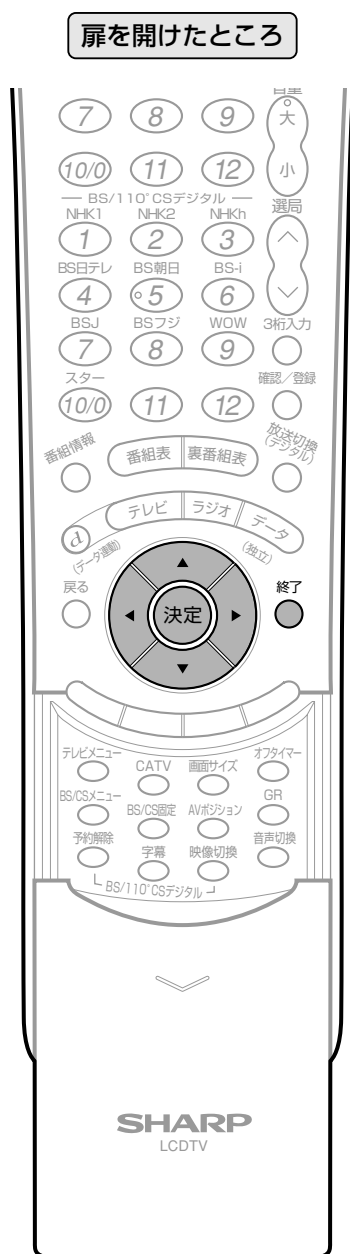
**2**

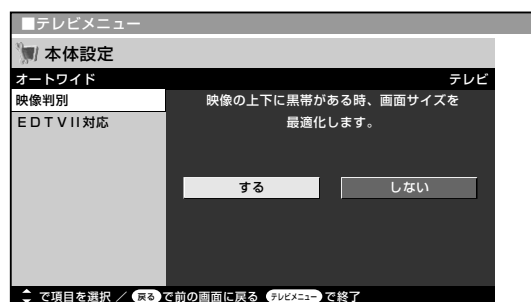
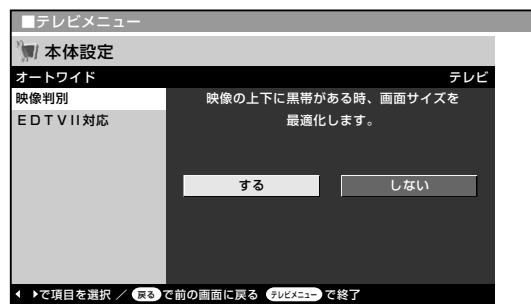
▲ ▼で「映像判別」を選び、決定を押す

**3**

◀ ▶で「する」または「しない」を選ぶ

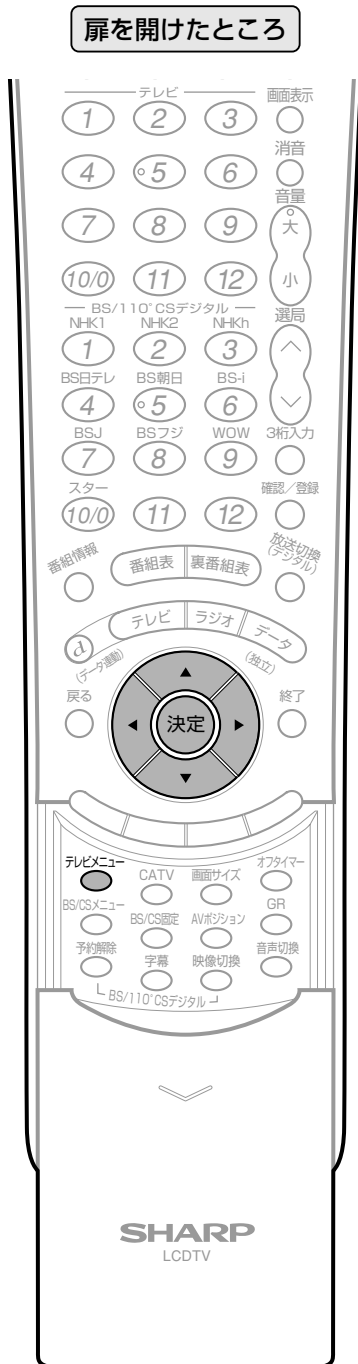
**4**

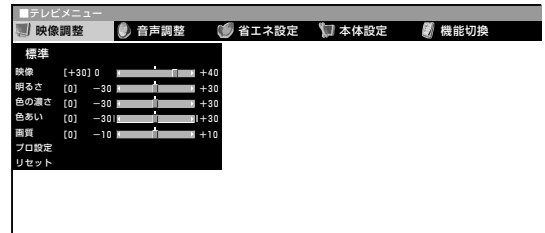
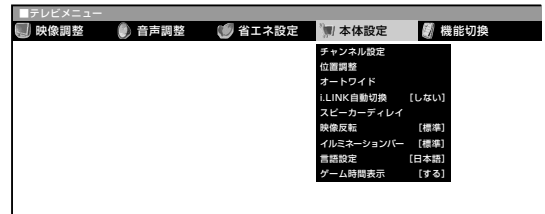
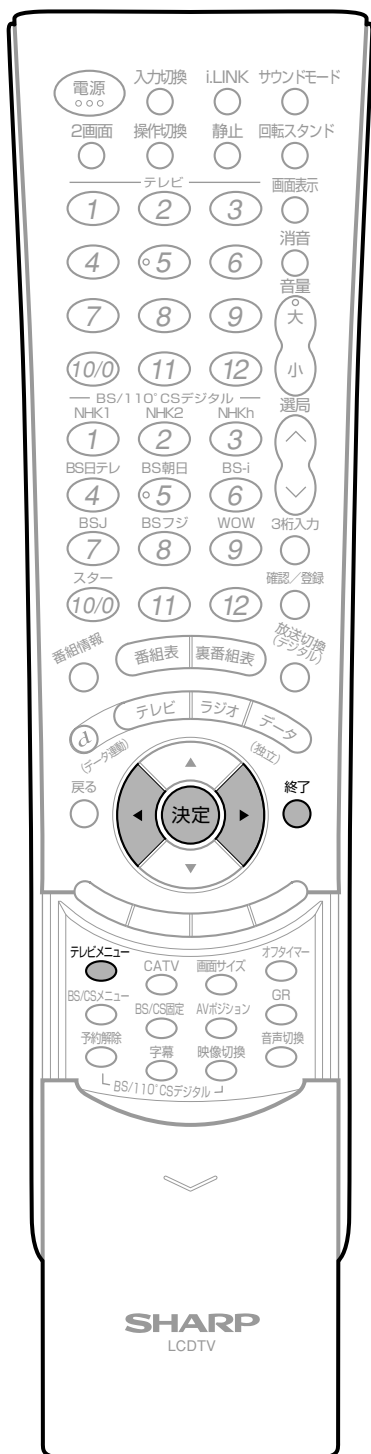
テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ

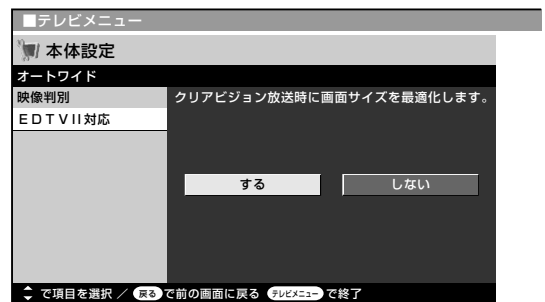
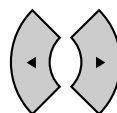
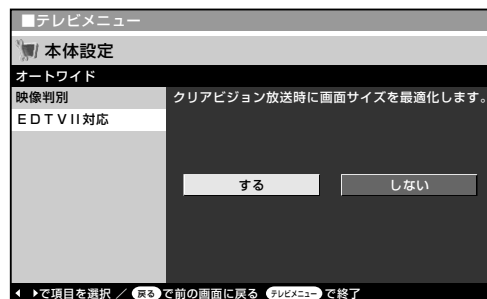
**映像判別機能について**
- コンポーネント映像端子、D4映像端子からの入力に対しては、入力された映像が「525i」のときのみ働きます。
- BS/110°CSデジタル放送のハイビジョン映像、525p映像に対しては働きません。

# 画面サイズの自動最適化(オートワイド)(つづき)

## EDTVII対応の設定

■ワイドクリアビジョン放送の画面サイズ制御信号を識別して、自動的に画面サイズを「シネマ」にする機能です。

■EDTVII対応機能は、テレビを受信しているとき、ビデオ1〜4入力のとき(入力選択が「ビデオ映像」「S2映像」または「自動」で、それらが表示されているとき)に働きます。

扉を開けたところ

**1** テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

**2** ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ

**3** ▲ ▼で「オートワイド」を選び、決定を押す

**4** ▲ ▼で「EDTVII対応」を選び、決定を押す

次ページへ

**5** で「する」または「しない」を選ぶ

**6**  または 終了 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

EDTVII対応機能について

- ワイドクリアビジョン放送をテレビから録画したものを視聴する場合、機能しないことがあります。

# 画面サイズの自動最適化(オートワイド)(つづき)

## S2対応の設定

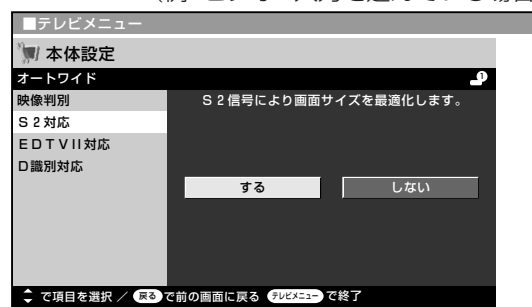
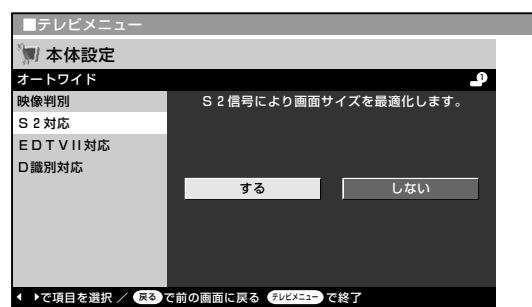
■S2映像端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。
■S2対応機能は、ビデオ1～4入力のとき(入力選択が「S2映像」または「自動」でS2映像が表示されているとき)に働きます。

扉を開けたところ

**1** 入力切換を押し、S映像ケーブルを接続しているビデオ入力を選ぶ

**2**
① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ
③ ▲▼で「オートワイド」を選び、決定を押す

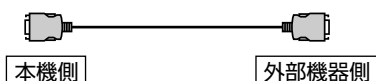
**3** ▲▼で「S2対応」を選び、決定を押す

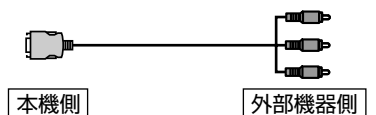
(例. ビデオ1入力を選んでいる場合)

**4** ◀▶で「する」または「しない」を選ぶ

**5** テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

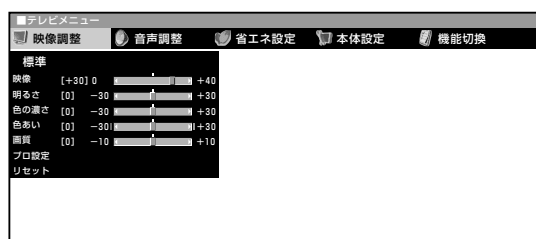
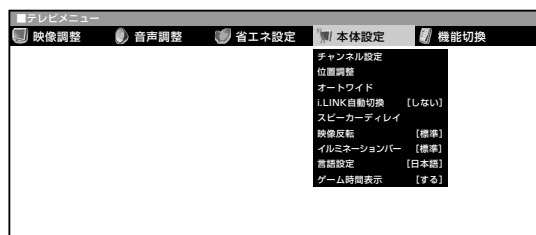
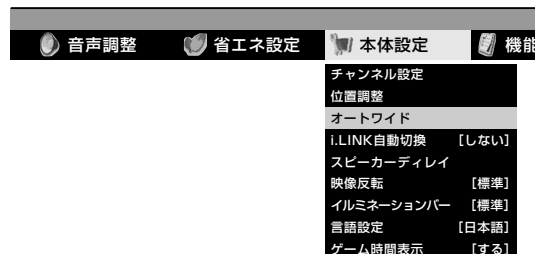
## D識別対応の設定

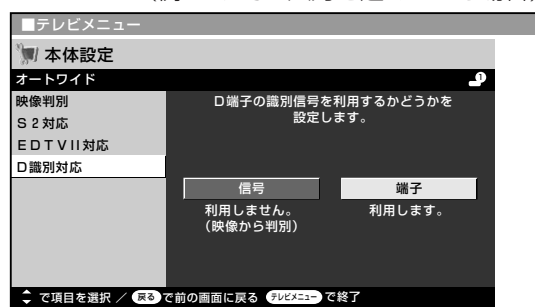
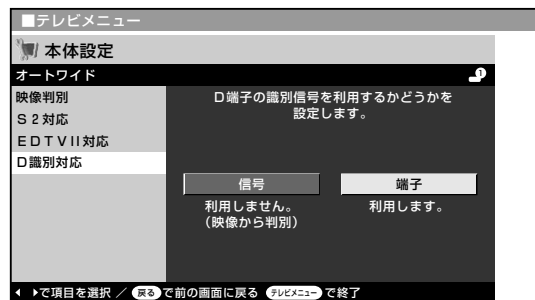
■D4映像端子と外部機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えることができます。

「端子」：外部機器との接続に使うケーブルがD端子接続ケーブルのときは、「端子」に設定します。

本機側　外部機器側

「信号」：外部機器との接続に使うケーブルがD-コンポーネント変換ケーブルのときは、「信号」に設定します。

本機側　外部機器側

**1** 入力切換を押し、D端子ケーブルまたはD-コンポーネント変換ケーブルを接続しているビデオ入力(1または2)を選ぶ

**2** テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

**3** ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ

**4** ▲ ▼で「オートワイド」を選び、決定を押す

**5** ▲ ▼で「D識別対応」を選び、決定を押す

(例. ビデオ1入力を選んでいる場合)

**6** ◀ ▶で「信号」または「端子」を選ぶ

**7** テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

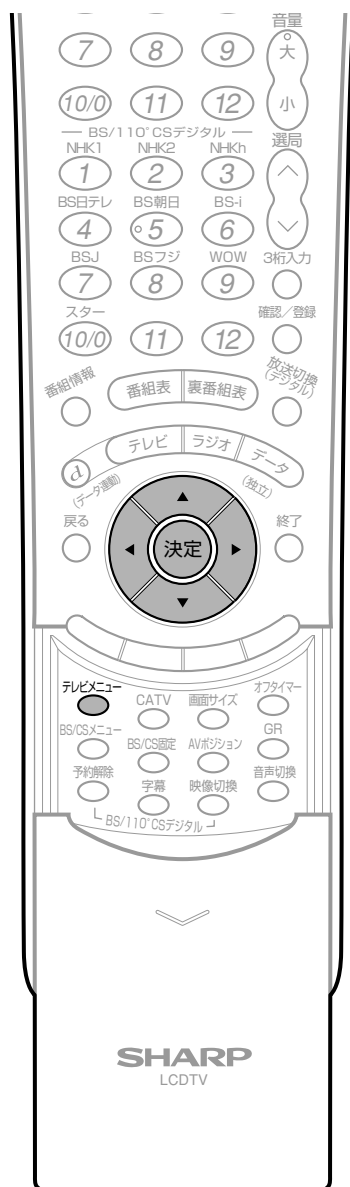
おしらせ
● D端子接続ケーブルやD-コンポーネント変換ケーブルは、市販のものをご使用ください。

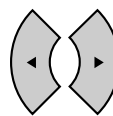
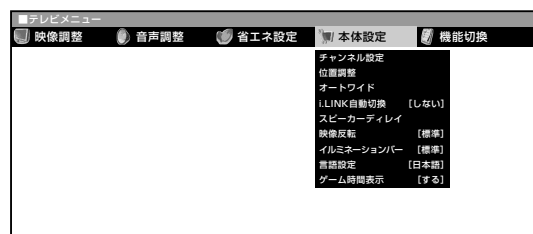
# 画面の位置を調整する

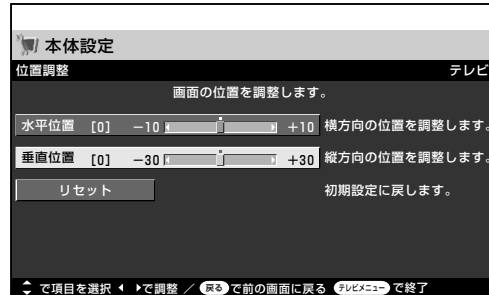
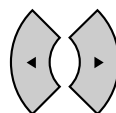
## 画面位置の調整のしかた

### 画面位置の調整について

- 画面の位置を調整することができます。
  「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
  「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

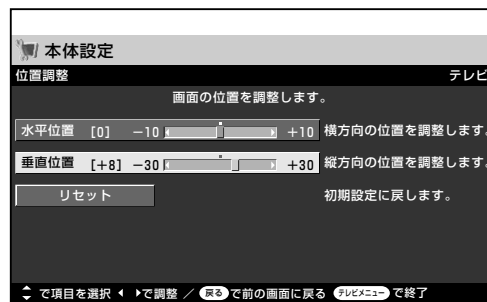
扉を開けたところ

[例] 画面の垂直位置を調整する

**1** テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

**2** ◀ ▶で「本体設定」を選ぶ

**3** ▲ ▼で「位置調整」を選び、決定を押す

**4** ▲ ▼で「垂直位置」を選ぶ

次ページへ

扉を開けたところ

## 5 ◀ ▶ で適切な位置に調整する

- 水平位置は、−10〜0〜+10の範囲で調整できます。
- 垂直位置は、−30〜0〜+30の範囲で調整できます。

## 6 テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

**工場出荷時の設定に戻したいとき**

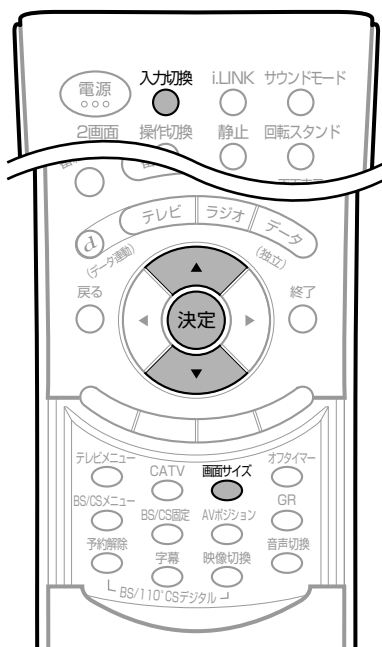
- 手順**4**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

# PC入力の画面サイズ切換えと位置調整

## 画面サイズを選ぶ

Dot by Dot(ドット・バイ・ドット)とは
- 接続したPC(パソコン)からの入力信号の解像度どおりのパネル画素数で表示する機能です。(**127**ページ「PC入力対応表」参照)

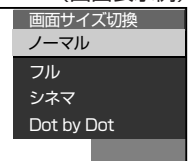
- 縦横比16：9の映像が入力されたときの表示サイズについては、「入力解像度を選択する」(**128**ページ)をご参照ください。

扉を開けたところ

■操作を行う前に、本機とPC(パソコン)を接続しておいてください。(**126**ページ参照)

**1** 入力切換 **をくり返し押し、PC画面にする**

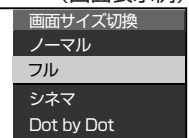
**2** 画面サイズ **を押し、画面サイズ切換メニューを表示する**

(画面表示例)

画面サイズ切換
ノーマル
フル
シネマ
Dot by Dot

- メニュー表示中につぎの操作を行います。

**3** 画面サイズ **または ▲ ▼ で、お好みの画面サイズを選び、決定 を押す**

(画面表示例)

画面サイズ切換
ノーマル
フル
シネマ
Dot by Dot

おしらせ
- PC入力時、無信号状態では画面サイズの切換えができません。
- PC入力時、画面サイズ「シネマ」を選択していると、画面の下端が切れるため、操作に使う画面上のボタンが隠れて見えず、PCのシャットダウン操作などができないことがあります。その場合は、他の画面サイズに切り換えてから行ってください。

■つぎの画面サイズから選択できます。(入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。)

| 入力信号 | ノーマル | フル | シネマ | Dot by Dot |
|---|---|---|---|---|
| 4：3映像<br>640×400、720×400<br>640×480、800×600<br>832×624、1024×768<br>1280×1024 | 入力信号の縦横比をくずさずに、画面いっぱいに映します。 | 画面いっぱいに映します。 | 入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。 | 入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。 |
| 16：9映像<br>848×480<br>1280×768 | | 画面いっぱいに映します。 | | 入力信号の解像度どおりのパネル画素数で映します。 |

# 自動同期調整で最適な画面にする

「自動同期調整」とは
- 最適なコンピューター画面表示を得るための調整機能です。自動的に画面の位置などが調整されます。

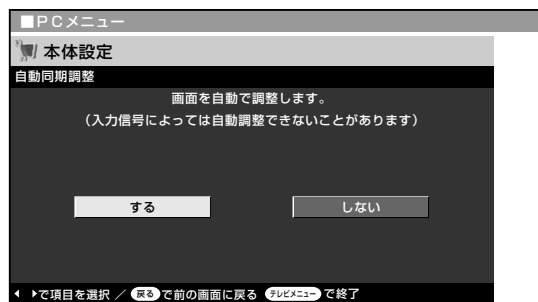
扉を開けたところ

おしらせ
- つぎのような映像信号では自動調整により最適な画面にならないことがあります。
  －動きのある映像
  －画面全体が1色になっているなど、起伏の少ない映像
- 映像信号、PCによっては自動調整だけでは最適な画面にならないことがあります。その場合は、手動で調整してください。（**16**ページ参照）
- 入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。（**128**ページ参照）

■操作を行う前に、本機とPC(パソコン)を接続しておいてください。（**126**ページ参照）

**1** 入力切換をくり返し押し、PC画面にする

**2**
① テレビメニューを押し、PCメニュー画面を表示する
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ
③ ▲▼で「自動同期調整」を選び、決定を押す

**3** ◀▶で「する」を選び、決定を押す

- 「自動同期調整中」が表示され、自動同期調整が実行されます。
- 自動調整が終了すると、「映像の調整をしました。」と表示されます。
  正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。

**4** テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

# PC入力の画面サイズ切換えと位置調整(つづき)

## 手動で最適な画面に調整する

「画面調整」とは

- コンピューター画面の表示位置や映り具合を最適化するための機能で、つぎの調整項目があります。

「水平位置」…… 画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。

「垂直位置」…… 画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。

「クロック周波数」…縦じま状のチラツキがあるときに調整します。

「クロック位相」…文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。

扉を開けたところ

［例］画面の垂直位置を調整する

**1**

① **本機とPC(パソコン)の接続を確認する(126ページ参照)**

② 入力切換 **をくり返し押し、PC画面にする**

**2**

① テレビメニュー **を押し、PCメニュー画面を表示する**

② ◀ ▶ **で「本体設定」を選ぶ**

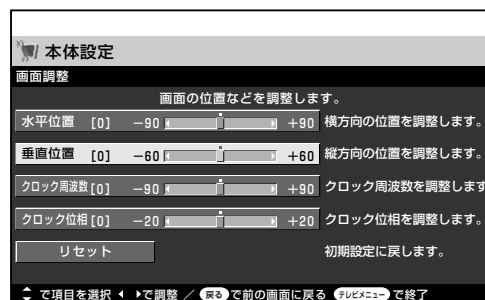
**3**

▲ ▼ **で「画面調整」を選び、**

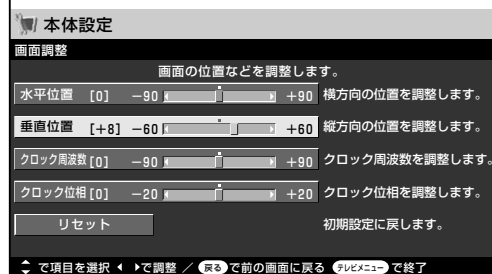
決定 **を押す**

**4**

▲ ▼ **で「垂直位置」を選ぶ**

本体設定
画面調整
画面の位置などを調整します。
水平位置 [0] −90 +90 横方向の位置を調整します。
垂直位置 [0] −60 +60 縦方向の位置を調整します。
クロック周波数 [0] −90 +90 クロック周波数を調整します。
クロック位相 [0] −20 +20 クロック位相を調整します。
リセット 初期設定に戻します。
で項目を選択 ◀ ▶で調整 ／ 戻るで前の画面に戻る テレビメニューで終了

次ページへ

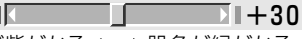
扉を開けたところ

## 5 で適切な位置に調整する

### 各項目の調整範囲

| 水平位置 | −90 ～ +90 |
|---|---|
| 垂直位置 | −60 ～ +60 |
| クロック周波数 | −90 ～ +90 |
| クロック位相 | −20 ～ +20 |

## 6 または終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ

**工場出荷時の設定に戻したいとき**

- 手順**4**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。
- PC入力時、無信号状態では画面調整ができません。

# お好みの映像で楽しむ

## 映像調整について

■「映像調整」とは、映像の濃淡や明るさ、色のぐあいなどを、お好みの状態に調整する機能です。
テレビ／ビデオ入力とPC入力は、別の調整項目になっています。
テレビ／ビデオ入力には、より細かい項目まで調整できる「プロ設定」があります。
■調整したいAVポジションを選んでから、映像調整の操作を行います。（基本編 **79**ページ参照）

### テレビ／ビデオ入力での調整項目

### PC入力での調整項目

| 項　目 | 内　容 | 設　定 |
|---|---|---|
| カラーマネージメント※ | 色の構成要素となる6つの系統色のそれぞれを調整し、色相を変化させます。 | −30〜0〜+30 |
| 色温度 | 色温度を調整します。 | 高/高-中/中/中-低/低 |
| 黒伸長 | 映像の暗い部分の強調度合いを調整し、奥行き感を変化させます。 | しない/強/弱 |
| 3次元設定 | 映像素材に応じた設定にすると、画質が改善されます。 | 標準/動画より/静止画より |
| モノクロ | 白黒映像にします。 | する/しない |
| フィルムモード | フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ/秒の映像を高画質に再生します。 | する/しない |
| I／P設定 | インターレース（通常のテレビ放送やビデオ等をきめ細かい映像で楽しむモード）とプログレッシブ（静止画やグラフィック等の画像を、チラツキのないなめらかな映像で楽しむモード）を切り換えます。 | インターレース／プログレッシブ |

● プロ設定については、**20**ページをご覧ください。

**※カラーマネージメントの調整項目について**

| 系統色 | 調　整<br>−30……0……+30 |
|---|---|
| R（赤） | マゼンタに近づく ⟷ 黄に近づく |
| Y（黄） | 赤に近づく ⟷ 緑に近づく |
| G（緑） | 黄に近づく ⟷ シアンに近づく |
| C（シアン） | 緑に近づく ⟷ 青に近づく |
| B（青） | シアンに近づく ⟷ マゼンタに近づく |
| M（マゼンタ） | 青に近づく ⟷ 赤に近づく |

● 2画面のとき、映像調整はできません。（AVポジションは、2画面で別々に設定できます。）
● BSデジタル放送やコンポーネント映像端子から入力された映像などを視聴しているとき、プロ設定の「3次元設定」および「I／P設定」は選択できません。

## お好みの映像に調整する

■AVポジションごとに、お好みの映像に調整し、調整内容を記憶させることができます。映像調整は、さきにAVポジションを選んでから行ってください。（基本編79ページ参照）

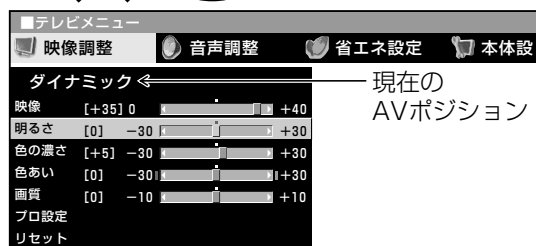
扉を開けたところ

[例] AVポジション「ダイナミック」の「明るさ」を調整する

**1**

① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② で「映像調整」を選ぶ

③ で「明るさ」を選ぶ

**2**

で、お好みの明るさに調整する

を押すと、より暗くなります。

明るさ [−15] −30 +30

●続けて他の項目を調整したいときは、上下カーソルボタンで項目を選び、同じ要領で調整します。

**3**

テレビメニュー または  終了 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

● 2画面のとき、映像調整はできません。（AVポジションは、2画面で別々に設定できます。）

**工場出荷時の設定に戻したいとき**

① 手順1の③で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

② 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押します。
「初期設定に戻しました。」と表示されます。

この場合、プロ設定もすべて工場出荷時の設定に戻ります。

# お好みの映像で楽しむ(つづき)

## プロ設定の調整

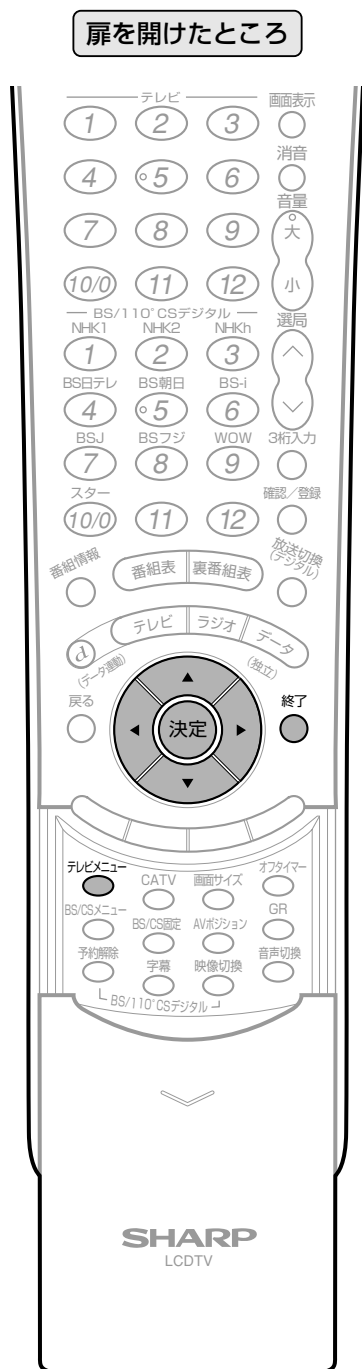
■映像の状態をお好みに応じてさらにきめ細かく調整できる機能です。
調整できる項目については、**18**ページを参照してください。

扉を開けたところ

おしらせ

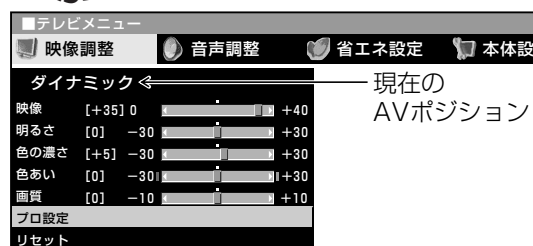
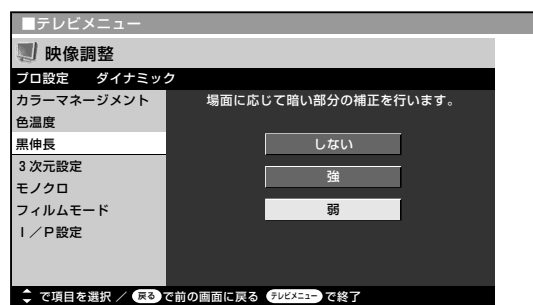
- 2画面のとき、映像調整はできません。
- BSデジタル放送やコンポーネント映像端子から入力された映像などを視聴しているとき、「3次元設定」および「I／P設定」は選択できません。

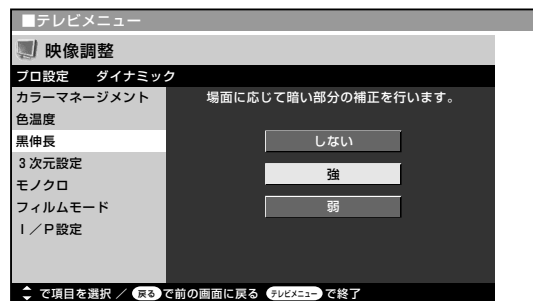
[例] 黒伸長を「強」に設定する

**1**

**① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する**

**② ◀ ▶で「映像調整」を選ぶ**

**③ ▲ ▼で「プロ設定」を選ぶ**

**2**

**▲ ▼で「黒伸長」を選び、決定を押す**

**3**

**▲ ▼で「強」を選ぶ**

●続けて他の項目を調整したいときは、手順**2**〜**3**をくり返します。

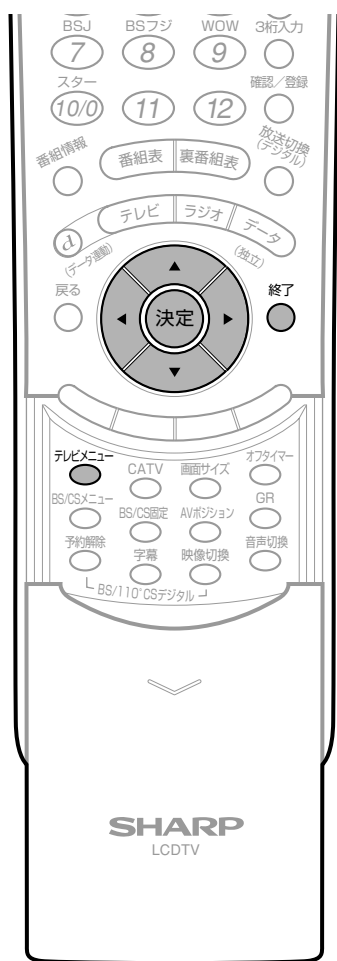
**4**

**テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

## 映像をすっきりさせる（ノイズクリーン）

■ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。設定は「しない」「強」「弱」の3種類があります。

■テレビ、ビデオ各入力ごとに個別に設定ができます。

扉を開けたところ

おしらせ

- ノイズクリーンを「弱」または「強」に設定すると、画面表示（チャンネルサイン）の下に「Noise Clean」（ノイズクリーン）が表示されます。

8 モノラル
Noise Clean ―ノイズクリーン表示

- BS／110°CSデジタル放送のハイビジョン放送、およびコンポーネント映像端子から入力された525p／1125i／750pの映像に対しては、ノイズクリーン機能が働きません。
- BS/CSメニューの「システム設定」内、「映像設定」の「画面サイズ設定」が「フル固定」になっていると、BS／110°CSデジタル放送受信時にノイズクリーン機能が働きません。

［例］ノイズクリーンを「強」に設定する

**1**

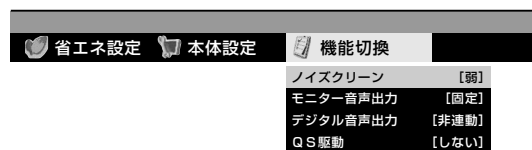
**① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する**

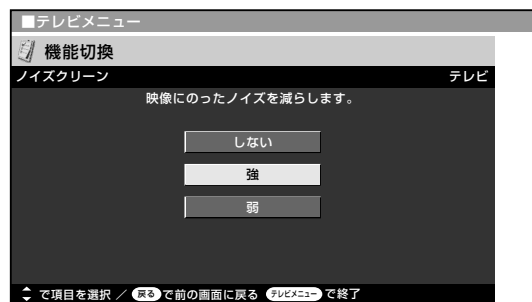
**② ◀ ▶で「機能切換」を選ぶ**

■テレビメニュー
映像調整　音声調整　省エネ設定　本体設定　機能切換
ノイズクリーン［弱］
モニター音声出力［固定］
デジタル音声出力［非連動］
QS駆動［しない］

**2**

**▲ ▼で「ノイズクリーン」を選び、決定を押す**

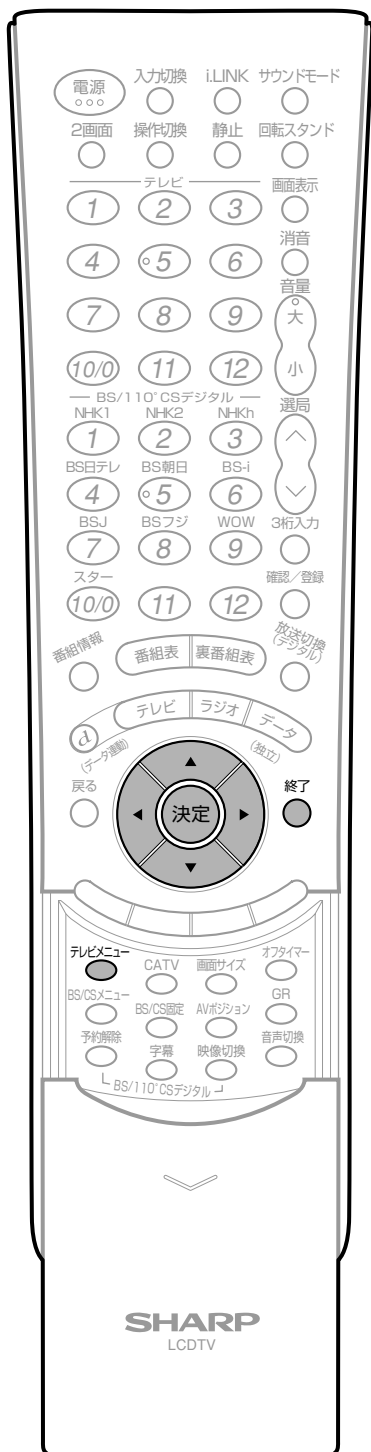
**3**

**▲ ▼で「強」を選ぶ**

**4**

**テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す**

# お好みの映像で楽しむ(つづき)

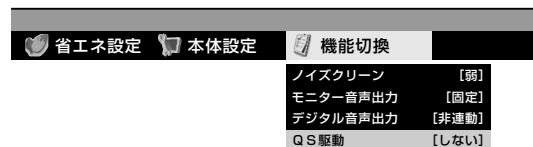
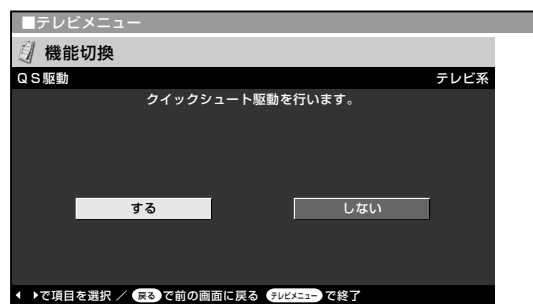
## 動きの速い映像を見やすくする（QS駆動）

■動きの速い映像をくっきりと、より見やすくする機能です。

扉を開けたところ

**1** ① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀▶で「機能切換」を選ぶ

**2** ▲▼で「QS駆動」を選び、

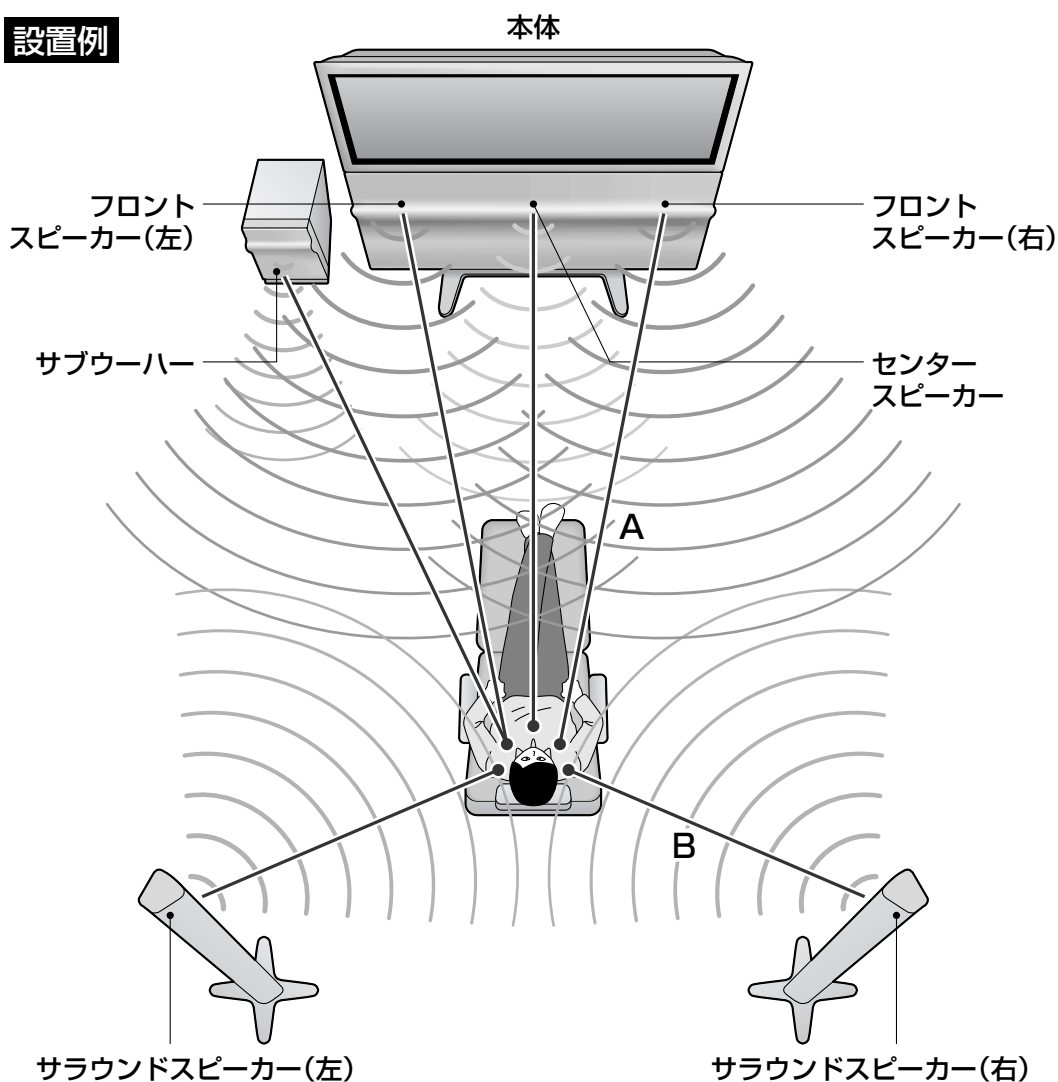
決定を押す

**3** ◀▶で「する」を選ぶ

**4** テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

# お好みの音声で楽しむ

## スピーカーディレイを設定する

■スピーカーの設置位置から聴く人までの距離がスピーカーにより異なっていると、スピーカーから出た音が聴く人の耳に到達する時間もスピーカーによって異なるため、聴く人に音のズレを感じさせることになります。このズレを補正するために、各スピーカーからの音声出力タイミングを調整する機能が「スピーカーディレイ」です。

■5.1chサラウンド音声などはこの音のズレを積極的に利用しているため、適正な調整を行うと、より迫力のある音声を楽しむことができます。

設置例

■上の図のAとBでは距離が異なるため、聴いている人には、フロント右スピーカーの音とサラウンド右スピーカーの音が微妙にズレて聞こえます。このような場合は、テレビメニュー操作で「スピーカーディレイ」の設定を行います。

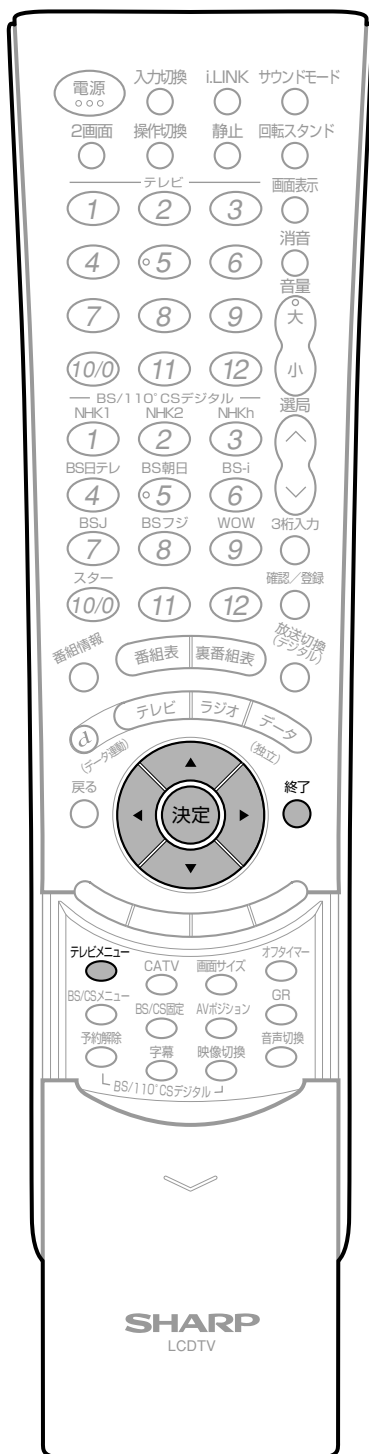
■スピーカーディレイの設定では、各スピーカーの設置位置から音を聴く位置までの距離（単位：メートル）を設定します。
詳しい操作手順については、つぎのページをご覧ください。

次ページへつづく

# お好みの音声で楽しむ(つづき)

扉を開けたところ

## 設定のしかた

**1**

① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「スピーカーディレイ」を選び、決定を押す

**2**

① ▲ ▼ で、設定したいスピーカーを選ぶ

② ◀ ▶ で距離を設定する

▶を押すと、距離が長くなります。

◀を押すと、距離が短くなります。

- 0.1～9.0mの範囲で設定できます。
- 続けて他のスピーカーを調整したいときは、手順**2**をくり返します。

**3**

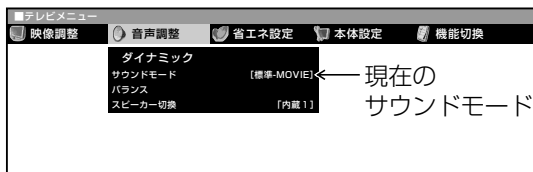
テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

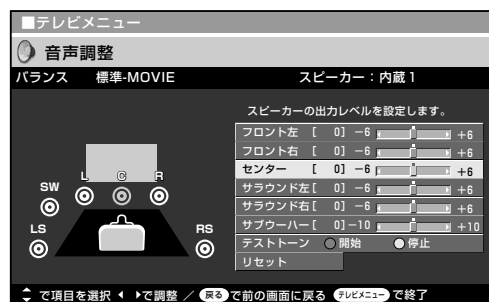
## スピーカーの音量バランスを調整する

■6つのスピーカーの音量バランスを、お好みに合わせて変えることができます。
■スピーカー切換の設定(「内蔵1」、「内蔵2」または「外部」)とサウンドモードごとに別の設定にすることができます。

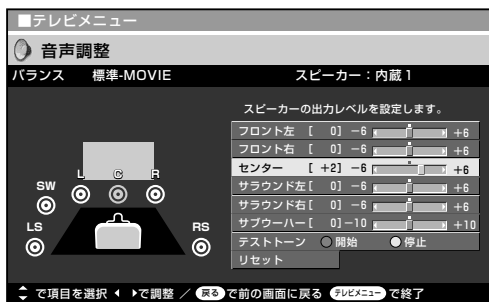
[例] スピーカー切換「内蔵1」、サウンドモード「標準-MOVIE」のセンタースピーカーの出力レベルを調整する

### 1 テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

### 2 ◀ ▶ で「音声調整」を選ぶ

### 3 ▲ ▼ で「バランス」を選び、決定を押す

### 4 ▲ ▼ で「センター」を選ぶ

### 5 ◀ ▶ で、お好みの出力レベルに調整する

▶を押すと、出力レベルが高くなります。

◀を押すと、出力レベルが低くなります。

●続けて他のスピーカーを調整したいときは、手順**4**～**5**をくり返します。

### 6 テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

**すべてのスピーカーの設定を「0」に戻したいとき**
● 手順**4**で「リセット」を選び、決定ボタンを押します。

**調整の結果を確認するには**
● テストトーンを出力して、耳で確認することができます。詳しくは、**26**ページ「スピーカー出力を確認する」をご覧ください。

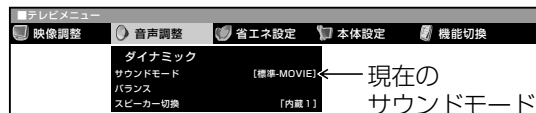
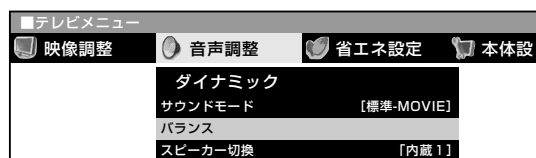
# お好みの音声で楽しむ(つづき)

## スピーカー出力を確認する

■スピーカーの音量バランスを調整したときなど、各スピーカーの出力音量バランスをテストトーンによって確認することができます。

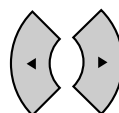
扉を開けたところ

1 ① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「音声調整」を選ぶ

2 ▲ ▼ で「バランス」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「テストトーン」を選ぶ

次ページへ

● テストトーンは「ザー」(サブウーハーは「ゴー」)という音に聞こえます。

扉を開けたところ

## 4 で「開始」を選ぶ

- 「フロント左(L)」→「センター(C)」→「フロント右(R)」→「サラウンド右(RS)」→「サラウンド左(LS)」→「サブウーハー(SW)」の順に自動的に切り換わりながら、くり返しテストトーンが出力されますので、耳で確認してください。

## 5 テストトーンが出力されているとき、▲▼で、個別にチェック・調整したいスピーカーを選ぶ

- 選んだスピーカーからテストトーンが出力されます。
- 必要に応じて、左右カーソルボタンで、選んだスピーカーの出力レベルを調整します。
- 再び自動切換え(手順**4**参照)でチェックしたいときは、改めて上下カーソルボタンで「テストトーン」を選びなおしてください。

## 6 

テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- テストトーン出力中は、サウンドモードの切換えができません。

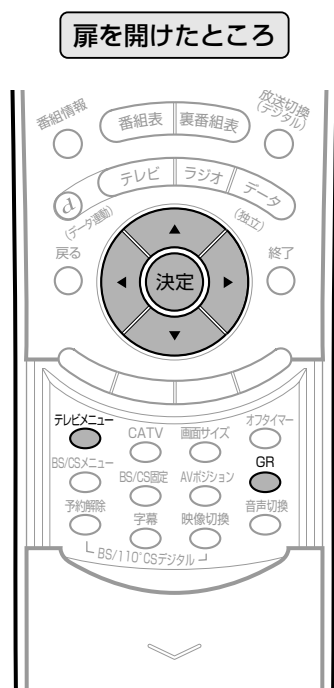
# ゴーストを軽減する(GR機能)

## GR機能を使う

■ゴーストの発生によって見にくくなったチャンネルのゴーストを軽減することができます。(GR機能)※GRはゴーストリダクションの略称です。

■GR機能は、VHF/UHFアンテナ入力信号に対してのみ動作し、チャンネルごとに設定できます。

■GR設定は工場出荷時、すべてのチャンネルが「入」に設定されています。

扉を開けたところ

おしらせ

- つぎのような場合は、ゴースト軽減効果が得られません。
  - 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  - 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  - ゴーストの電波が強いとき
  - ビデオデッキからの映像を見るとき
- GR設定を「入」にしておくと映像が見づらい場合は、「切」にしてください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- 電波が弱いときにGR機能を働かせた場合は、新たにゴーストがつく場合があります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できない場合があります。(アンテナは、最も強い電波が来る方向に向けてください。)

### 1 GRを押す

- 画面左下に現在のGR設定が表示されます。

### 2 GR設定表示が出ている間に再び GRを押す

- ボタンを押すたびに「GR：入」⇄「GR：切」と切り換わります。
- 「GR：入」にしても、ゴーストの内容によっては動作に少し時間がかかったり、軽減効果が得られない場合があります。

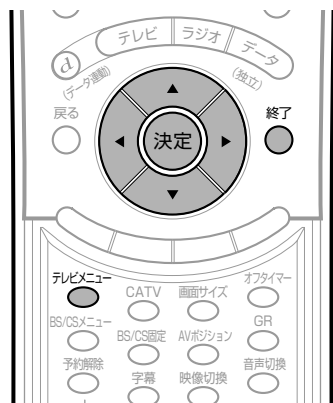
おしらせ

- GR機能を「入」にすると、チャンネルサインの右下に「GR」が表示されます。

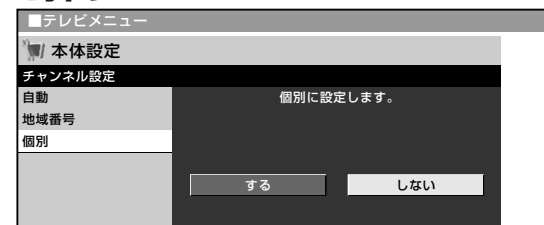
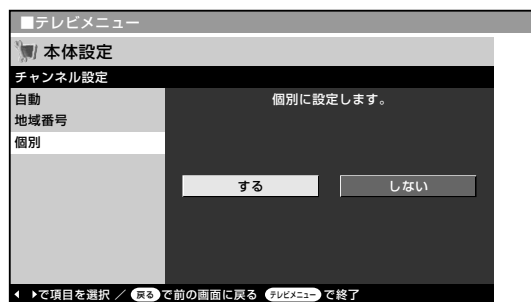
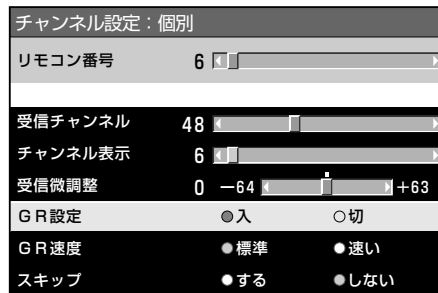
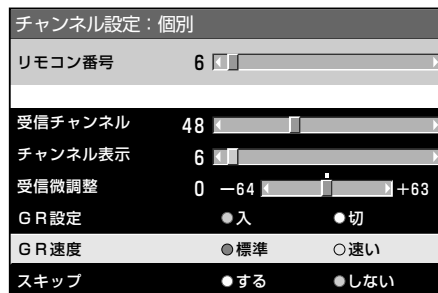
「ゴースト」について

- ゴーストとは、放送局とテレビアンテナの間に高層ビル等の障害物がある場合など、電波が乱反射することによって発生する現象で、映像がダブって見えたり、ぼやけて見えたりするためにゴースト(幽霊)と呼ばれます。また、工事用のクレーンや天候等が原因で発生したゴーストは、時間の経過とともに大きく変化したり揺れたりします。
- ゴーストは、場所・天候等により発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。
- 2画面のときは、左画面のみGR機能が働きます。

## テレビメニュー画面でGR設定をする

扉を開けたところ

**1** 入力切換を押し、テレビ入力にする

**2**
① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ
③ ▲▼で「チャンネル設定」を選び、決定を押す

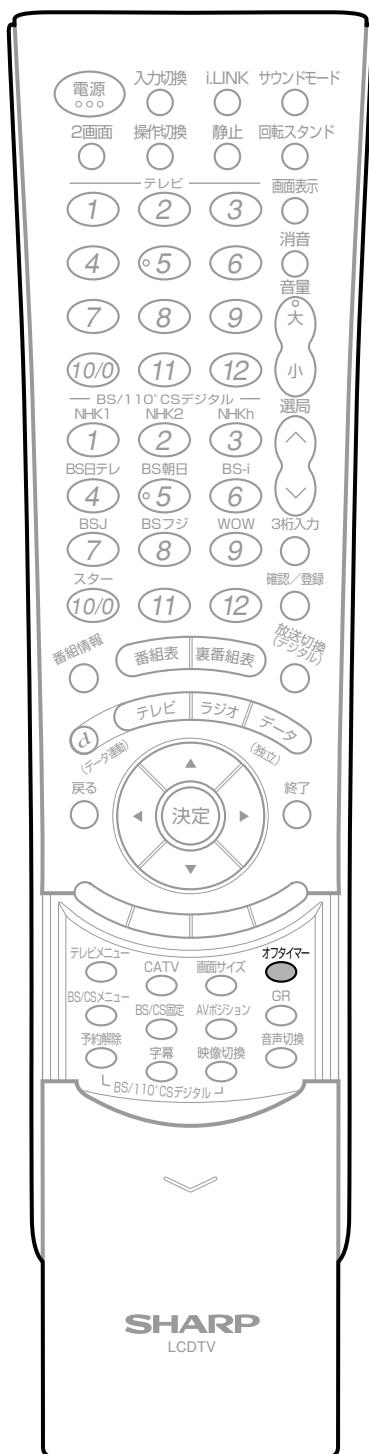
**3** ▲▼で「個別」を選び、決定を押す

**4** ◀▶で「する」を選び、決定を押す

**5**
① ▲▼で「GR設定」を選ぶ
② ◀▶で「入」または「切」を選ぶ

**6**
① ▲▼で「GR速度」を選ぶ
② ◀▶で「標準」または「速い」を選ぶ

「標準」……GR効果はゆっくり現れますが、より確実な効果が得られます。
「速い」……GR効果は早く現れますが、確実な効果が得られない場合があります。

**7** テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

# 便利な機能を使う

## 指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

■「オフタイマー」を使うと、指定した時間後に本機の電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。

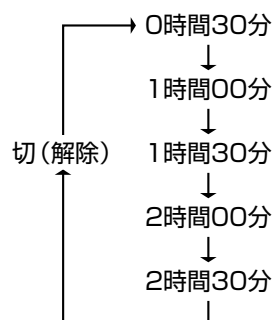
扉を開けたところ

### 1 オフタイマーを押す

●オフタイマーの設定時間が表示されます。

オフタイマー：　　0時間３０分

●オフタイマーがすでに設定されている場合は、残り時間が表示されます。

### 2 オフタイマー表示が出ている間に再びオフタイマーを押し、電源が切れるまでの時間を選ぶ

●ボタンを押すたびに、設定時間がつぎのように切り換わります。

## オフタイマーの残り時間を見るには

### オフタイマーを押す

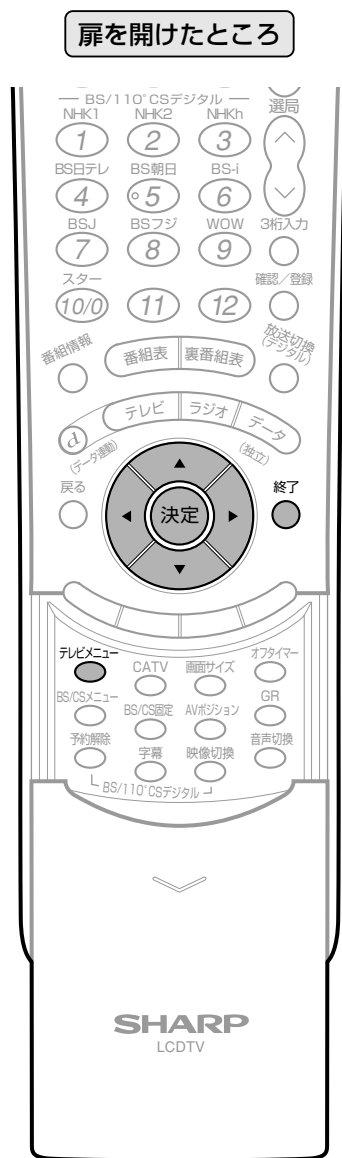
●残り時間が表示されます。

オフタイマー：残り　0時間１５分

## 映像を反転させる

■設置のしかたに応じて、映像の左右を反転して映すことができます。
映像を鏡に映してご覧になるときなどに便利な機能です。

扉を開けたところ

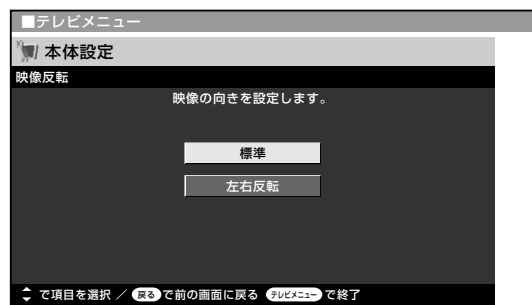
**1**

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

**2**

▲ ▼ で「映像反転」を選び、決定 を押す

**3**

▲ ▼ で「標準」または「左右反転」を選ぶ

- 「標準」を選んだときは、反転しません。
- 「左右反転」を選んだときは、メニューも反転表示されます。（音声は左右反転しません。）

**4**

テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

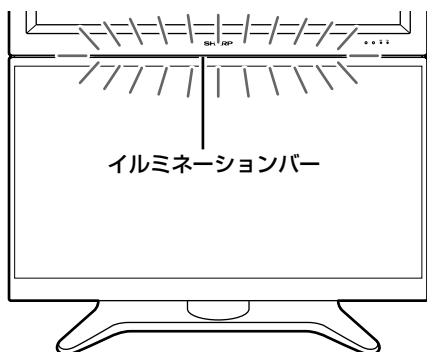
おしらせ

映像反転の表示のされかた

| 標準（工場出荷時） | 左右反転 |
|---|---|
| ABC | ƆBA |

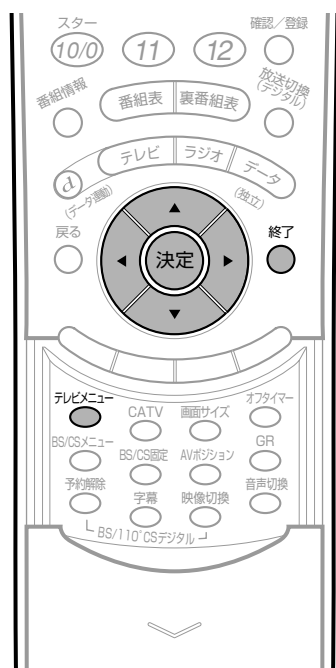
# 便利な機能を使う(つづき)

## イルミネーションバーの設定

■電源入時、サウンドモード切換え時、回転スタンド操作時などに、本体前面の光の帯「イルミネーションバー」が光ります。

■イルミネーションバーの設定は、つぎの3つから選ぶことができます。

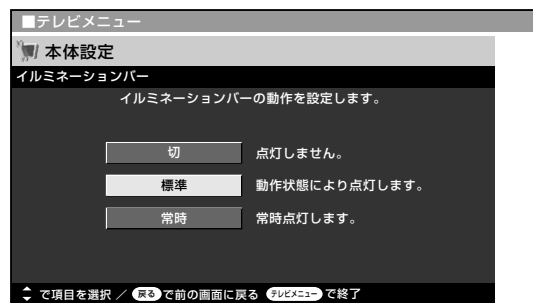
「切」……… 点灯しません。
「標準」…… 電源入時、回転スタンド操作時、入力切換え時、サウンドモード切換え時※に点灯します。
「常時」…… つねに点灯します。

※ テレビメニューの「音声調整」でサウンドモードを切り換えたときは、点灯しません。

扉を開けたところ

**1** ① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

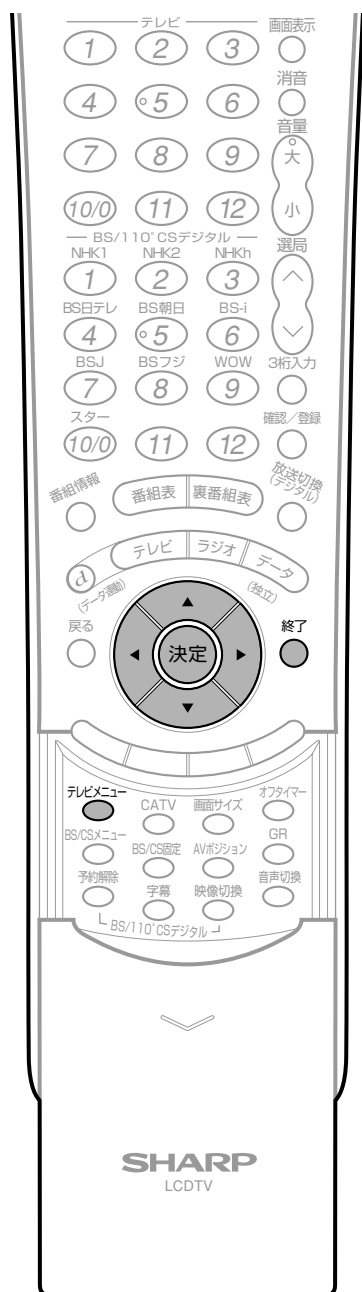
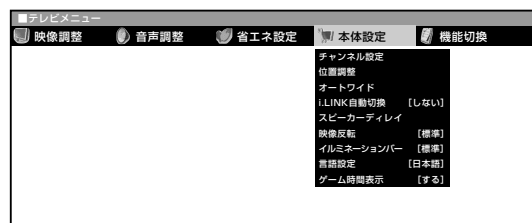
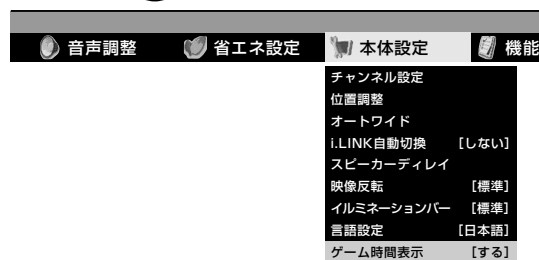
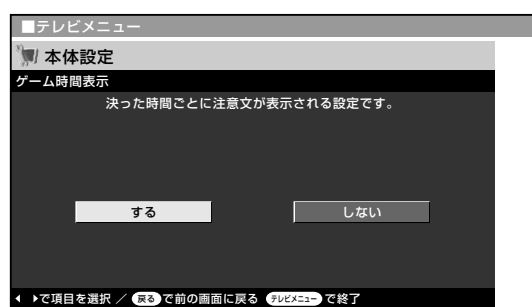
**2** ▲ ▼ で「イルミネーションバー」を選び、決定 を押す

**3** ▲ ▼ で「切」「標準」「常時」のいずれかを選ぶ

**4** テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

## ゲーム時間表示を設定する

■決まった時間ごとに、画面に注意メッセージを表示して、経過時間を知らせる機能です。
時間を決めてテレビゲームを楽しむときなどに便利な機能です。

■この機能はつぎの2つの条件を同時に満たすときのみ働きます。
① ゲーム時間表示が「する」に設定されている。
② AVポジションが「ゲーム」に設定されている、または入力表示選択を「ゲーム」にした入力が選択されている。

扉を開けたところ

**1**
① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する
② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

**2**
▲ ▼ で「ゲーム時間表示」を選び、決定を押す

**3**
◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

**4**
テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

おしらせ
- ゲーム時間表示機能が働く状態になると、2時間までは30分ごとに、それ以降は1時間ごとに、つぎのような注意文が10秒間、画面に表示されます。

ゲーム：1時間３０分たちました

# 省エネ機能を使う

■本機は、省エネに役立つ4つの機能を備えています。

**本機の4つの省エネ機能**

**調光**（バックライトの明るさの調整）

「オートセーブ」（表示あり／表示なし）……周囲の明るさの変化に応じて、画面の明るさを自動的に調整する機能です。

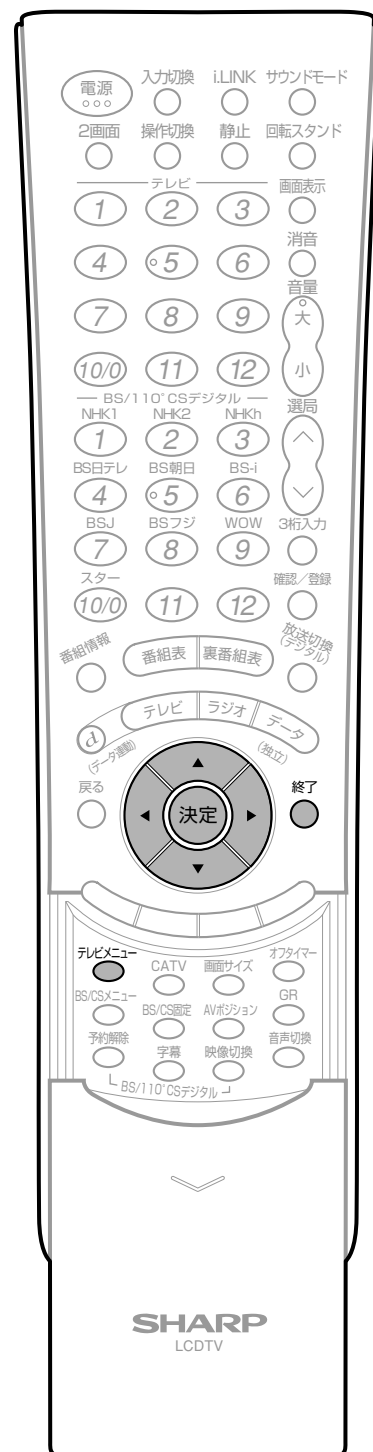
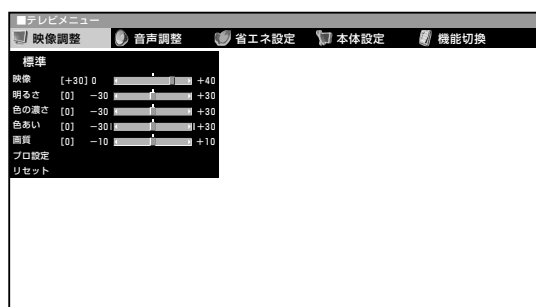
「手動」……放送番組や再生ソフトの内容に合わせ、画面をお好みの明るさに手動調整することができます。

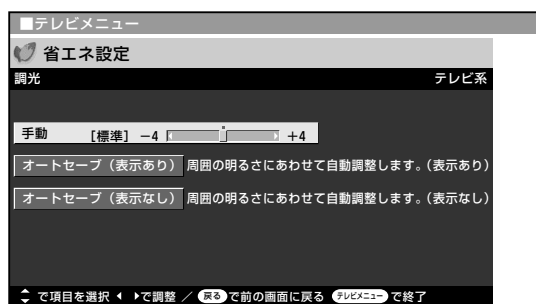
**無信号オフ**（テレビ／ビデオ入力のみ）
放送が終了するなど無信号状態になると、約15分後に電源が切れるように設定できます。
（☞**36**ページ）

**無操作オフ**（テレビ／ビデオ入力のみ）
操作しない状態で3時間以上経過すると、自動的に電源が切れるように設定できます。
（☞**37**ページ）

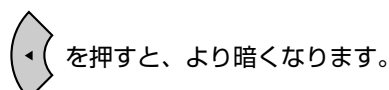
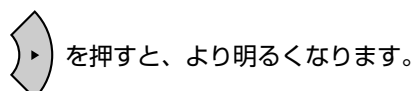
**パワーマネージメント**（PC入力のみ）
映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定できます。
（☞**38**ページ）

## 画面の明るさを調整する（調光）

■液晶画面のバックライトの明るさを調整することができます。

## 1 テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

## 2 ① ◀▶で「省エネ設定」を選ぶ ② ▲▼で「調光」を選び、決定を押す

## 3 ▲▼で「手動」「オートセーブ（表示あり）」「オートセーブ（表示なし）」のいずれかを選ぶ

（手順3のつづき）

### 「手動」を選んだとき

- 画面の明るさを−4〜標準〜+4の範囲で、お好みに合わせて手動調整できます。

### 「オートセーブ（表示あり）」を選んだとき

- 周囲の明るさの変化に応じて、画面の明るさが自動調整されます。（オートセーブ機能）
- 自動調整中、オートセーブ機能の効果が画面に表示されます。

オートセーブ：

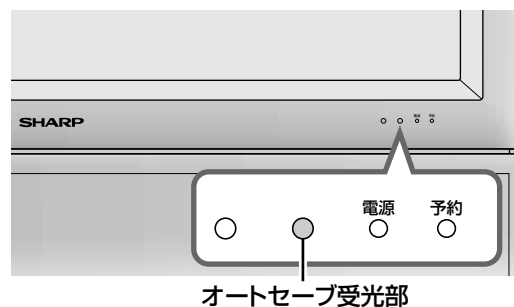
### 「オートセーブ（表示なし）」を選んだとき

- 周囲の明るさの変化に応じて、画面の明るさが自動調整されます。（オートセーブ機能）
- 自動調整中の画面表示はありません。

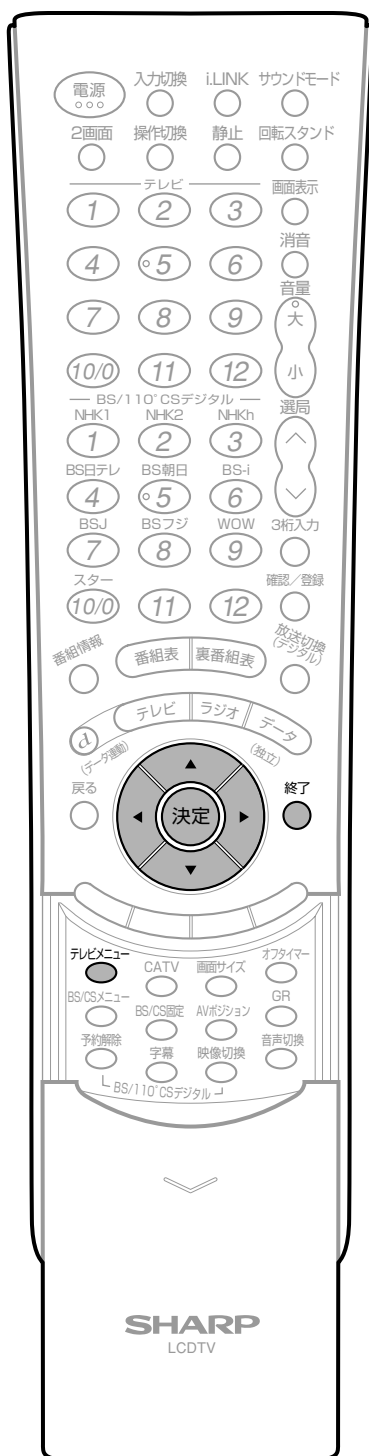
## 4 テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- オートセーブ受光部の前にものを置いたりすると、明るさを感知できなくなりますのでご注意ください。

オートセーブ受光部

# 省エネ機能を使う(つづき)

■放送が終了するなどして無信号状態になると、約15分後に電源が自動的に切れるように設定することができます。

扉を開けたところ

## 無信号オフ機能を設定する

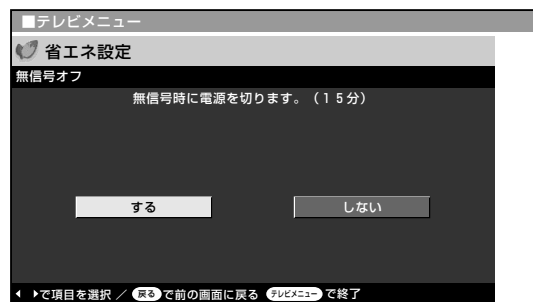
**1** テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

**2** ① ◀▶で「省エネ設定」を選ぶ

② ▲▼で「無信号オフ」を選び、決定を押す

■テレビメニュー
映像調整　音声調整　省エネ設定　本体設

調光［オートセーブ（表示あり）］
無信号オフ［しない］
無操作オフ［しない］

**3** ◀▶で「する」または「しない」を選ぶ

**4** テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ

**無信号オフ機能について**

- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- 地上波およびビデオ入力信号のみ、無信号オフ機能が働きます。
- 放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。
- 放送電波の状態などにより、放送を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。
- PC入力のときは別項目の設定となります。（**38** ページ参照）
- 電源が切れる5分前から画面左下に残り時間が表示されます。

無信号オフ：残り　5分

## 無操作オフ機能を設定する

■操作しない状態が3時間以上続くと、自動的に電源が切れるように設定することができます。

**1** 

**2** 

■テレビメニュー

| 映像調整 | 音声調整 | 省エネ設定 | 本体設 |
|---|---|---|---|
| | | 調光［オートセーブ（表示あり）］ | |
| | | 無信号オフ　［しない］ | |
| | | 無操作オフ　［しない］ | |

**3** ◀▶で「する」または「しない」を選ぶ

**4** テレビメニューまたは終了  を押し、通常画面に戻す

おしらせ

**無操作オフ機能について**

- 工場出荷時は、「しない」に設定されています。
- PC入力のとき、無操作オフ機能は働きません。

# 省エネ機能を使う(つづき)

## PC入力の省エネ機能の設定

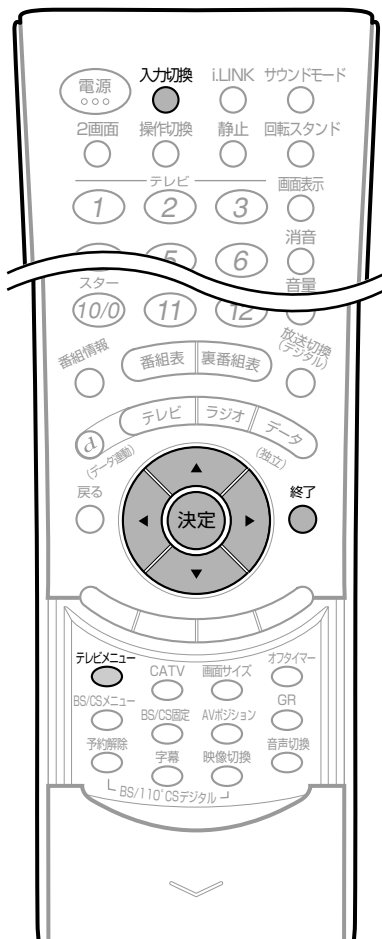
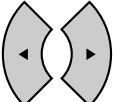
■PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定することができます。(パワーマネージメント)

しない
パワーマネージメントを行いません。

モード1
無信号になったとき、約8分後に自動的に電源が切れる機能です。
電源が切れる5分前から、画面左下に残り時間が表示されます。

パワーマネージメントオフ：残り　5分

モード2
無信号の状態が8秒間続くと、自動的に電源が切れる機能です。
この機能で電源が切れたときは、PCの映像信号が入力されると電源が入ります。

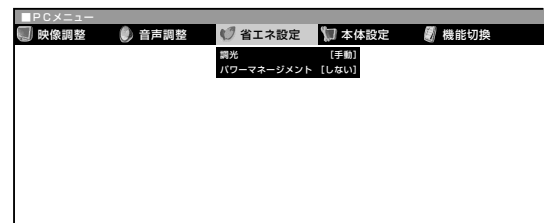
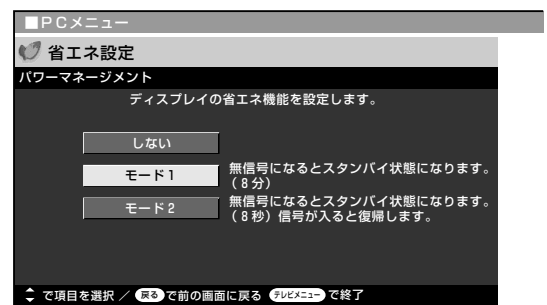
扉を開けたところ

[例] パワーマネージメントを「モード1」に設定する

**1** ① **本機とPC(パソコン)の接続を確認する(126ページ参照)**
② 入力切換 **をくり返し押し、PC画面にする**

**2** ① テレビメニュー **を押し、PCメニュー画面を表示する**
② ◀ ▶ **で「省エネ設定」を選ぶ**

■PCメニュー
映像調整　音声調整　省エネ設定　本体設定　機能切換
調光　[手動]
パワーマネージメント　[しない]

**3** ▲ ▼ **で「パワーマネージメント」を選び、** 決定 **を押す**

■PCメニュー
映像調整　音声調整　省エネ設定　本体設
調光　[手動]
パワーマネージメント　[しない]

**4** ▲ ▼ **で「モード1」を選ぶ**

**5** テレビメニュー **または** 終了 **を押し、通常画面に戻す**

# BS／110°CSデジタル放送の機能と操作



● この章では、電子番組表(EPG)を使ってBS／110°CSデジタル放送の番組を選んだり、番組予約をしたりするときの操作方法やデジタル放送をより楽しくご覧いただくためのさまざまな機能と操作方法につき説明しています。

# 電子番組表(EPG)の使いかた

■BS／110゜CSデジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

扉を閉じたところ

カラーボタン

**1 BSデジタル放送または110゜CSデジタル放送を視聴しているときに**  **を押す**

電子番組表(EPG)画面が表示されます。

(BSデジタル放送の画面例)

選んでいる放送種類の番組表が表示されます

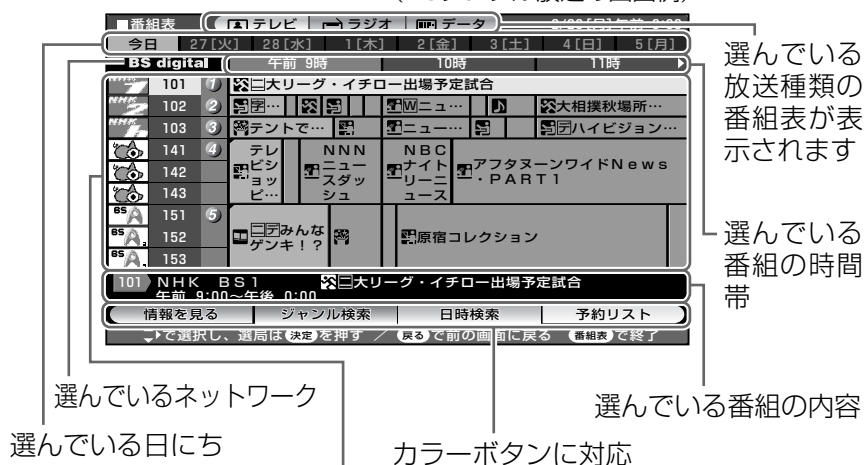
選んでいる番組の時間帯

選んでいるネットワーク

選んでいる日にち

選んでいる番組の内容

カラーボタンに対応

**2 で番組を選び、決定を押す**

放送中の番組を選んだとき ⇨ 選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき ⇨ 予約選択画面になります。(**47**ページ参照)

(47ページ参照)

電子番組表(EPG)画面を消すときは
番組表 または 終了 を押します。

**基本**

- 現在カーソルのあるところが黄色で表示されます。
- 縦方向にカーソルを動かすときは上下カーソルボタンを使います。
- 横方向にカーソルを動かすときは左右カーソルボタンを使います。

## 電子番組表の切り換えかた

- 電子番組表(EPG)を表示しているときに放送切換(デジタル)ボタン、テレビ／ラジオ／データ(独立)ボタンを押すと、他のネットワークや放送種類の番組表に切り換えることができます。

## カラーボタンについて

- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。
  画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がなく、色のついていないカラーボタンは、押しても働きません。

- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表(EPG)を表示できるのは、BSデジタル放送と110゜CSデジタル放送だけです。
- 本書ではおもにBSデジタル放送の電子番組表の画面例を掲載しています。

## カラーボタンの機能について

青 (情報を見る)
番組情報が表示されます。

赤 (ジャンル検索)
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

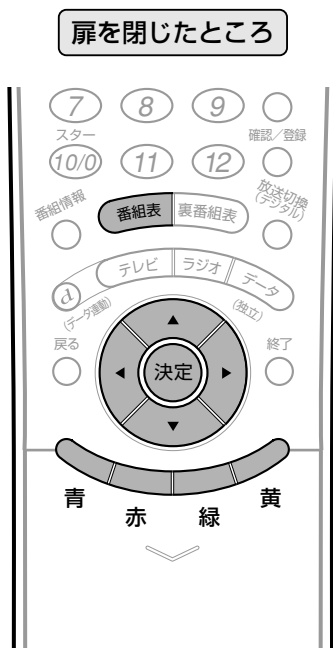
緑 (日時検索)
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄 (予約リスト)
予約した番組を一覧表示することができます。
予約リストは予約の取消しや変更に使います。

# 電子番組表(EPG)で選ぶ

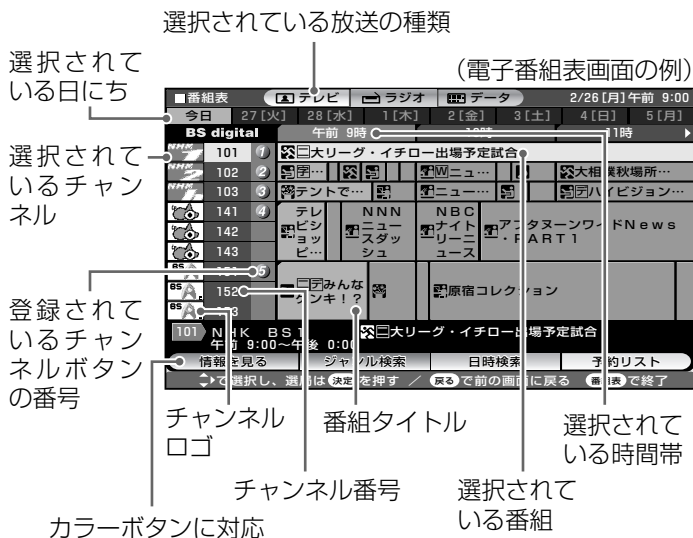


## 見たい番組を探す

扉を閉じたところ

### 電子番組表の表示内容

- テレビ放送……8日分
- ラジオ放送……3日分
- データ放送……最低1日分

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

**1** 番組表 **を押し、電子番組表(EPG)を表示する**

**2** **見たい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選び、決定 を押す**

**放送中の番組を選んだとき**

⇨選んだ番組が選局されます。

**未放送の番組を選んだとき**

⇨予約選択画面になります。(**47**ページ参照)

## アイコン一覧

■BS／110°CSデジタル放送の電子番組表(EPG)や予約リストなどには、いろいろなアイコン(絵記号)が使われています。各アイコンの意味はつぎのとおりです。

**放送の種類を示すアイコン**

| アイコン | 放送の種類 |
|---|---|
| | テレビ放送 |
| | ラジオ放送 |
| | 独立データ放送 |

**番組情報を示すアイコン**

| アイコン | 内　容 |
|---|---|
| | 視聴予約している番組 |
| | 録画予約(ビデオ連動予約)している番組 |
| | 録画予約(i.LINK予約)している番組 |
| | 有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組 |
| | i.LINKによるデジタルコピー禁止の番組 |
| | i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組 |

**ジャンルを示すアイコン**

| アイコン | ジャンル | アイコン | ジャンル |
|---|---|---|---|
| | ニュース・報道 | | 映画 |
| | スポーツ | | アニメ・特撮 |
| | 情報・ワイドショー | | 教養・ドキュメンタリー |
| | ドラマ | | 劇場・講演 |
| | 音楽 | | 趣味・教育 |
| | バラエティー | | 福祉 |

# 電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

## ジャンルで番組を探す

■番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

扉を閉じたところ

**1**

① 番組表 **を押し、電子番組表を表示する**

② 赤 **(ジャンル検索)を押す**

**2**

**見たいジャンルを ◀ ▶ で選ぶ**

■番組表 テレビ ラジオ データ 2/26[月]午前 9:00
BS digital ◀ ▶でジャンルの切換えができます。
■ジャンル検索 ◀ ニュース・報道 ▶

| | | | |
|---|---|---|---|
| 101 | ① | BSニュース50 | 2/26[月]午前 9:00〜午前10:00 |
| 102 | ② | NNNモーニングライブ | 2/26[月]午前 9:00〜午前 9:50 |
| 103 | ③ | BSニュース50 | 2/26[月]午前 9:00〜午前10:00 |
| 141 | ④ | BSニュース50 | 2/26[月]午前 9:00〜午前10:30 |
| 142 | | NNNニュースダッシュ | 2/26[月]午前10:00〜午前10:30 |
| 143 | | ニュース | 2/26[月]午前10:00〜午前10:50 |
| 151 | ⑤ | ニュース | 2/26[月]午前10:30〜午前11:00 |
| 152 | | ニュース | 2/26[月]午前11:00〜午後12:00 |
| 153 | | ニュース | 2/26[月]午前11:30〜午後12:50 |

※ 2/26[月] 午前 9:00〜午後 0:00までの番組です。
戻る　次の時間帯
で選択し、選局は 決定 を押す ／ 戻る で前の画面に戻る 番組表 で終了

**3**

**見たい番組を ▲ ▼ で選び、決定 を押す**

●黄ボタン(次の時間帯)を押すと、時間帯を3時間先に送ることができます。前の時間帯に戻るときは、緑ボタン(前の時間帯)を押します。


■番組表 テレビ ラジオ データ 2/26[月]午前 9:00
BS digital ◀ ▶でジャンルの切換えができます。
■ジャンル検索 ◀ ニュース・報道 ▶

| | | | |
|---|---|---|---|
| 101 | ① | BSニュース50 | 2/26[月]午前 9:00〜午前10:00 |
| 102 | ② | NNNモーニングライブ | 2/26[月]午前 9:00〜午前 9:50 |
| 103 | ③ | BSニュース50 | 2/26[月]午前 9:00〜午前10:00 |
| 141 | ④ | BSニュース50 | 2/26[月]午前 9:00〜午前10:30 |
| 142 | | NNNニュースダッシュ | 2/26[月]午前10:00〜午前10:30 |
| 143 | | ニュース | 2/26[月]午前10:00〜午前10:50 |
| 151 | ⑤ | ニュース | 2/26[月]午前10:30〜午前11:00 |
| 152 | | ニュース | 2/26[月]午前11:00〜午後12:00 |
| 153 | | ニュース | 2/26[月]午前11:30〜午後12:50 |

※ 2/26[月] 午前 9:00〜午後 0:00までの番組です。
戻る　次の時間帯
で選択し、選局は 決定 を押す ／ 戻る で前の画面に戻る 番組表 で終了


放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。(**47**ページ参照)

## 日時を指定して番組を探す

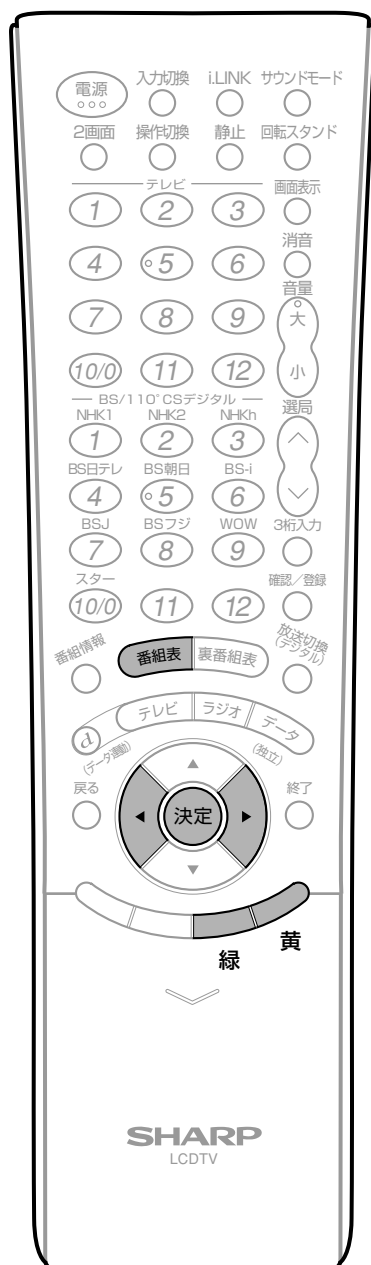
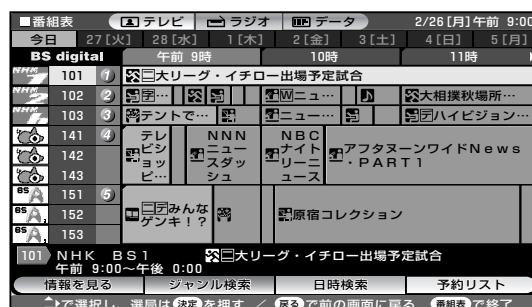
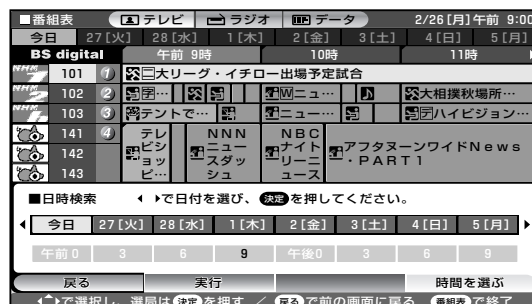
■日付と時間を指定して電子番組表を表示させることができます。

扉を閉じたところ

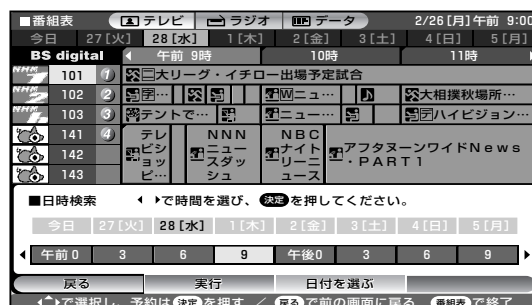
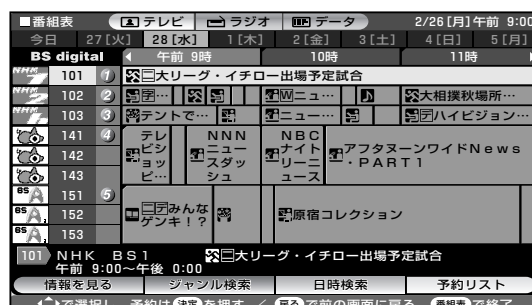
### 1

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 緑（日時検索）を押す

### 2

◀▶で日にちを選び、黄（時間を選ぶ）を押す

●日にちを選んだあとに決定ボタンを押すと、選んだ日にちの番組表が表示されます。

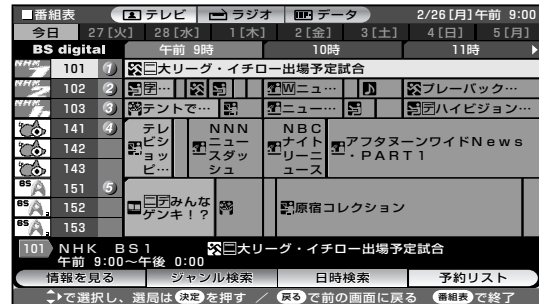
### 3

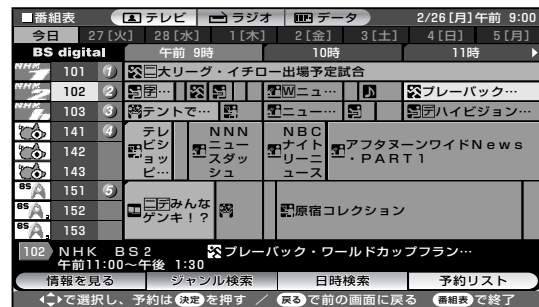
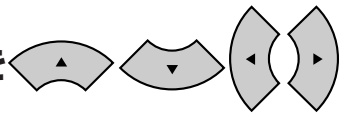
◀▶で時間を選び、決定を押す

●指定された日時の電子番組表が表示されます。

# 電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

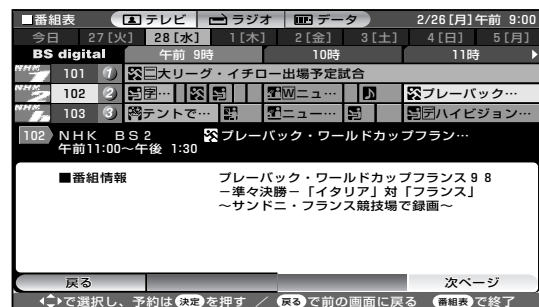
## 番組の内容を確認する

■番組の内容を知りたいとき、電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

扉を閉じたところ

**1** 番組表 を押し、電子番組表を表示する

**2** 内容を確認したい番組を

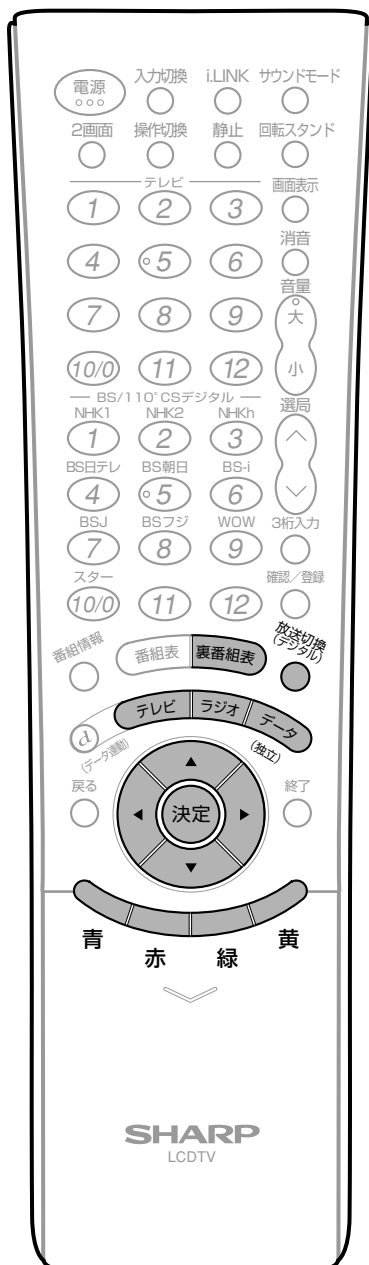
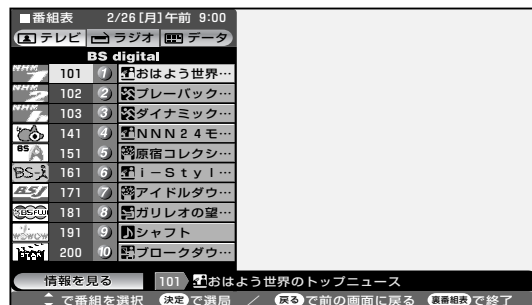
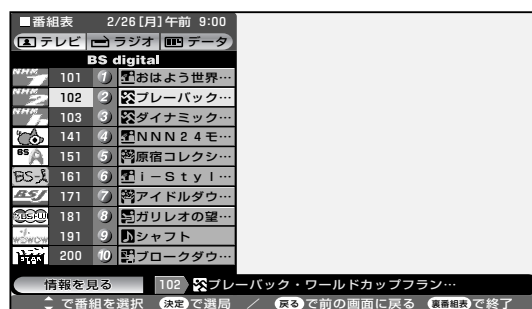
で選ぶ

**3** 青 (情報を見る)を押す

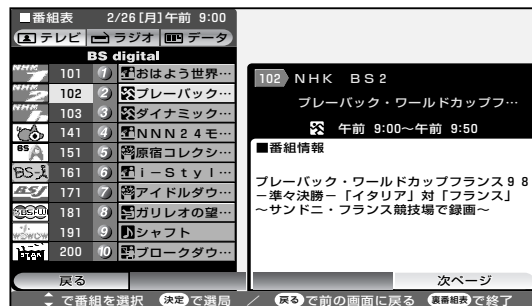
●番組情報が表示されます。

●番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データ(独立)ボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

### 視聴中の番組の情報を見るには

● 番組情報ボタンを押してください。
(電子番組表を表示する必要はありません。)

## 放送中の他の番組を知りたいとき

扉を閉じたところ

**1** 裏番組表 **を押し、裏番組表を表示する**

**2** ▲ ▼ **で番組を選ぶ**

**3** 青 **(情報を見る)を押す**

●選んだ番組の情報が表示されます。

●番組情報案内にしたがって、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データ(独立)ボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

おしらせ

● 選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。
● BS・CS1・CS2のいずれのネットワークについても、また、テレビ・ラジオ・データのいずれの放送種類についても、同じように裏番組表を表示することができます。
● 裏番組表を表示しているときに放送切換(デジタル)ボタン、テレビ／ラジオ／データ(独立)ボタンを押すと、他のネットワークや放送種類の裏番組表に切り換えることができます。

# 電子番組表(EPG)から番組を予約する

■BS／110°CSデジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約することができます。
■予約には**「視聴予約」**と**「録画予約」**の2種類があります。

## 番組予約（録画予約）の手順

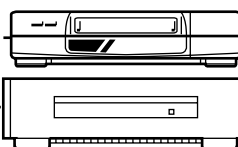
**予約したい未放送の番組を電子番組表から選ぶ**

番組表から、直接予約ができます

↓

**「録画予約」を選ぶ**

↓

**録画機器の選択・設定**

- ビデオ連動予約確認・設定 ―― ビデオデッキ
- i.LINK 予約確認・設定 ―― D-VHS ビデオデッキ

↓

**予約の方法を選ぶ**

- 予約
- 詳細予約

↓

**契約の確認**

- BSデジタル放送は無料放送と有料放送があり、有料放送にはあらかじめ契約して視聴する番組と、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。
- 110°CSデジタル放送は有料放送で、各プラットフォームとの個別受信契約が必要です。その他に、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。

- 有料放送または PPV 番組の購入契約の判定

↓

**購入内容の設定**

- 購入金額制限の判定

↓

**映像・音声の選択と購入設定**

BS／110°CSデジタル放送の一部の番組では、マルチビューや副映像・副音声などの情報が同時に送られてきます。

- マルチビュー、副映像、副音声

↓

**予約内容確認**

↓

**予約手続き完了**

- データ番組はビデオ連動予約ができません。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、BS／110°CSデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。操作を行う場合は、リモコン扉内の予約解除ボタンで予約を解除してから操作してください。
- 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

# 視聴予約か録画予約かを選ぶ

■電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約およびPPV（ペイパービュー）番組の録画予約ができます。

扉を閉じたところ

## 1 番組表 を押し、電子番組表を表示する

●翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定（**43**ページ）で番組表を表示させると便利です。

## 2 予約したい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ

## 3 決定 を押す

●予約選択画面になります。

「視聴予約」…… 視聴のみの予約となります。
視聴予約の手順（**48**ページ）に進みます。

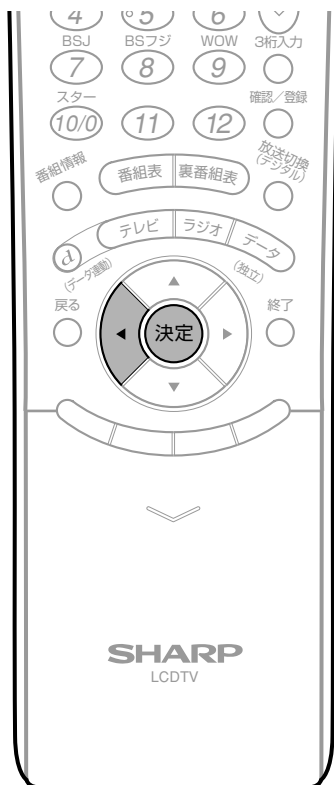
「録画予約」…… 録画する機器の選択ができます。
録画予約の手順（**49**ページ）に進みます。

「予約しない」… 予約をしないで番組表に戻ります。

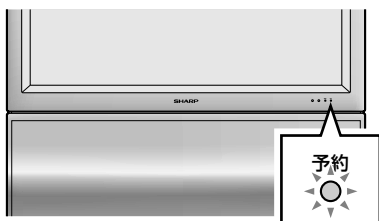
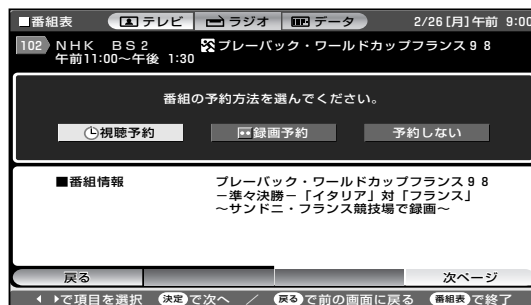
# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

## 視聴予約

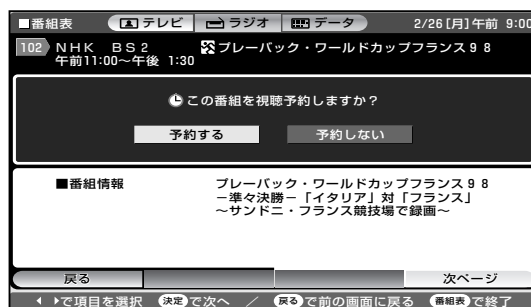
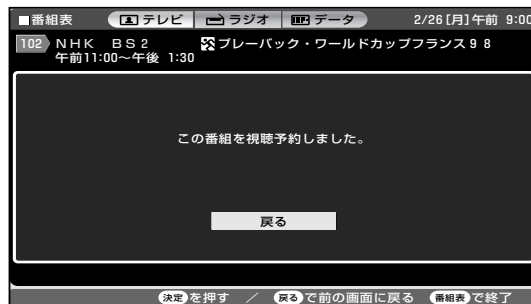
- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**59**ページ)が必要です。

扉を閉じたところ

おしらせ

**予約ランプについて**

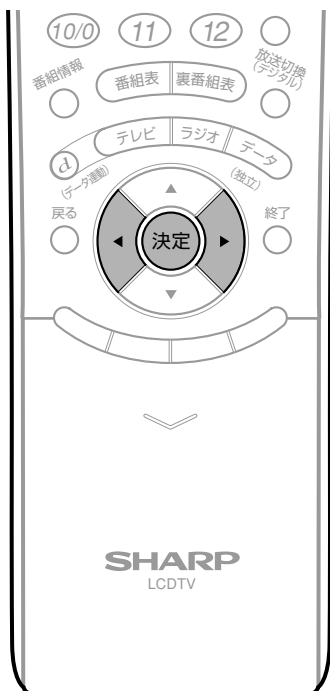
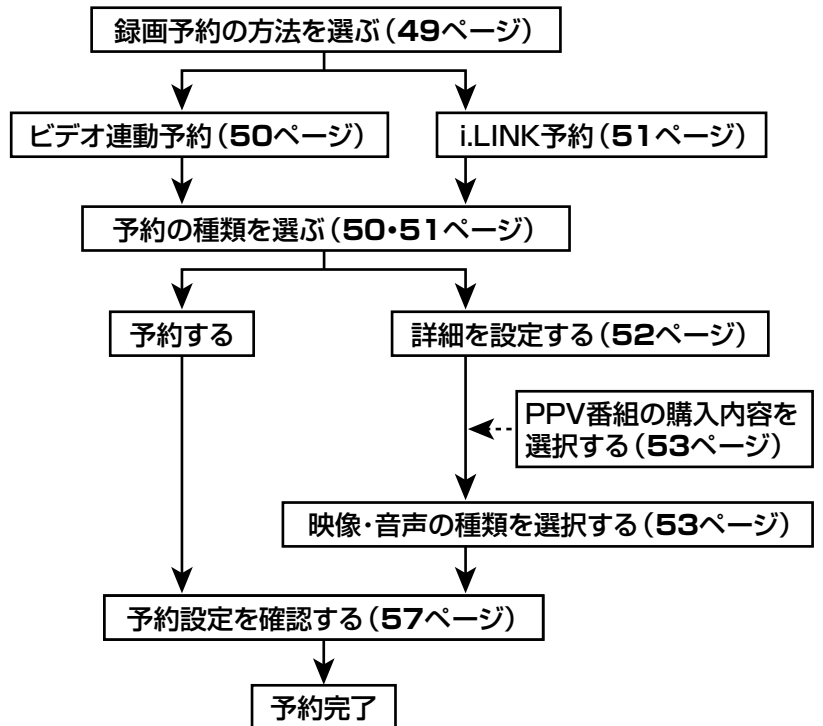
- 番組を予約すると、本体画面右下の予約ランプが点灯します。

**1** **◀で「視聴予約」を選び、決定を押す**

**2** **◀で「予約する」を選び、決定を押す**

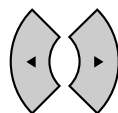
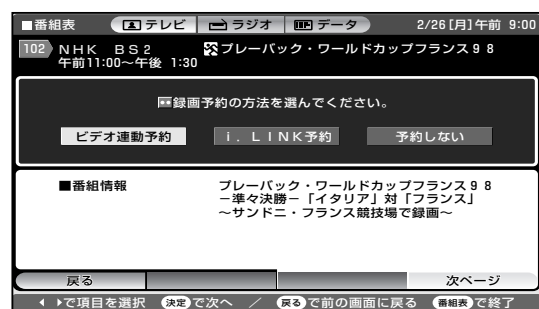
「予約する」……… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「予約しない」…… 予約をしないで番組表に戻ります。

**3** **「戻る」で決定を押す**

- 視聴予約が設定されました。

# 録画予約

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局とあらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取消し(**59**ページ)が必要です。
- データ放送はビデオ連動予約ができません。
- BS／110°CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル音声出力(光)端子の設定を「PCM」にしてください(**122**ページ)。
- 独立データ放送をD-VHSで録画するときは、i.LINKの設定を行ってください(**112**〜**116**ページ)。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

扉を閉じたところ

## 録画予約の操作手順

※ 上記の操作手順は一例です。選んだ番組によっては、必要のない手順もあります。

## 録画予約の方法を選ぶ

**で録画予約の方法を選び、決定を押す**

「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約(**50**ページ)に進みます。
「i.LINK予約」……… i.LINK連動予約(**51**ページ)に進みます。
「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

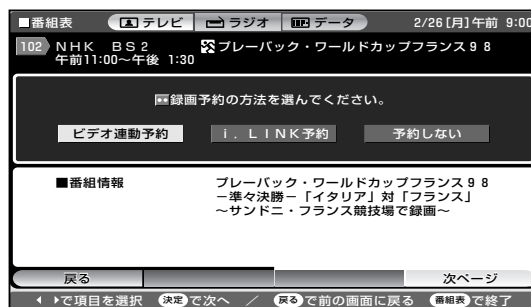
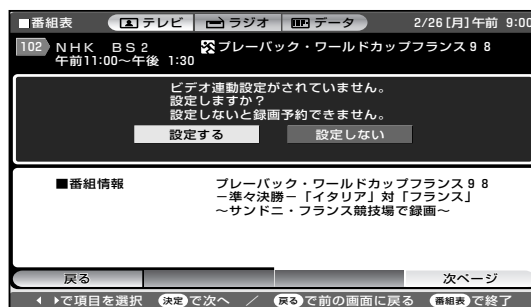
# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

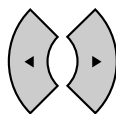
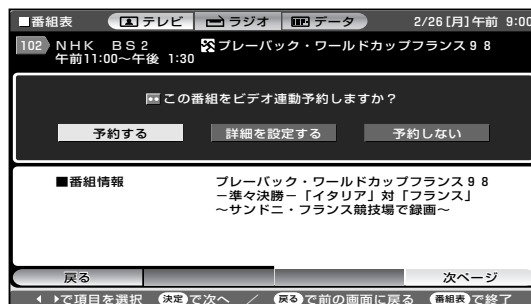
■ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間に合わせてビデオデッキの録画を開始・終了する予約録画方法です。

- ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続(**97**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**98**ページ)を済ませておいてください。
- **ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記憶されますので、次回からは必要ありません。**

扉を閉じたところ

## ビデオ連動予約するとき

### 1 ◀で「ビデオ連動予約」を選び、決定を押す

- ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

- 「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。(**98**ページ参照)

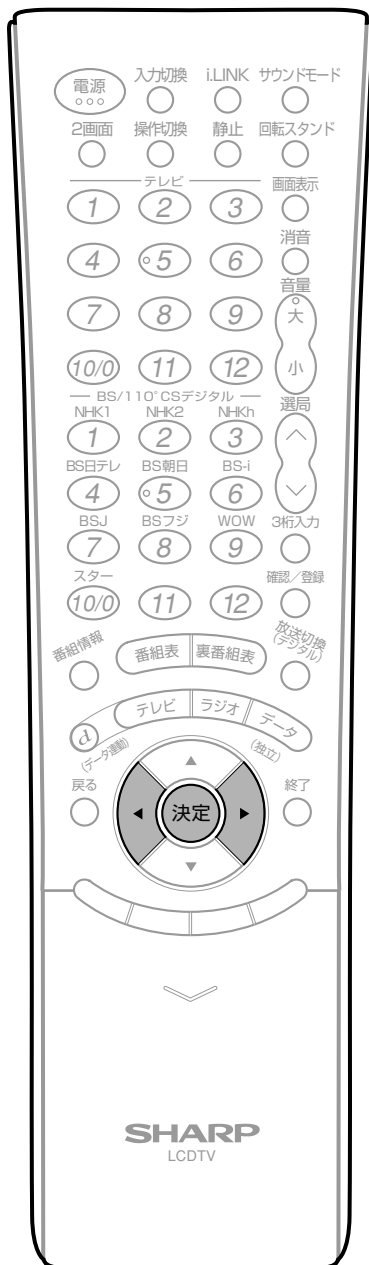
### 2 ◀ ▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」…………無料放送や契約している有料放送が予約できます。

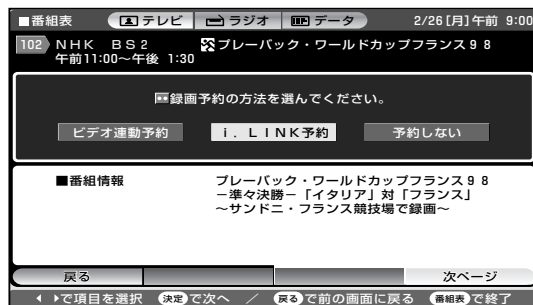
「詳細を設定する」…映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。

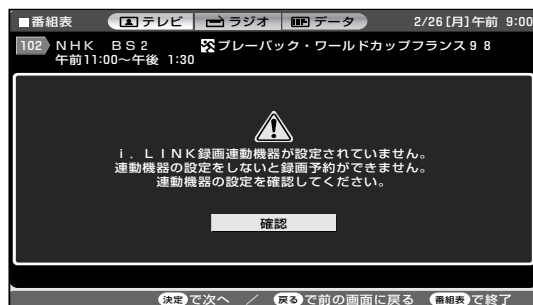
「予約しない」………予約をしないで番組表に戻ります。

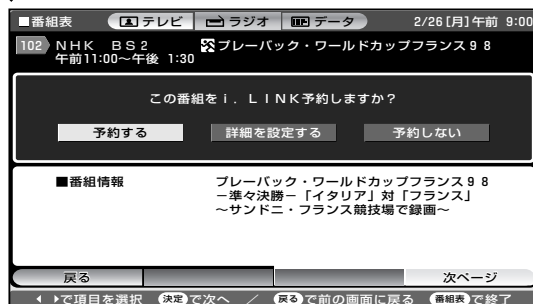
■i.LINK予約とは、本体後面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキを予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約した番組を録画する方法です。

●i.LINK予約するときは、あらかじめ、D-VHSビデオデッキの接続(**110**ページ)とi.LINK設定(**112**~**116**ページ)を済ませておいてください。

扉を閉じたところ

## i.LINK予約するとき

### 1 ◀▶で「i.LINK予約」を選び、決定を押す

●i.LINK設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。

●i.LINK設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

●「確認」で決定ボタンを押すと、i.LINK設定画面になります。設定を行ってください。(**112**ページ参照)

### 2 ◀▶で予約の種類を選び、決定を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

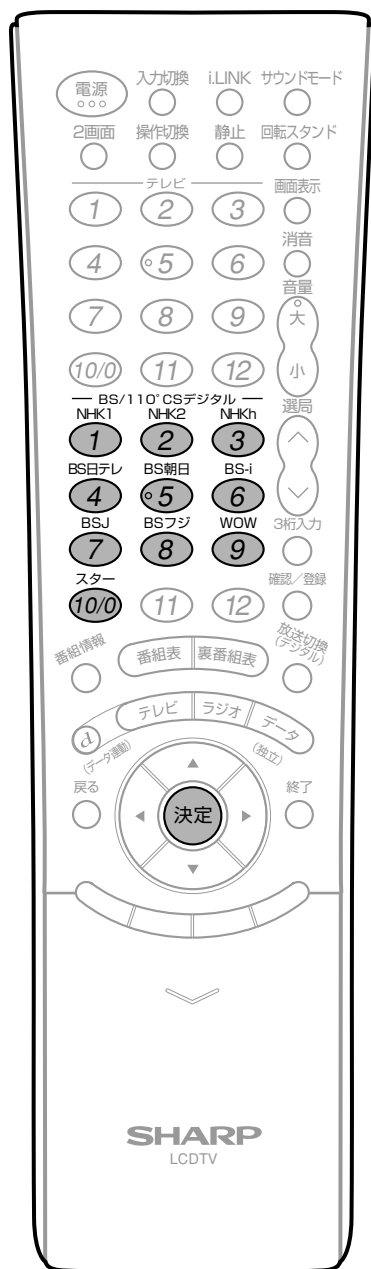
「詳細を設定する」… 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定が必要な項目では、設定のための画面が表示されます。

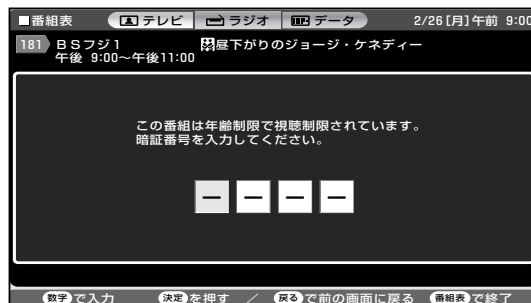
「予約しない」……… 予約をしないで番組表に戻ります。

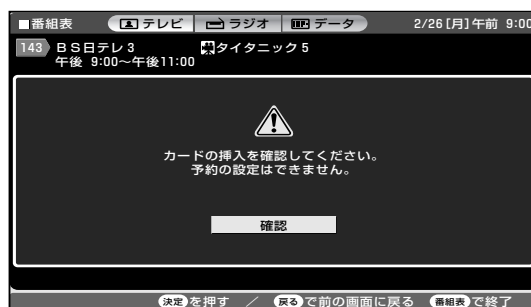
# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

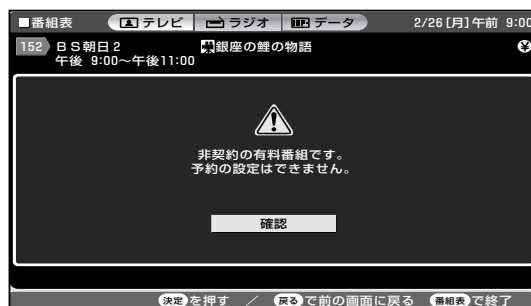
## 詳細設定

■ 視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。
設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

扉を閉じたところ

## 視聴年齢制限のある番組を予約したとき

●暗証番号入力画面が表示されます。

●BS／110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で暗証番号を入力してください。(**69**ページ参照)

## カード未挿入で非契約番組を予約したとき

●「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入し、「確認」で決定ボタンを押してください。

## 非契約の有料番組を予約したとき

●「(非契約)有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

## ビデオ連動予約の場合

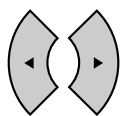
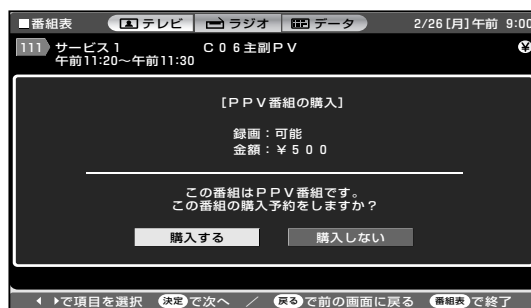
扉を閉じたところ

■映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

| | |
|---|---|
| 「マルチビュー」… | いろいろな角度から見た映像 |
| 「映像」……… | 主映像と副映像(最大3つ) |
| 「音声」……… | 主音声と副音声(最大7つ) |
| 「二重音声」… | 主音声と副音声 |

扉を閉じたところ

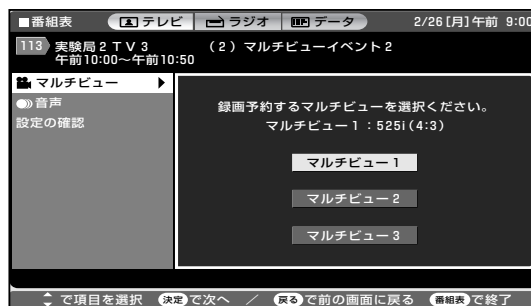
## PPV番組の購入(する／しない)を選択する

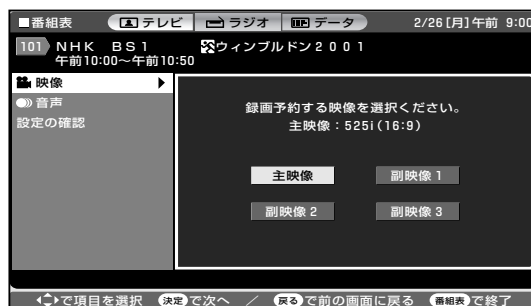
●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

**で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す**

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

## 映像・音声の種類を選択する

**1**

マルチビュー番組を選んでいるとき

**決定を押してから、▲ ▼でマルチビューの種類を選び、決定を押す**

副映像のある番組を選んでいるとき

**決定を押してから、▲ ▼ ◀ ▶で映像を選び、決定を押す**

●副映像の数は、番組によって異なります。

次ページへ

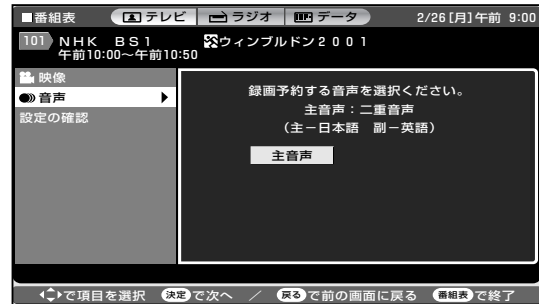
次ページへつづく

# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

扉を閉じたところ

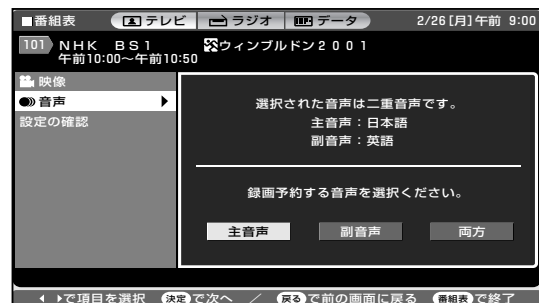
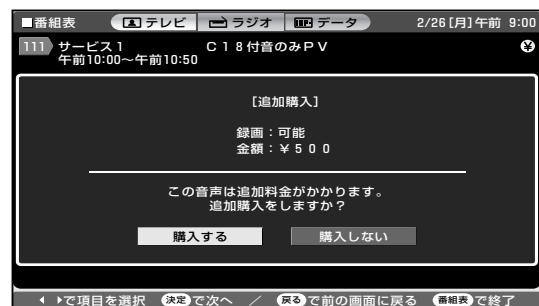
**2**

**① ▽で「音声」を選び、決定を押す**

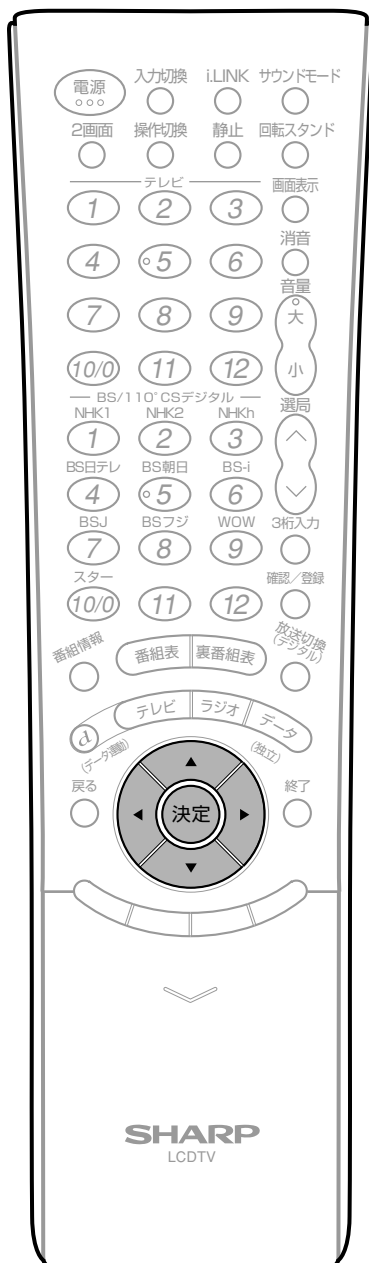
**② △▽◁▷で音声を選び、決定を押す**

●副音声の数は、番組によって異なります。

**3**

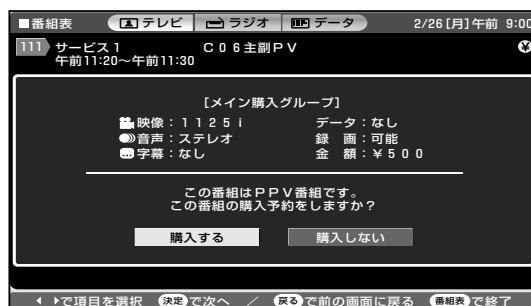
（手順2で選んだ音声が二重音声のときのみ必要な手順です。）

**◁▷で二重音声の種類(言語)を選び、決定を押す**

●映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

●「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

## i.LINK予約の場合

扉を閉じたところ

## PPV番組の購入（する／しない）を選択する

●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

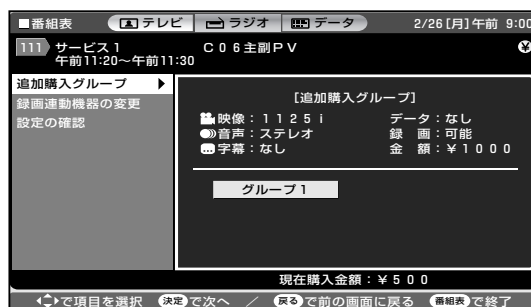
**で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す**

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

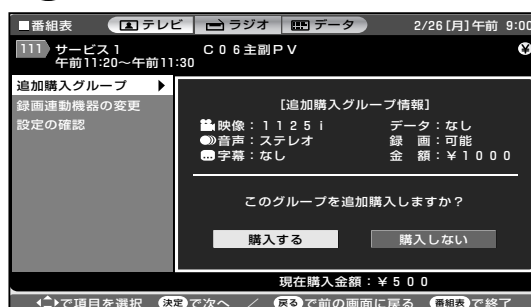
## 購入グループを選択する

●追加購入する映像・音声の組合せ（グループ）が複数あるときのみ必要な手順です。

**1**

**① 「追加購入グループ」で決定を押す**

**② で購入グループを選び、決定を押す**

**2**

**で「購入する」または「購入しない」を選び、決定を押す**

# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

## i.LINK予約の場合(つづき)

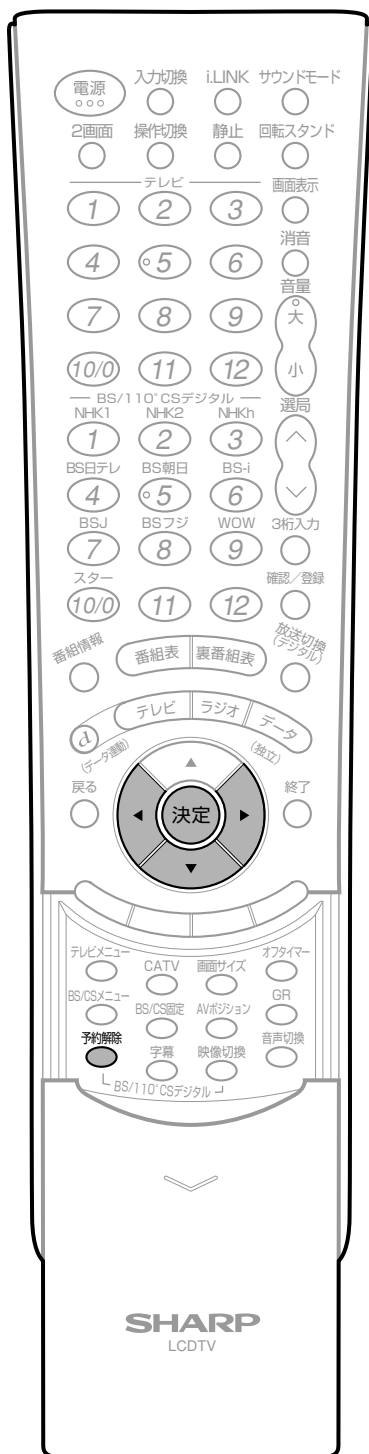
扉を閉じたところ

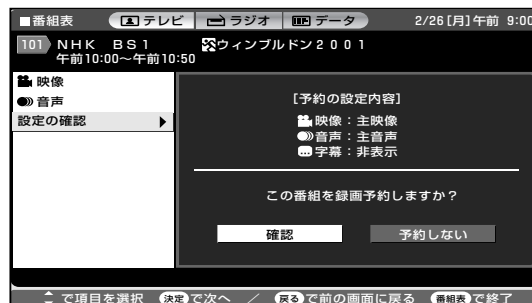
## 使用するi.LINK機器を選択する

●使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

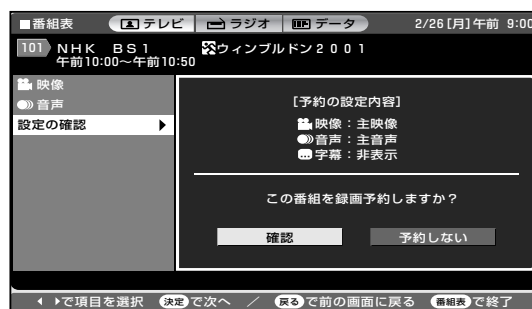
**1** ▲ ▼ で「録画連動機器の変更」を選び、決定を押す

**2** ▲ ▼ で、使用するi.LINK機器を選び、決定を押す

扉を開けたところ

## 予約設定を確認する

**1** **▼で「設定の確認」を選び、決定を押す**

（ビデオ連動予約の場合の表示例）

**2** **① 画面に表示された設定内容を確認する**

**② 「確認」で決定を押す**

- 録画予約が設定されました。
- 「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

**おしらせ**

予約ランプについて

- 番組を予約すると、本体画面右下の予約ランプが点灯します。

実行中の予約録画を解除するには

- BS／110°CSデジタル放送に切り換えてから、予約解除ボタンを押します。

# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

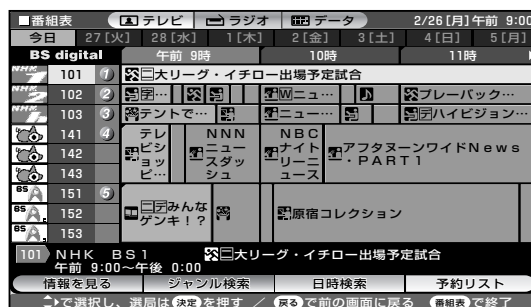
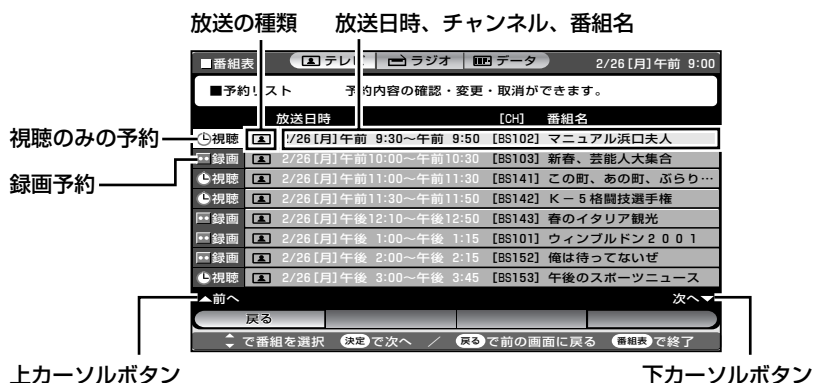
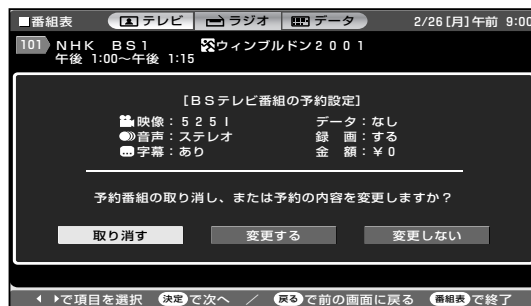
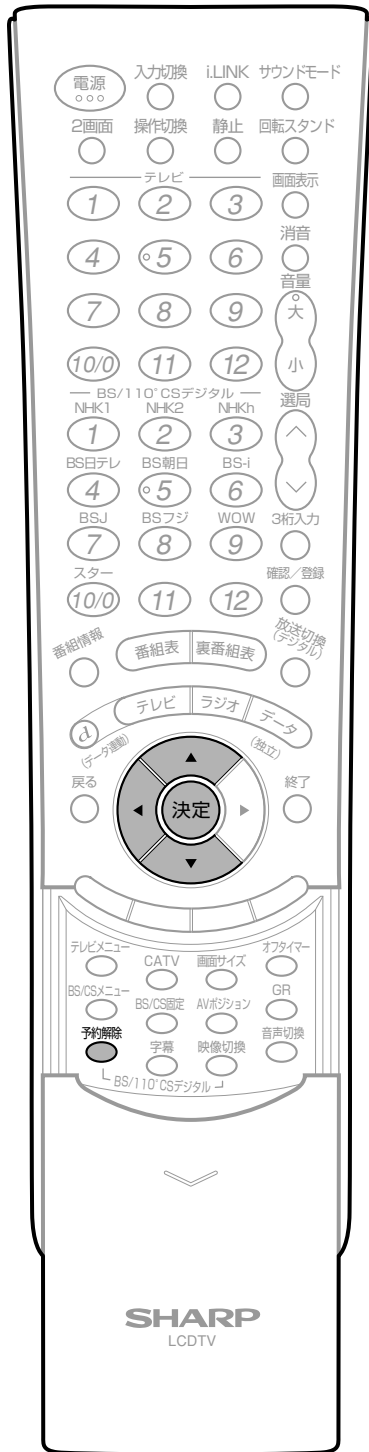
## 予約の確認・取消し・変更

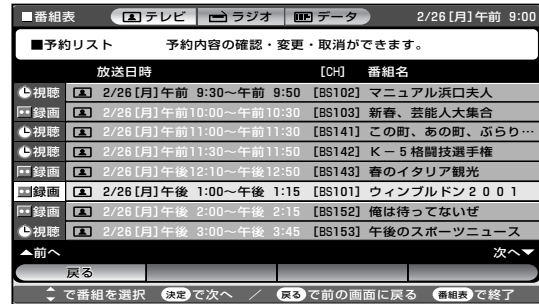
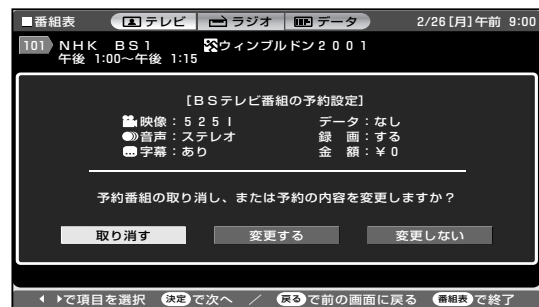
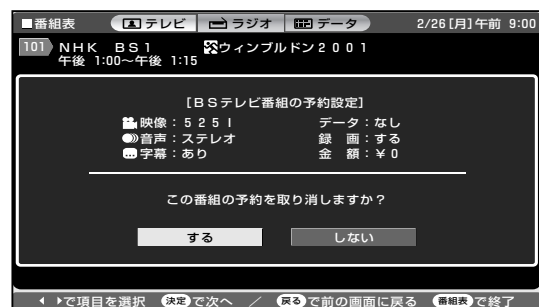
■番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

扉を閉じたところ

## 予約を確認したいとき

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 黄 (予約リスト)を押し、予約リストを表示する

### ▼予約リストの例

- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- リストを上下にスクロールしたいときは、上下カーソルボタンを使います。
- 予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。

扉を開けたところ

## 予約を取り消したいとき

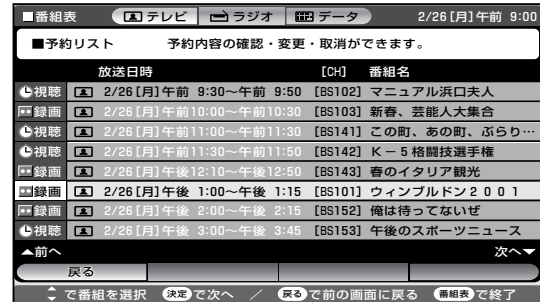
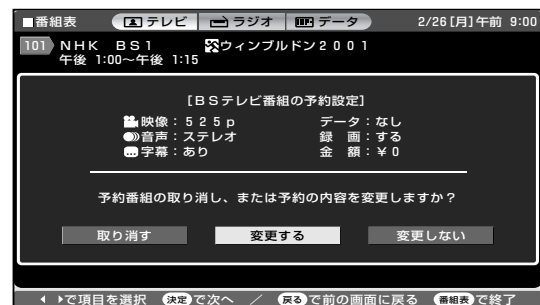
**1 予約を取り消したい番組を▲▼で選び、決定を押す**

**2 ◀で「取り消す」を選び、決定を押す**

**3 ◀で「する」を選び、決定を押す**

おしらせ

**実行中の予約録画を解除するには**

- BS／110°CSデジタル放送に切り換えてから、予約解除ボタンを押します。

# 電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

## 予約を変更したいとき

### 1 予約を変更したい番組を ▲ ▼ で選び、決定を押す

### 2 ◀ ▶ で「変更する」を選び、決定を押す

●予約選択画面になります。

### 3 予約操作をやりなおす

●**48**〜**57**ページの操作手順をご参照ください。

# 放送視聴のためのいろいろな設定

## 画面サイズの設定

扉を開けたところ

**1**

**① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

**② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ**

**③ ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す**

**2**

**▲ ▼ で「画面サイズ設定」を選び、決定 を押す**

**3**

**◀ ▶ で「オート」または「フル固定」を選び、決定 を押す**

「オート」……… 525i放送以外の放送を1125i変換してディスプレイに表示・再生します。
525i放送のとき、お好みの画面サイズに切り換えて表示・再生することができます。
通常は「オート」でお使いください。

「フル固定」…… すべての放送を1125iに変換してディスプレイに表示・再生します。

おしらせ

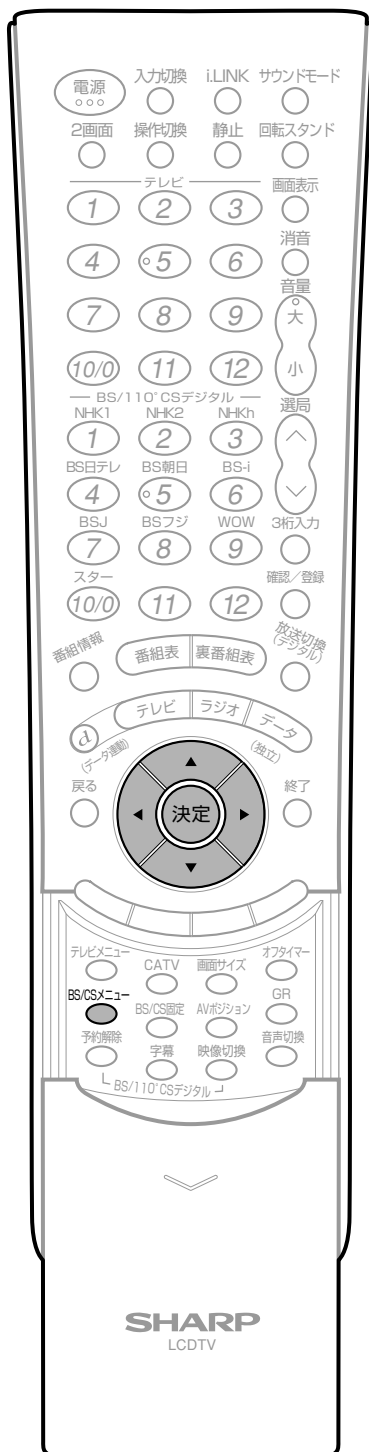
**2種類の画面サイズ設定について**

- 「オート」…番組表やデータ放送を表示すると、画面の一部が欠落することがあります。また、受信チャンネルの切換えに時間がかかったり、画面にノイズが出ることがあります。
- 「フル固定」…すべての放送を1125iに変換して表示・再生するため、画面いっぱいに広がらないなど、お好みの画面サイズで表示できないことがあります。

# 放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

## 録画画面サイズの設定

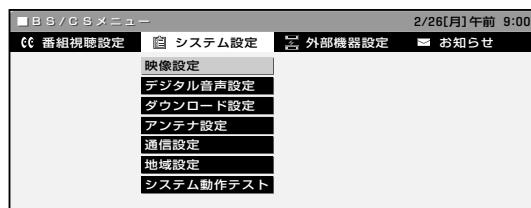
■本機に接続した録画用機器にＢＳ／110°CSデジタル放送の16：9映像を録画するときの画面サイズを選びます。

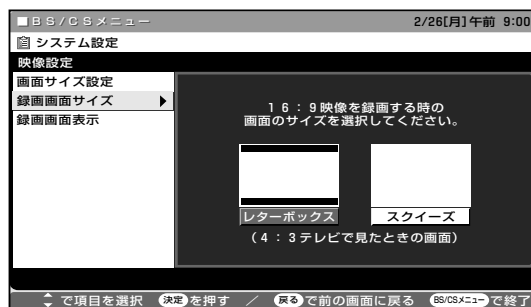
扉を開けたところ

### 1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

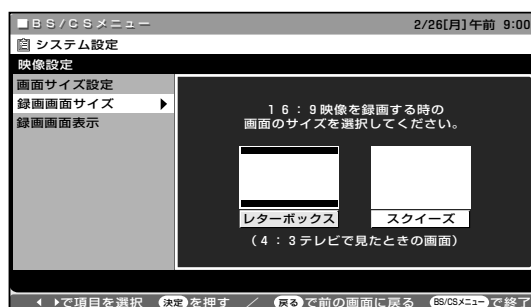
② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す

### 2

▲ ▼ で「録画画面サイズ」を選び、決定 を押す

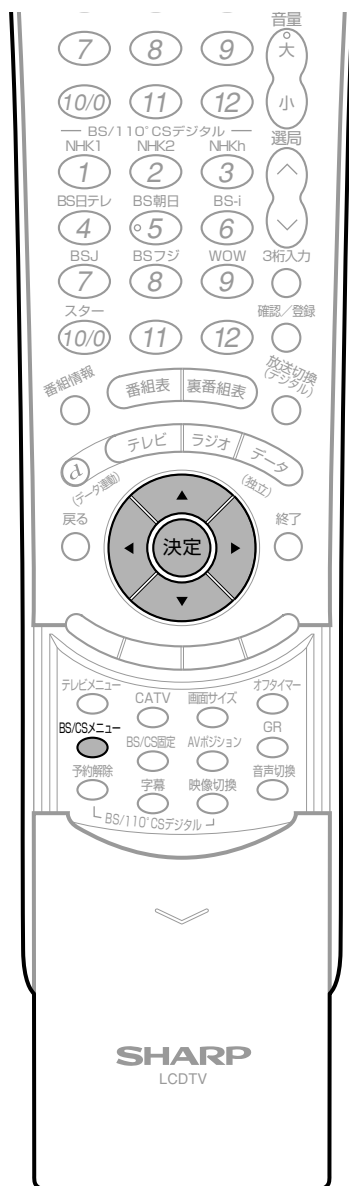
### 3

◀ ▶ で「レターボックス」または「スクイーズ」を選び、決定 を押す

「レターボックス」… ４：3のテレビで見たとき、画面の上下に黒い帯が入った横長の映像で表示し、オリジナルの16：9映像のまま見ることができます。

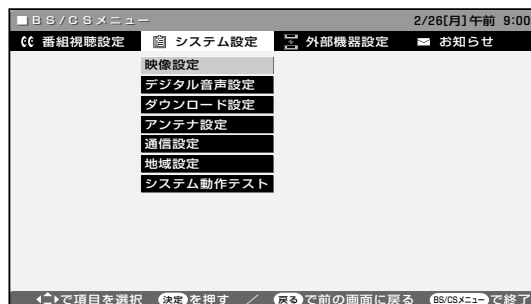
「スクイーズ」……… ４：3のテレビで見たとき、横方向に圧縮された縦長の映像になります。16：9のテレビで見たときは、オリジナル映像そのままのワイド映像になります。

## 録画画面表示の設定

■本体後面右側端子部のBS/CS出力端子に接続した録画用機器に録画するとき、データ放送画面、字幕、メニュー、電子番組表などの画面表示をいっしょに録画するかしないかを選ぶことができます。

扉を開けたところ

おしらせ

- 録画画面表示を「する」に設定したとき、BS/CS出力端子から出力される映像の画面サイズが変わることがあります。
- BS/CS固定時は、BS/CSメニューや電子番組表を表示することができません。

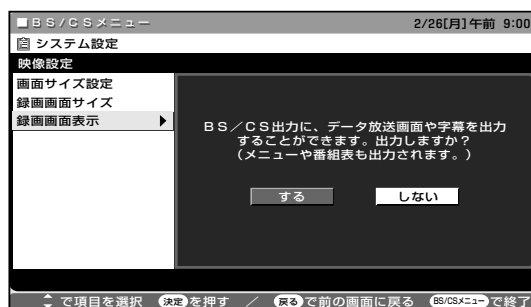
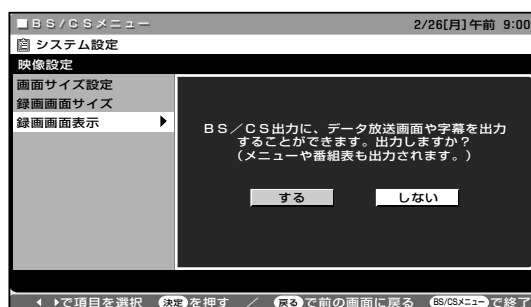
**1**

**① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

**② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ**

**③ ▲ ▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す**

**2**

**▲ ▼ で「録画画面表示」を選び、決定 を押す**

**3**

**◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す**

# 放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

## チャンネル表示のしかたを選ぶ

■番組を選んで画面を切り換えたときに、チャンネル番号や番組タイトルなどが表示されます。

扉を開けたところ

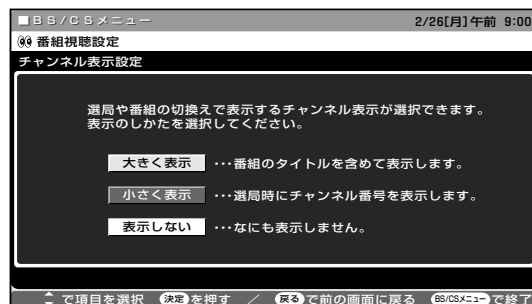
**1**

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀▶で「番組視聴設定」を選ぶ

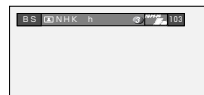
③ ▲▼で「チャンネル表示設定」を選び、決定を押す

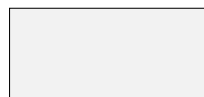
**2**

▲▼で表示のしかたを選び、決定を押す

（表示例）

「大きく表示」… 番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。

（表示例）

「小さく表示」… チャンネル番号だけを表示します。

「表示しない」… 何も表示しません。

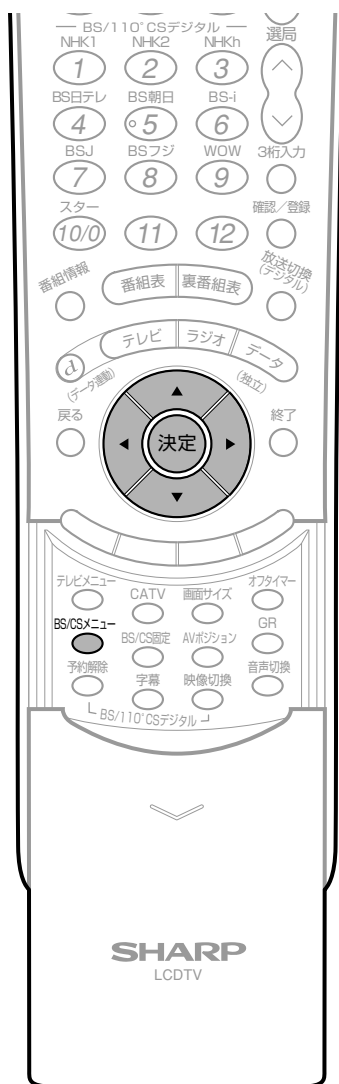
**3**

BS/CSメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

## チャンネルスキップを設定する

■選局（∧順／∨逆）ボタンでＢＳ／110°ＣＳチャンネルを選局するとき、同じ番組※をとばして選局するように設定することができます。

※ 時間帯によっては、同じ1つの放送局が複数のチャンネルで同じ番組を放送することがあります。

扉を開けたところ

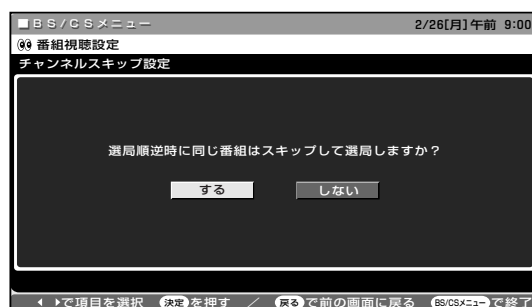
### 1

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定 を押す

### 2

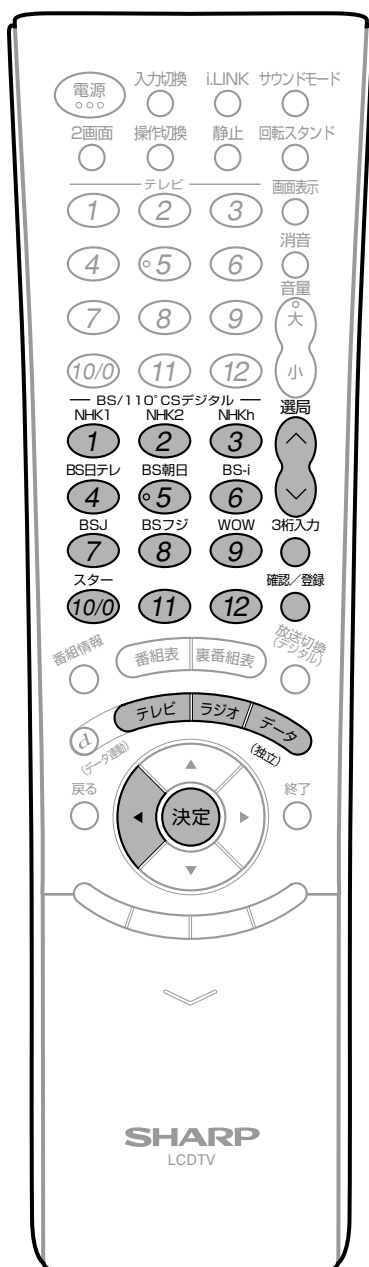
◀ で「する」を選び、決定 を押す

### 3

BS/CSメニュー を押し、通常画面に戻す

# 放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

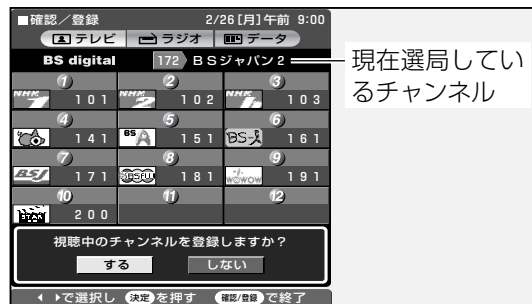
## お好みのチャンネルを登録する

■BS／110°CSデジタル放送のテレビ放送・ラジオ放送・独立データ放送それぞれにつき、お好みのチャンネルを12局まで登録できます。登録できるチャンネルボタンは、BS／110°CSチャンネルボタン1〜12です。

扉を閉じたところ

**1** ① **登録したいBS／110°CSデジタル放送のチャンネルを選局する**

② **確認/登録を押す**

③ **◀で「する」を選び、決定を押す**

現在選局しているチャンネル

**2** **登録したいBS／110°CSチャンネルボタン(1〜12)を押し、決定を押す**

<例> 「BSジャパン2」(172チャンネル)を11に登録する場合は、BS／110°CSチャンネルボタン11を押します。

●登録確認画面が表示されます。

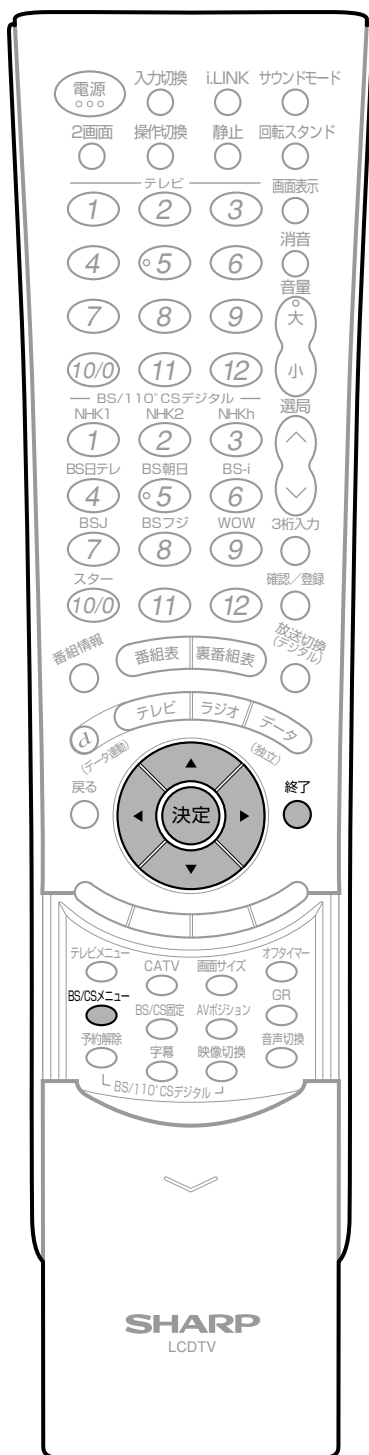
**3** **◀で「登録する」を選び、決定を押す**

●設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期設定」を選んで決定ボタンを押します。

# 電子番組表やBS/CSメニューを半透明で表示する

■背景の映像を見ながら番組表操作などをしたいとき、電子番組表やBS/CSメニューなどを半透明で表示させることができます。

扉を開けたところ

**1**

**① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

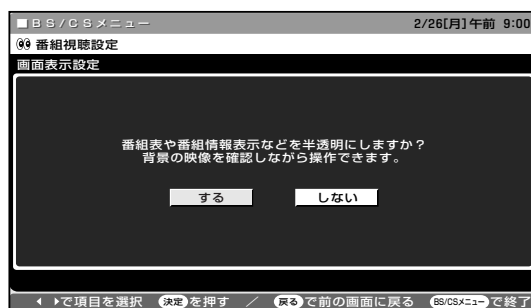
**② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ**

**③ ▲ ▼ で「画面表示設定」を選び、決定 を押す**

**2**

**◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す**

「する」………BS/CSメニューや電子番組表を半透明で表示します。背景の映像を確認しながら操作できます。

「しない」……半透明で表示しません。画面表示をはっきりと見ることができます。

**3**

**BS/CSメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

# 放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

## 字幕を表示する

■字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

扉を開けたところ

**1**

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② で「番組視聴設定」を選ぶ

③ で「字幕表示設定」を選び、決定を押す

**2**

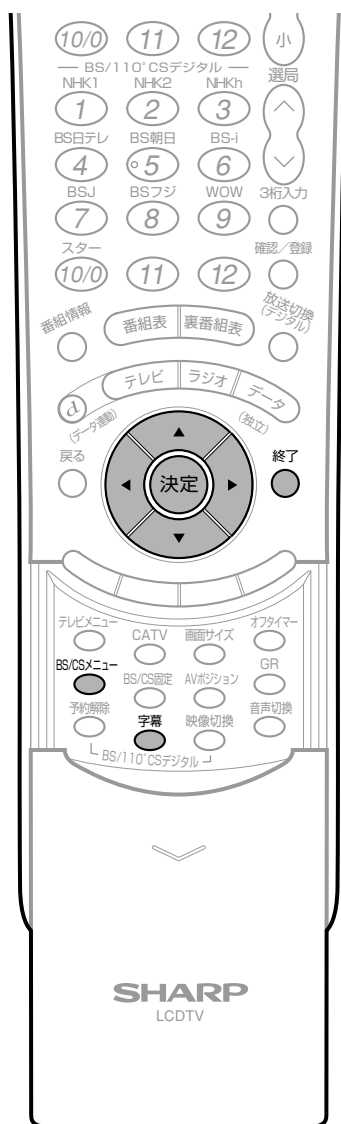
で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… 字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。(リモコンの字幕ボタンでは字幕表示を消せません。)

「しない」…… リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。

**3**

BS/CSメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

おしらせ

**字幕ボタンについて**

- 字幕表示設定を「する」にしたとき
  複数の字幕がある番組では、字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。
- 字幕表示設定を「しない」にしたとき
  字幕のある番組では、字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

# 安心して使うための設定

## 暗証番号について

本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

## 暗証番号を設定する

■ 暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

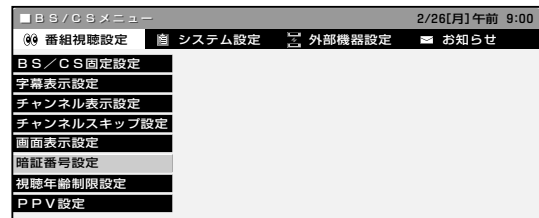
扉を開けたところ

**1**

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

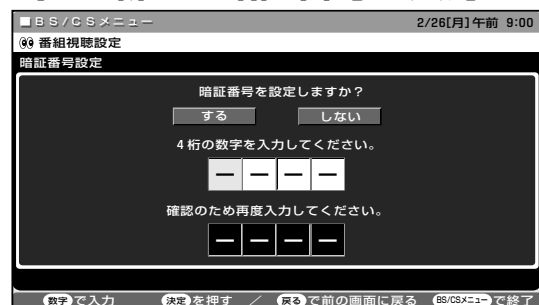
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「暗証番号設定」を選び、決定を押す

**2**

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……新しい暗証番号の設定（手順3）に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせず、メニュー画面に戻ります。

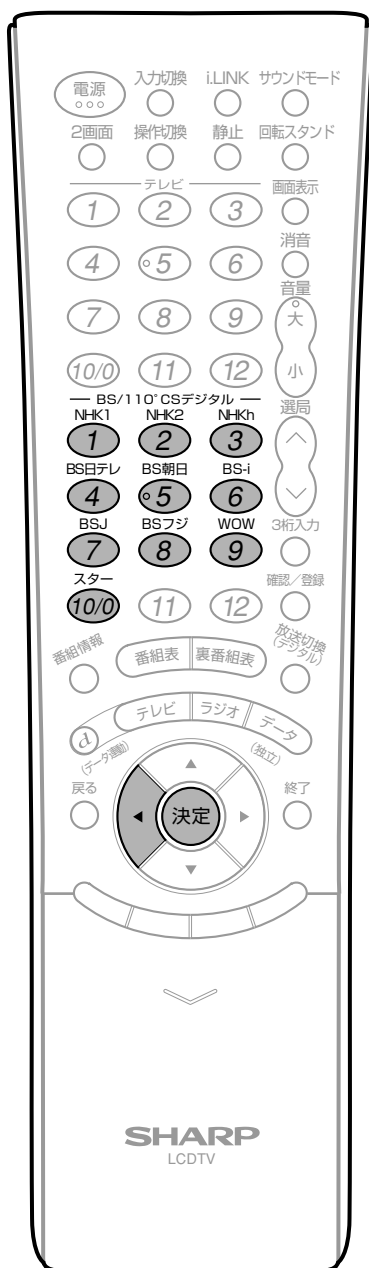
**3**

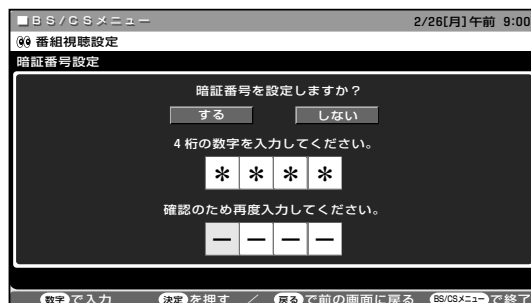
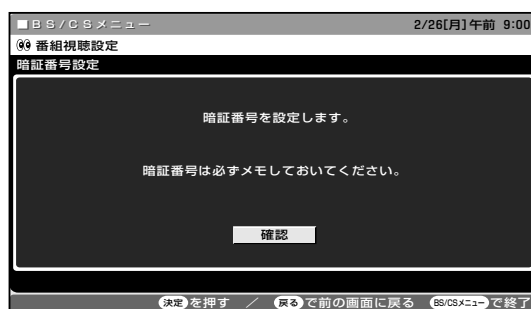
BS／110°CSチャンネルボタン（1～10/0）で、新しい暗証番号を入力する

●左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁削除できます。

次ページへ

次ページへつづく

# 安心して使うための設定(つづき)

扉を閉じたところ

## 4 確認のため、再度同じ番号をBS／110°CSチャンネルボタン(1〜10/0)で入力する

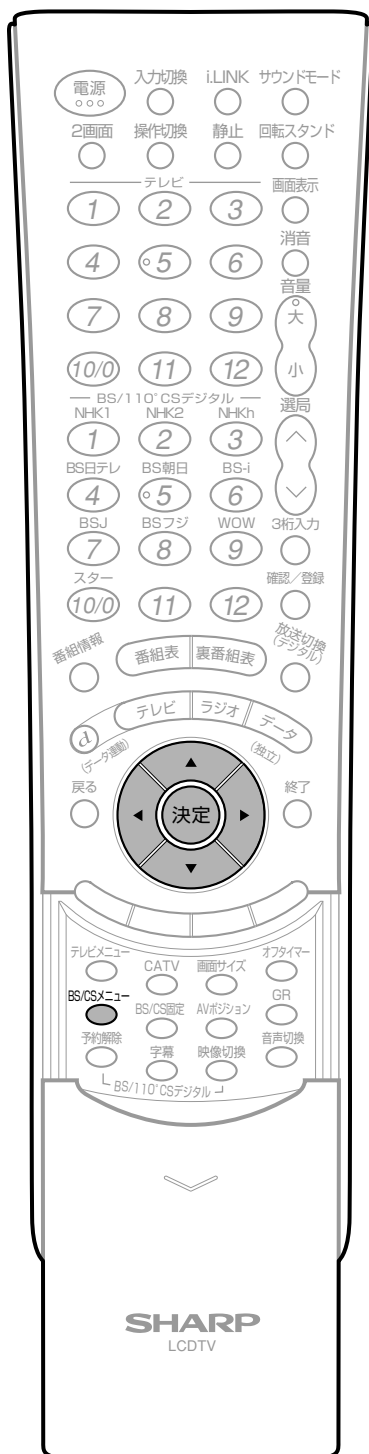
●間違った番号を入力した場合は、手順3からやりなおしになります。

## 5 暗証番号をメモし、「確認」で(決定)を押す

●新しく入力した暗証番号の設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

おしらせ

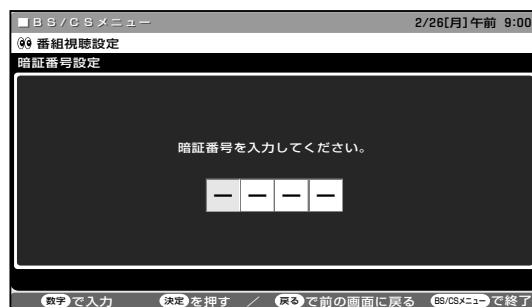
● 暗証番号は必ずメモしてください。

**暗証番号を忘れたときは**

● 受信契約されている、有料放送の放送局(WOWOWやスターチャンネルなど)までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。
暗証番号の消去には手数料がかかります。(2002年11月現在)

## 暗証番号を変更するとき

①  **を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

② **で「番組視聴設定」を選ぶ**

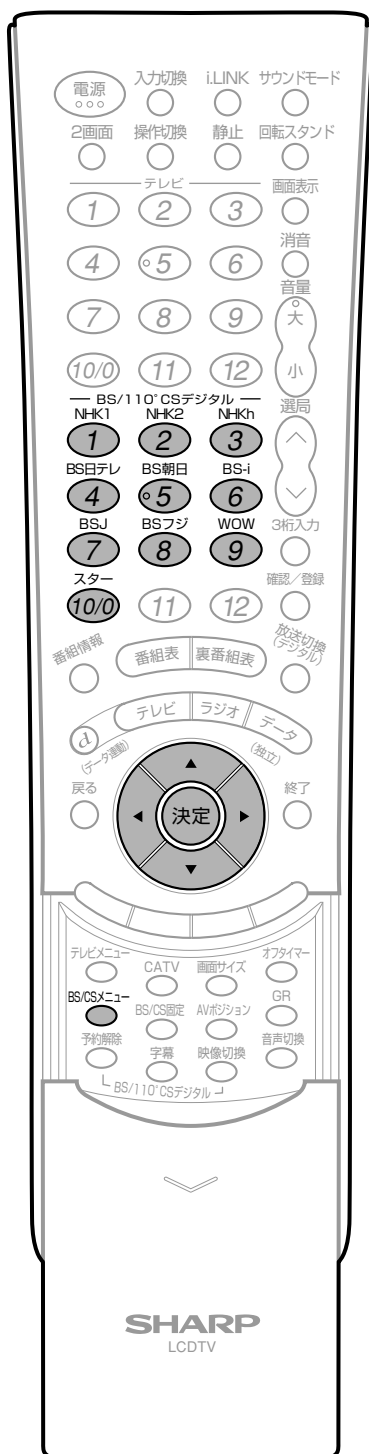
③ **で「暗証番号設定」を選び、決定を押す**

- 暗証番号を入力すると、**69**ページ「暗証番号を設定する」の手順**2**の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定しなおしてください。

# 安心して使うための設定(つづき)

## 視聴年齢制限を設定する

■年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。
なお、年齢制限は4～20歳の範囲で設定できます。

扉を開けたところ

**1**

**① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

**② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ**

**③ ▲ ▼ で「視聴年齢制限設定」を選び、決定 を押す**

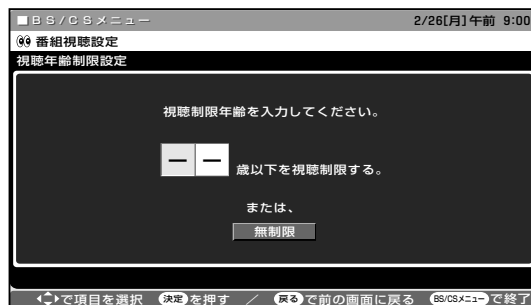
**2**

**BS/110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する**

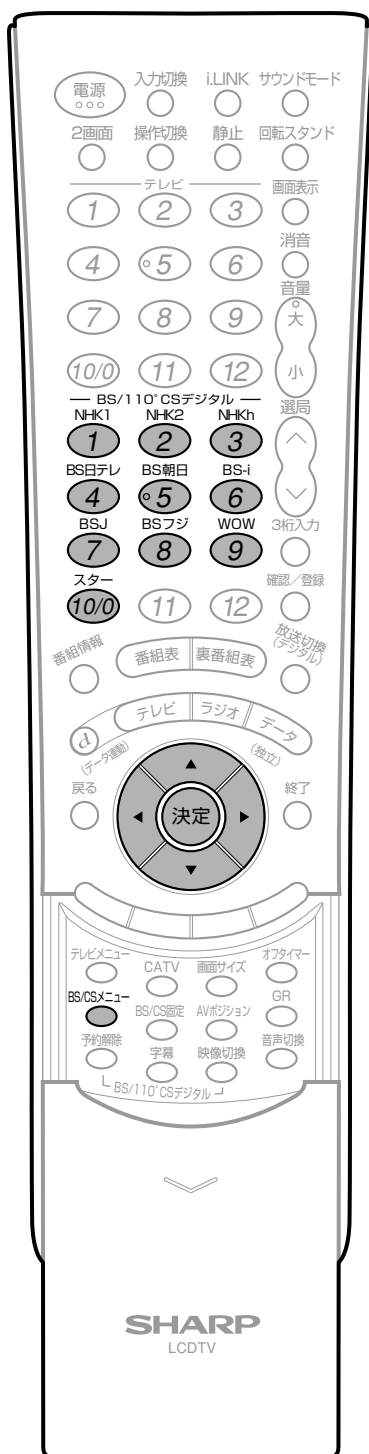
●視聴年齢制限設定画面が表示されます。

**3**

**① ▲ で年齢の入力欄を選ぶ**

**② 制限する年齢をBS/110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で入力し、決定 を押す**

●年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

## PPV制限を設定する

■暗証番号を入力しないと、PPV番組を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**69**ページ)をしておくことが必要です。

扉を開けたところ

**1**

**① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

**② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ**

**③ ▲ ▼ で「PPV設定」を選び、決定 を押す**

**2**

**BS/110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する**

●PPV設定画面が表示されます。

**3**

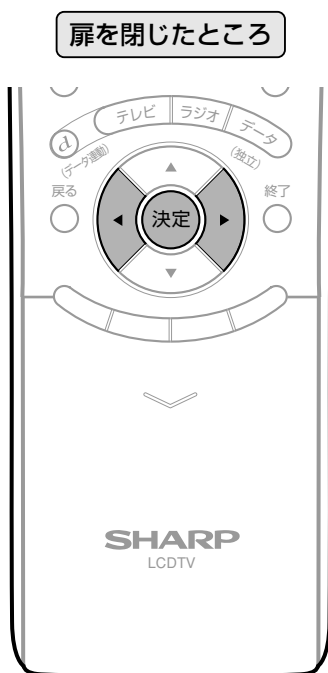
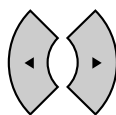
**「PPV制限」で 決定 を押す**

次ページへ



次ページへつづく

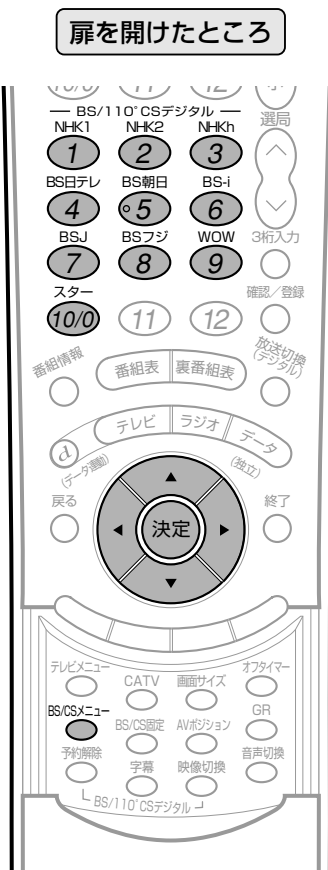
# 安心して使うための設定(つづき)

扉を閉じたところ

4 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……PPV番組の購入前に暗唱番号の入力が必要になります。

「しない」…PPV番組の購入前に暗証番号の入力は必要ありません。

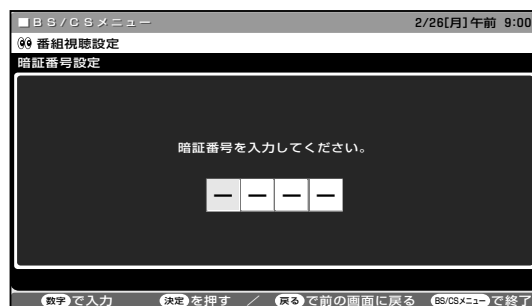
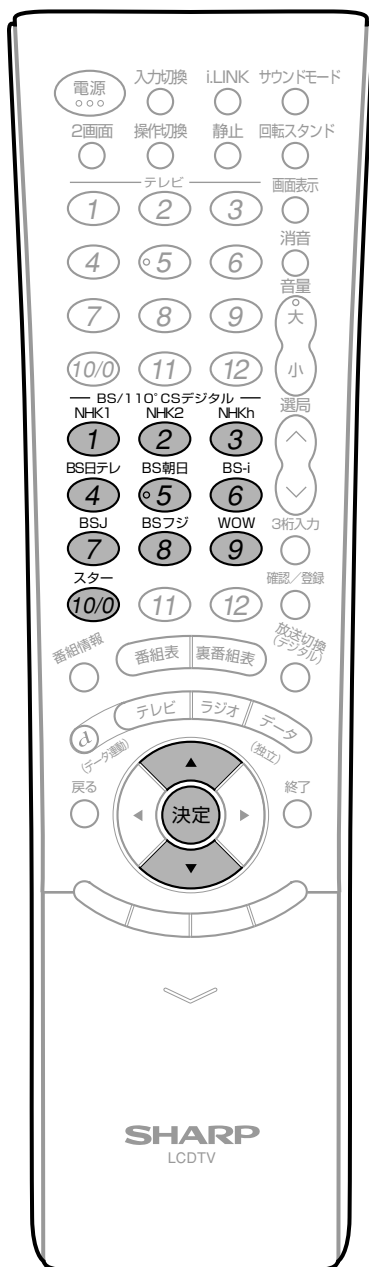
## 購入金額制限を設定する

■PPV番組の購入金額を制限し、設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。

扉を開けたところ

1 ① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

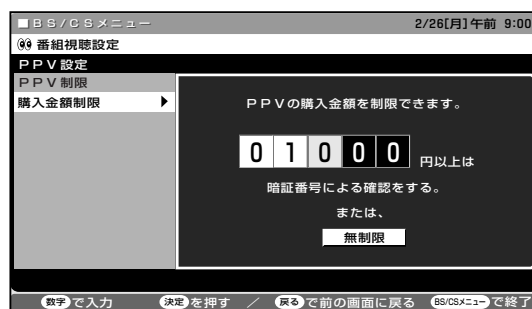
② で「番組視聴設定」を選ぶ

③ で「PPV設定」を選び、決定を押す

2 BS／110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で暗証番号を入力する

次ページへ

## 3 で「購入金額制限」を選び、決定を押す

## 4
① で購入金額の入力欄を選ぶ

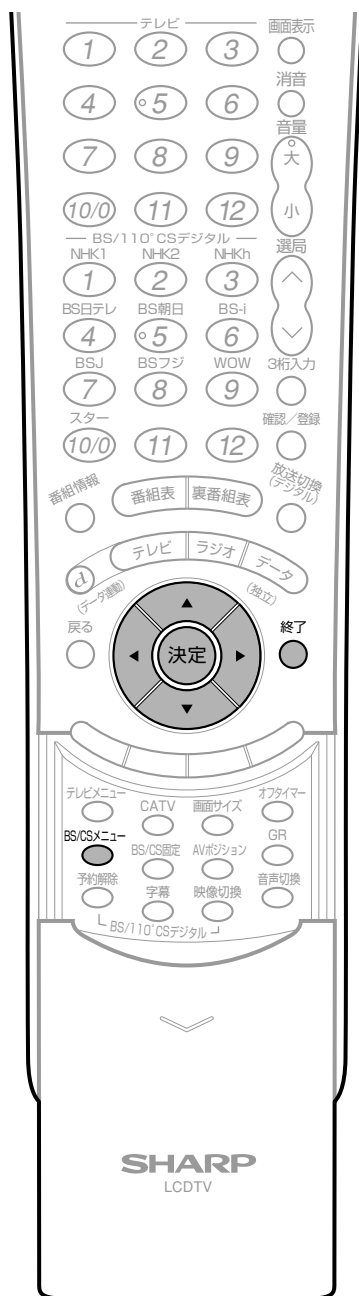
② 購入金額の上限をBS／110°CSチャンネルボタン(1～10/0)で入力し、決定を押す

＜例＞1,000円のとき

●購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

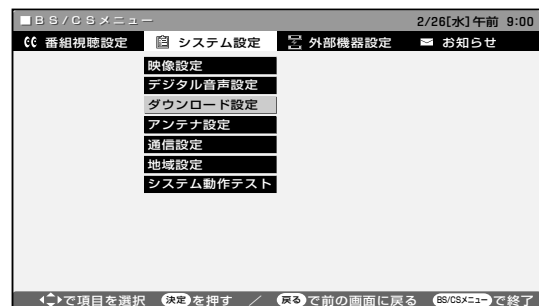
# ダウンロードを行う

## ダウンロードの方法

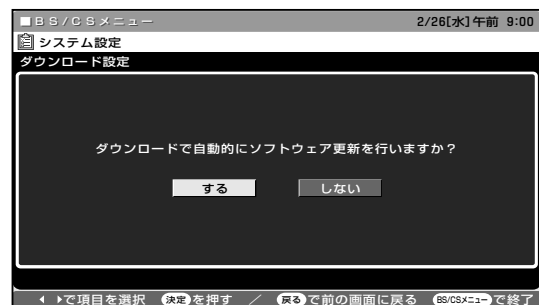
■ ダウンロードとは、BS／110°CSデジタル放送受信機内のソフトウェアなどで使用されるデータを放送電波で受信し、更新する機能です。受信機の機能を向上させたり、新たなサービスに対応することが可能となります。

扉を開けたところ

**1** BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

**2** ① ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

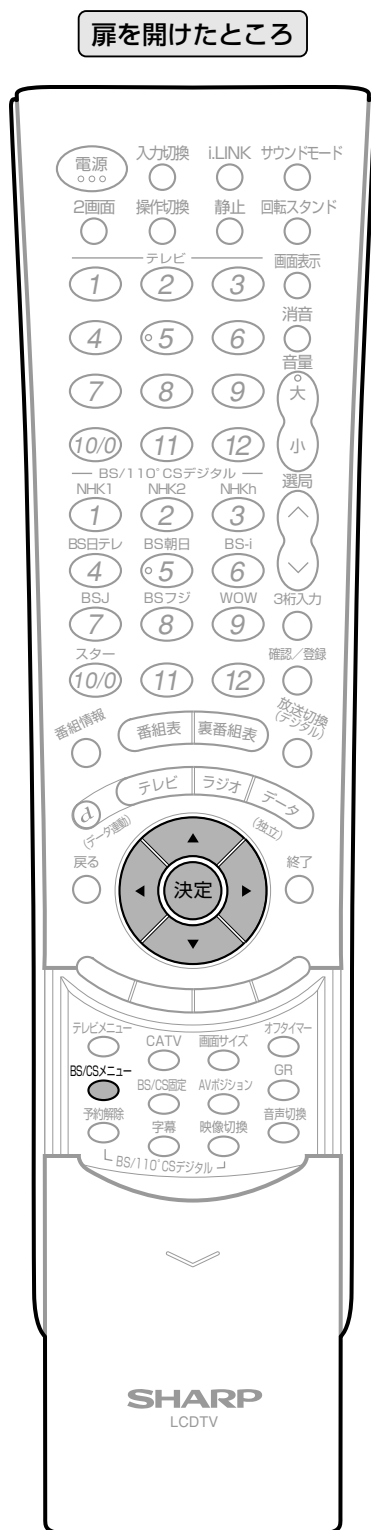
② ▲ ▼で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

**3** ◀ ▶で「する」または「しない」を選び、決定を押す

「する」……… 自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。（工場出荷時の設定）

「しない」…… ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

**4** BS/CSメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

● ダウンロードは、本機が電源待機状態（電源ランプが赤色点灯）のときに実行されます。

自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

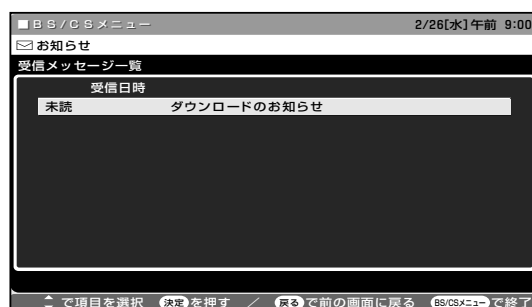
## 手動でダウンロードを行うとき

### 1

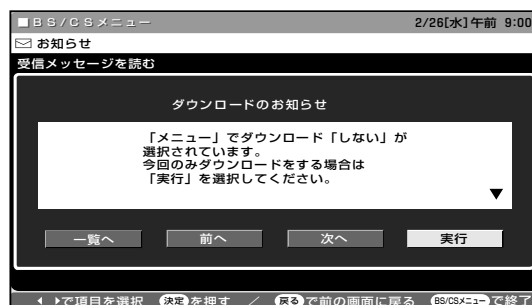
① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「受信メッセージ一覧」を選び、決定 を押す

### 2

▲ ▼ で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定 を押す

### 3

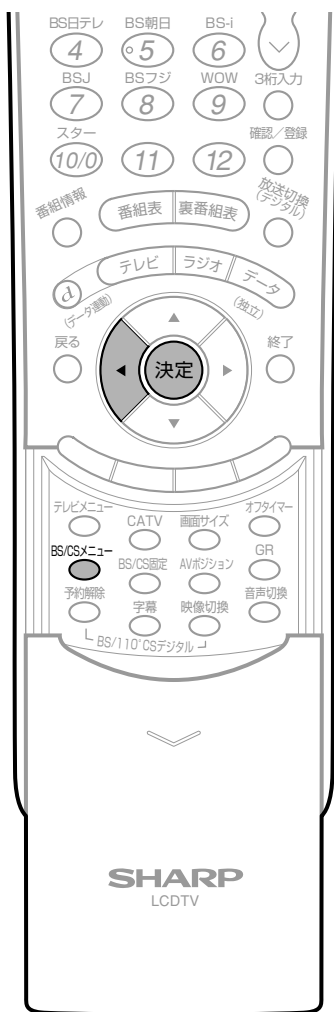
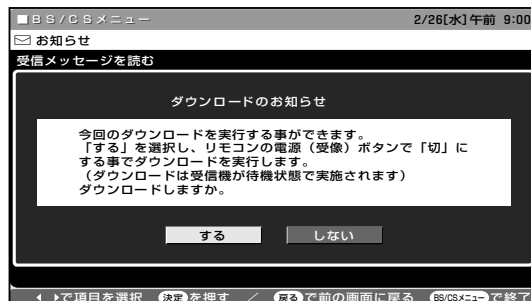
画面の表示内容を確認してから、▶ で「実行」を選び、決定 を押す

次ページへ



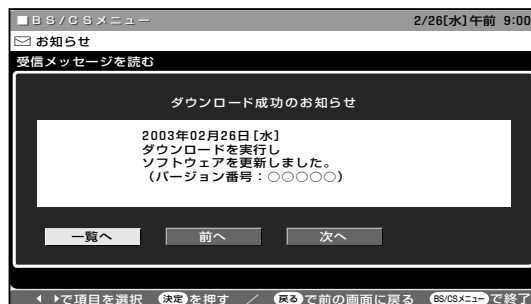
次ページへつづく

# ダウンロードを行う（つづき）

扉を開けたところ

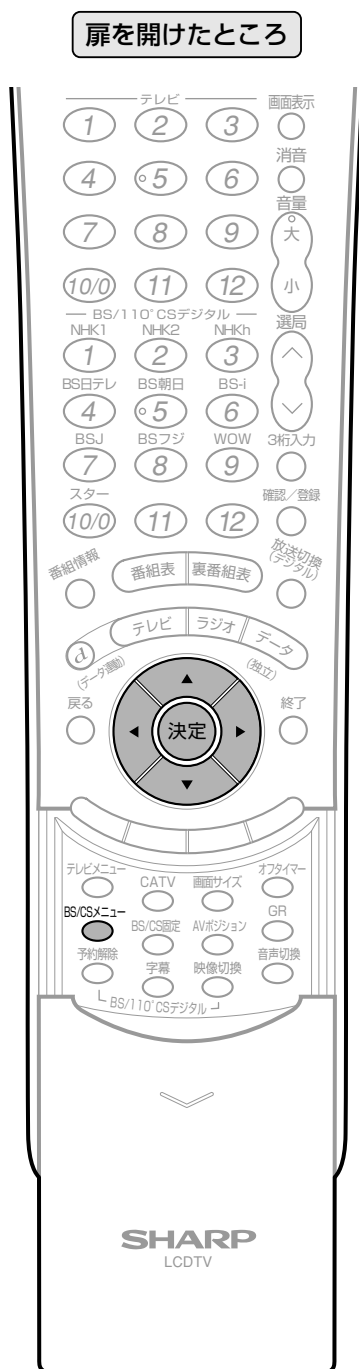
- ソフトウェアの受信（ダウンロード）には、数分程度の時間がかかります。その間は、BS/CSリセットボタンの操作や電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定しなおしてください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ソフトウェアを受信するために、本機の電源が入り、ファンが回る場合があります。

## 4 画面の表示内容を確認してから、◀で「する」を選び、を押す

おしらせ

- ダウンロードは、本機が電源待機状態（電源ランプが赤色点灯）のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等で、電源待機状態にしてください。

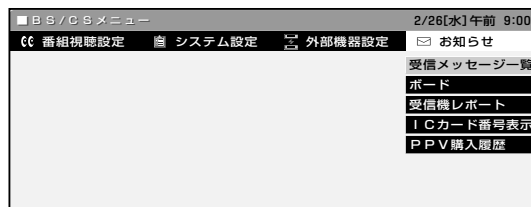
- ダウンロードが成功すると、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」の中に、ダウンロードが成功した旨のメッセージが書き込まれます。
- お知らせを見る場合は、**77**ページ手順**1**〜**2**の操作を行ってください。

# お知らせを見る

受信契約した放送局から視聴者に向けてメッセージが発信されます。
また、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号なども確認できます。

## 受信メッセージを見る

■受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

扉を開けたところ

［例］ダウンロード成功のお知らせを見る

**1**

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

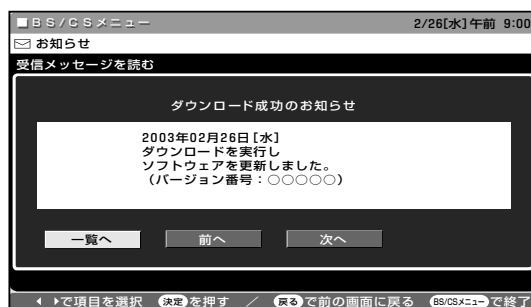
③ ▲ ▼ で「受信メッセージ一覧」を選び、決定 を押す

**2**

見たいメッセージを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

**3**

① メッセージの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定 を押す

# お知らせを見る(つづき)

## ボードを表示して情報を見る

■送られている、CS各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。

扉を開けたところ

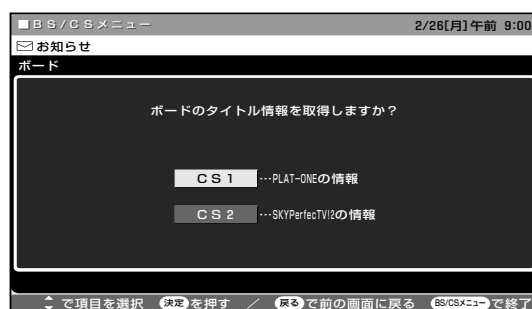
**1**

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「ボード」を選び、決定 を押す

**2**

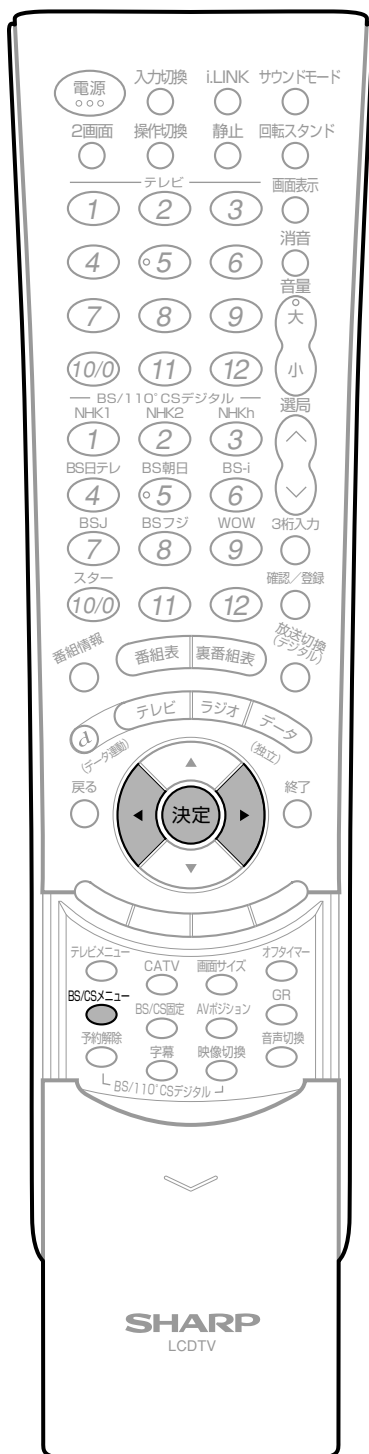
表示したいネットワークを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

●選んだネットワークのボードが表示されます

**3**

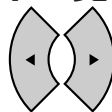
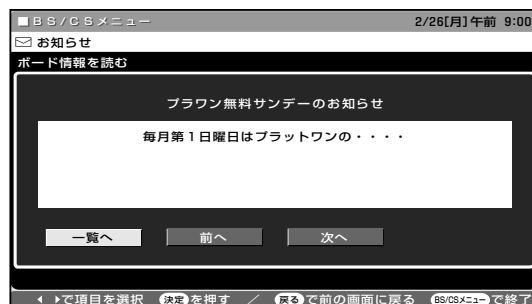
見たい情報のタイトルを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

(プラットワンのボード表示例)

次ページへ

扉を開けたところ

## 4

① **メッセージの内容を確認する**

② **「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを**

**で選び、決定を押す**

## 5

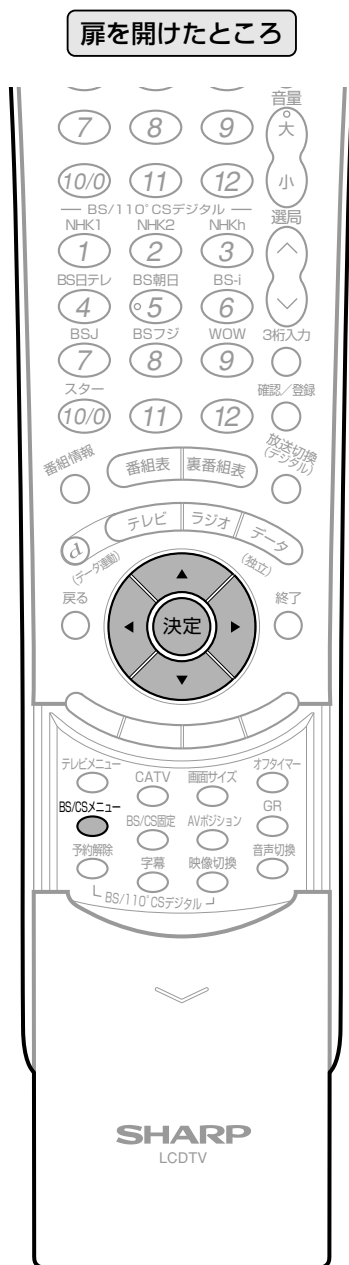
**BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す**

おしらせ

- ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。

## 受信機レポートを見る

■B-CASカードが壊れたときや、課金情報のアップロード(視聴履歴の送信)に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

扉を開けたところ

おしらせ

● アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードしなおすことができます。

[例] アップロード失敗のレポートを見る

**1**

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

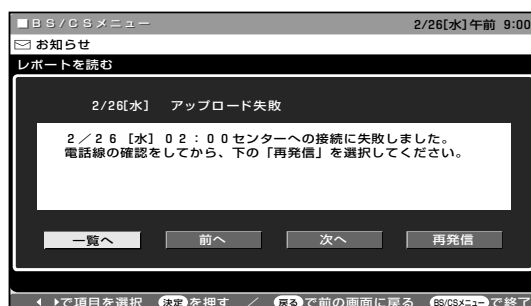
③ ▲ ▼ で「受信機レポート」を選び、決定 を押す

**2**

見たいレポートを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

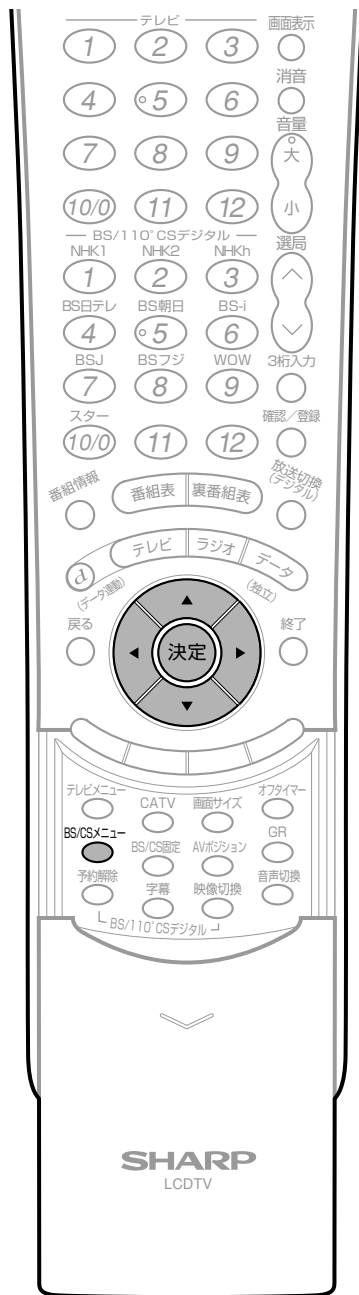
**3**

① レポートの内容を確認する

② 「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定 を押す

## B-CASカード番号を見る

■受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。

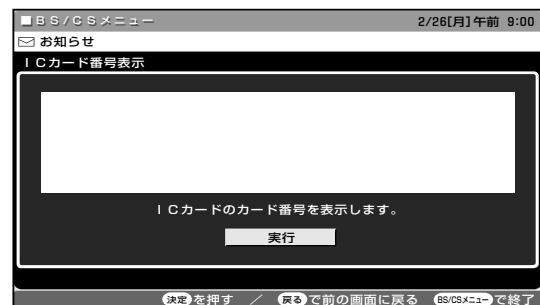
扉を開けたところ

**1**

**① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

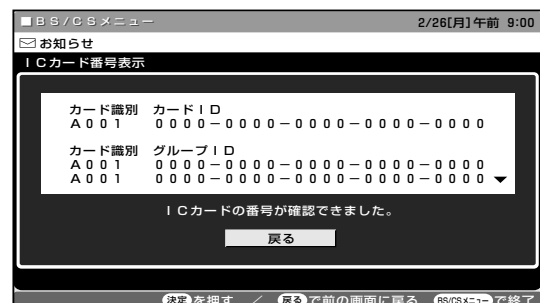
**② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ**

**③ ▲ ▼ で「ICカード番号表示」を選び、決定 を押す**

**2**

**「実行」で 決定 を押し、ICカード番号表示を実行する**

**3**

**① カード番号を確認する**

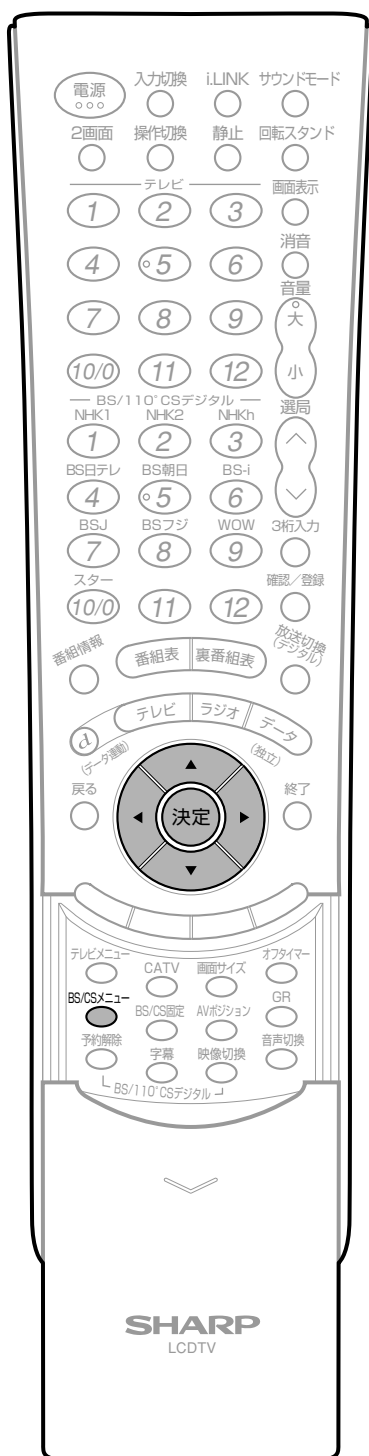
**② 「戻る」で 決定 を押す**

カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。
カードID……カード固有の番号です。
グループID…複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループIDが異なるB-CASカードに書き込まれます。

# お知らせを見る(つづき)

## PPV購入履歴を見る

■購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

扉を開けたところ

### 1

① BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼で「PPV購入履歴」を選び、決定を押す

●PPV購入履歴画面が表示されます。

### 2

① 画面を確認する

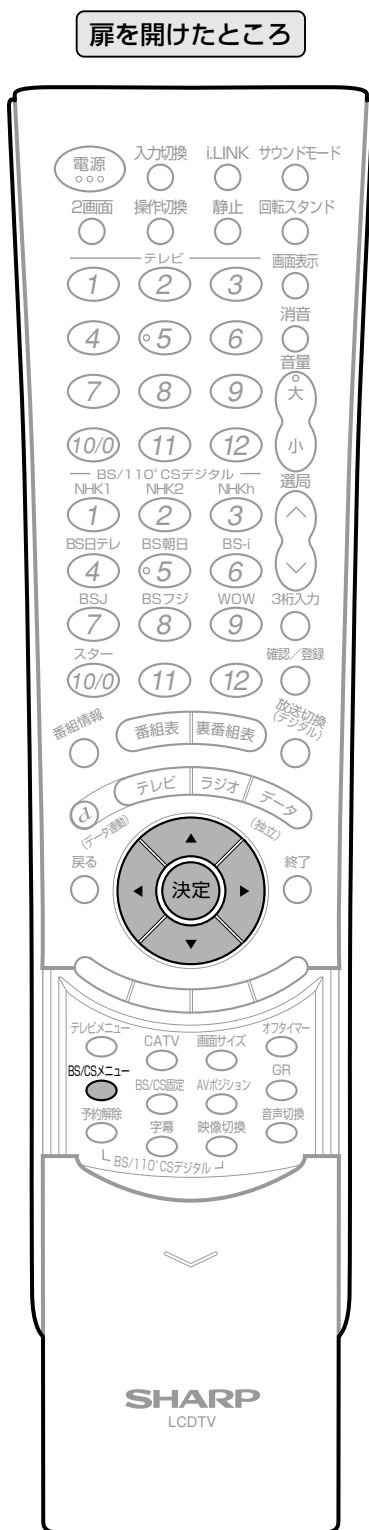
② 「戻る」で決定を押す

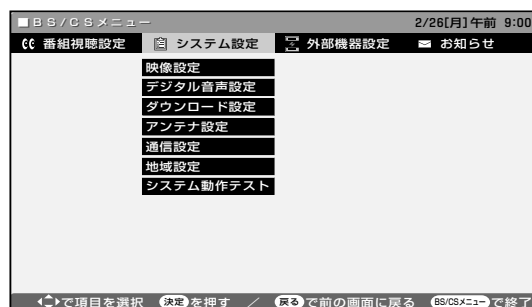
### 3

BS/CSメニューを押し、通常画面に戻す

# システム動作テストを行う

■本機は、BS／110°CS共用アンテナや電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているか、などをテストすることができます。

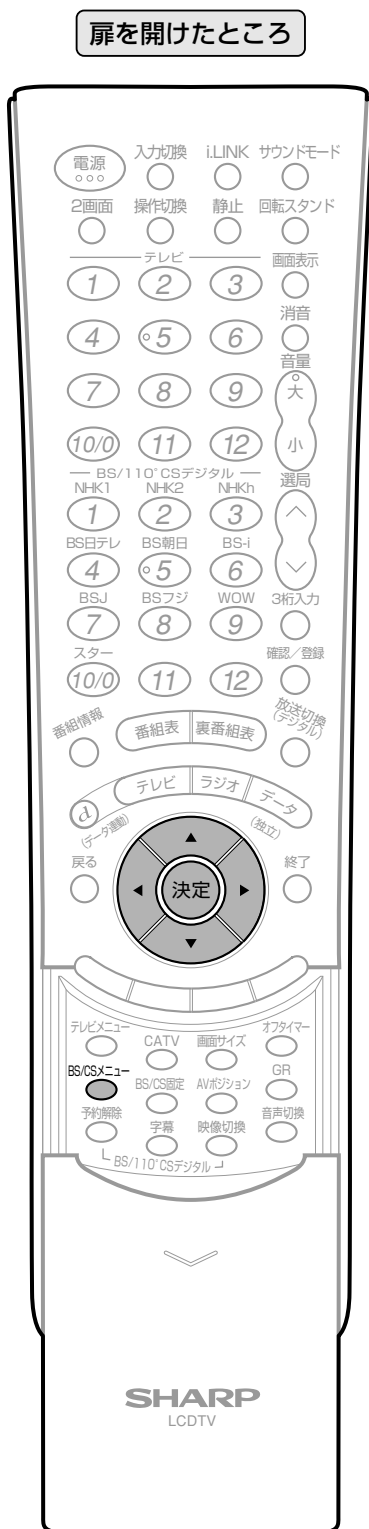
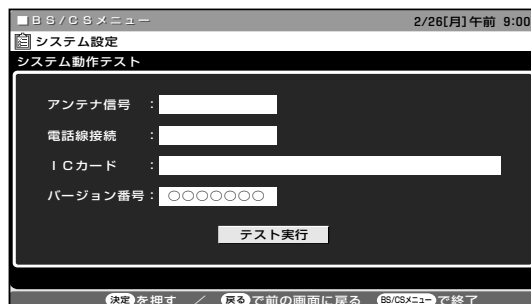
扉を開けたところ

**1** BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する

**2** ◀ ▶で「システム設定」を選ぶ

**3** ▲ ▼で「システム動作テスト」を選び、決定を押す

次ページへ

次ページへつづく

# システム動作テストを行う(つづき)

扉を開けたところ

**4** 「テスト実行」で(決定)を押し、テストを開始する

- 表示が「テスト実行中」に変わります。
  テストが終了すると「テスト終了」になります。

**5** ① 結果を確認する

② 「テスト終了」で(決定)を押す

**6** (BS/CSメニュー)を押し、通常画面に戻す

## システム動作テストに失敗したときは

**アンテナ信号**

BS／110°CS共用アンテナの接続と設定を確認してください。

⇨ 基本編 26・51ページ

**電話線接続**

電話回線の接続と設定を確認してください。

⇨ 基本編 54・60ページ

**ICカード**

B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。

⇨ 基本編 57ページ

# 他の機器をつないで使う

● この章では、お手持ちのAV機器やパソコンをつないで再生映像を楽しんだり、テレビやBS／110°CSデジタル放送を録画したりするときに必要となることがらにつき説明しています。

● 本機に外部機器などを接続してお使いになる場合、接続ケーブルは電源コード、アンテナケーブルなどとともに束ねて、必ず台座の開口部に通して配線してください。（基本編 **24** ページ参照）回転スタンド動作時に、本体が倒れたり、接続した外部機器が引っぱられてラックなどから落下する可能性があります。

# 端子のなまえとはたらき

の中の数字は、詳しい接続方法や使いかたを説明しているおもなページです。

**ご注意**

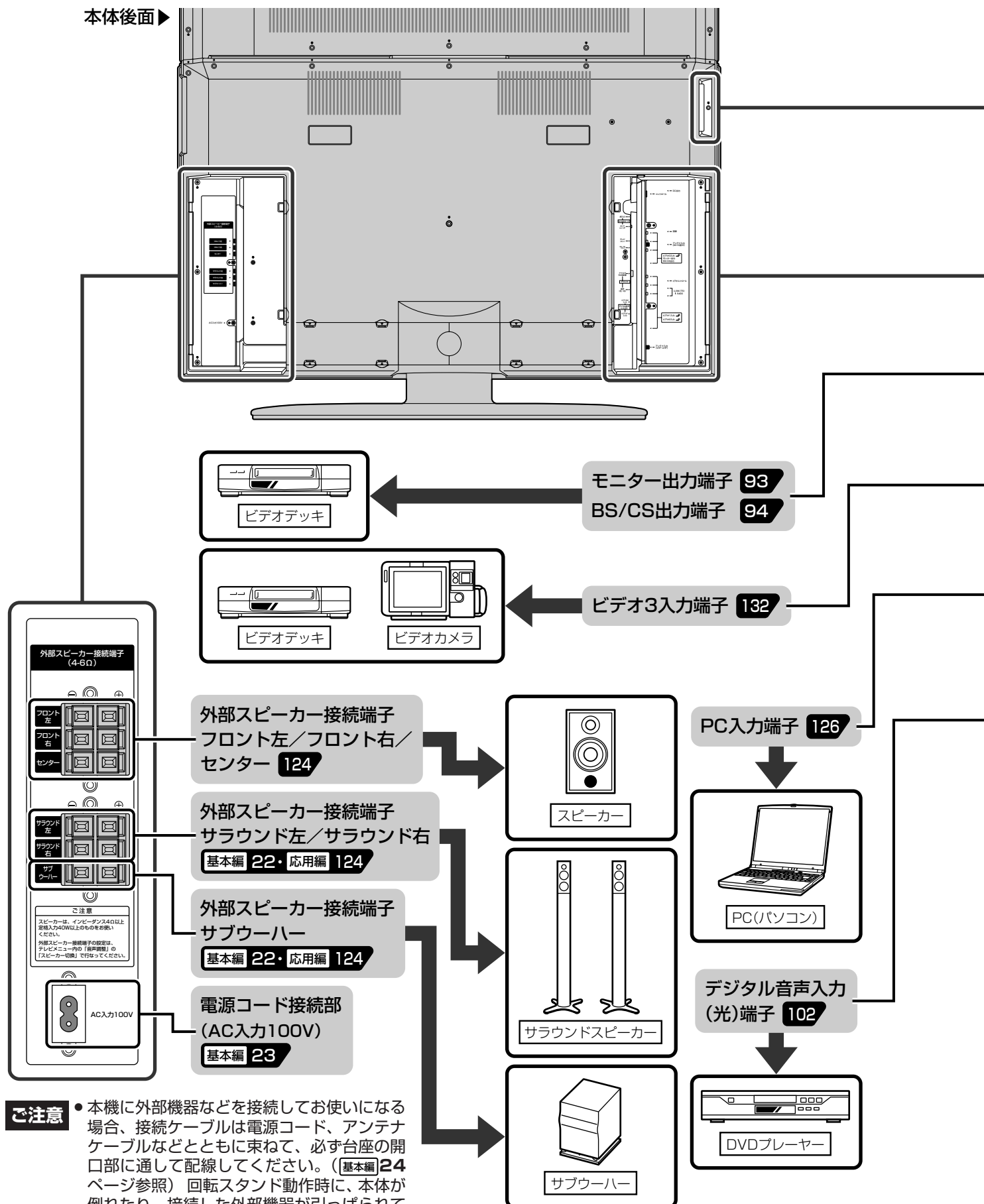
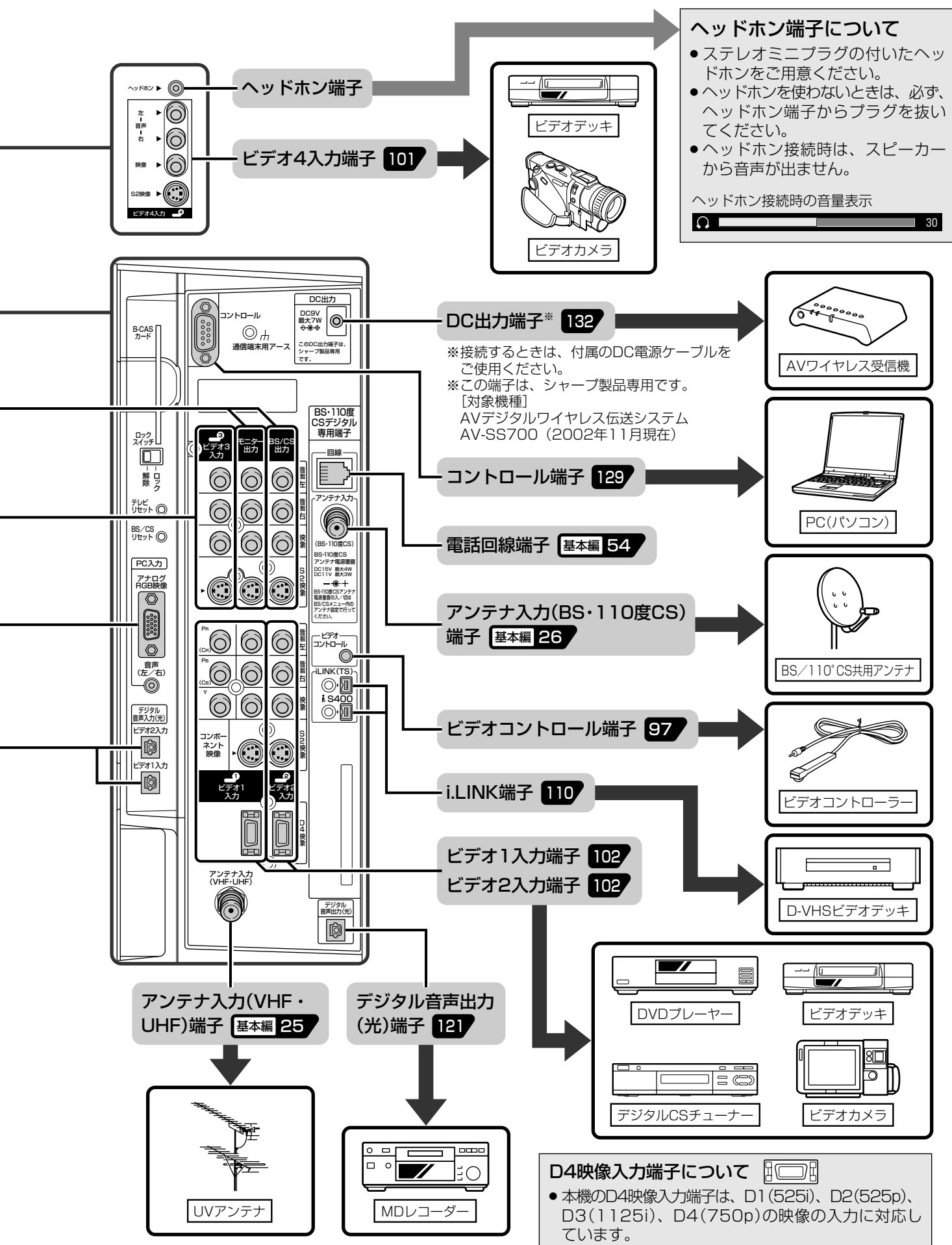
● 本機に外部機器などを接続してお使いになる場合、接続ケーブルは電源コード、アンテナケーブルなどとともに束ねて、必ず台座の開口部に通して配線してください。(基本編**24**ページ参照) 回転スタンド動作時に、本体が倒れたり、接続した外部機器が引っぱられてラックなどから落下する可能性があります。

## ヘッドホン端子について

- ステレオミニプラグの付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンを使わないときは、必ず、ヘッドホン端子からプラグを抜いてください。
- ヘッドホン接続時は、スピーカーから音声が出ません。

ヘッドホン接続時の音量表示

## D4映像入力端子について

- 本機のD4映像入力端子は、D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像の入力に対応しています。

他の機器をつないで使う

端子のなまえとはたらき

# 端子のなまえとはたらき(つづき)

## 接続上のご注意

■ 接続をするときは、本機や接続する機器の保護のため電源を切ってください。
■ 接続するときは、本体が回転しないよう、本体を固定して行ってください。
■ 接続ケーブルのプラグは奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
■ 接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っぱらずにプラグを持って抜きとってください。
■ 複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源を切ってください。
■ 接続した機器と本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、お互いを十分に離してください。

おしらせ

**S2映像入力端子について**
- S2映像入力端子は、映像端子(ビデオ映像端子)に対し、より高画質な映像で再生するためにS端子ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
- ビデオ1〜4入力にあるS2映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)、またはデジタル音声入力(光)端子(ビデオ1・2入力のみ)に接続します。
- 本機は、画面サイズ制御信号(フルモード制御信号、レターボックス制御信号)の入った映像がビデオ1〜4入力のS2映像端子から入力されると、自動的に最適な画面サイズで映し出すように設定することができます。(**10**ページ参照)
- 本機のS2映像端子に外部機器のS映像出力端子を接続しても、映像を楽しむことができます。(この場合、画面サイズ制御信号は外部機器から入ってきません。)

**D4映像入力端子について**
- D端子ケーブルで外部機器を接続するときに使います。
- ビデオ1入力、ビデオ2入力にあるD4映像端子は、映像用の端子です。音声はそれぞれの音声端子(左・右)、またはデジタル音声入力(光)端子に接続します。
- 本機のD4映像入力端子は、D1(525i)、D2(525p)、D3(1125i)、D4(750p)の映像の入力に対応しています。

**コンポーネント映像入力端子について**
- コンポーネント映像ケーブルで外部機器を接続するときに使います。
- ビデオ1入力にあるコンポーネント映像端子は、映像用の端子です。音声は音声端子(左・右)、またはデジタル音声入力(光)端子に接続します。

**デジタル音声入力(光)端子とビデオ1・2入力の音声入力選択について**
- デジタル音声入力(光)端子(ビデオ1入力、ビデオ2入力)は、通常の音声端子(アナログ)に対し、より高音質な音声で再生するためにデジタル音声ケーブルを使って外部機器を接続するときの端子です。
- この端子に接続しているときは、音声入力選択を「デジタル」に設定します。(**104**ページ参照)

**モニター出力端子について**
- つぎの信号はモニター出力端子から出力できません。(ただし、音声は出力できます。)
  ① D4映像端子から入力された映像信号
  ② コンポーネント映像端子から入力された映像信号
  ③ PC(パソコン)映像信号
  ④ テレビ(UHF/VHF)、映像入力(ビデオ映像入力)時のS2映像出力信号(Y/C分離出力機能はありません。)
- BS／110°CSデジタル放送を、モニター出力端子に接続した外部機器で録画する場合、コピープロテクト信号が含まれている一部の放送は正常に録画することができません。
- S2映像入力端子から入力された信号は、モニター出力の映像端子からも出力されます。

**デジタル音声出力(光)端子について**
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はモニター出力端子の音声出力の内容と同じです。
- 設定により、つねにBS/CSチューナーの音声を出力するようにできます。(**123**ページ「デジタル音声出力の設定」をご覧ください。)

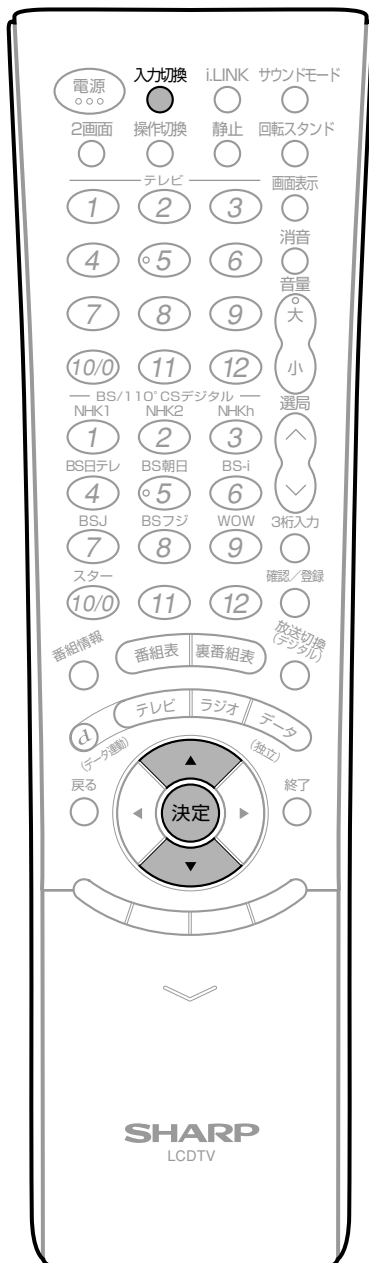
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

# 入力切換えのしかた

## 入力切換メニューの操作方法

**入力選択の設定について**

- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。（**105**ページ参照）

扉を閉じたところ

### 1 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する

- 入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。
- 入力切換メニュー表示中は、イルミネーションバーが点灯します。（イルミネーションバーを点灯させないように設定することもできます。☞**32**ページ）

### 2 ① 入力切換 または ▲ ▼ を押し、切り換えたい入力を選ぶ

ビデオ1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

入力切換
テレビ
ビデオ 1
ビデオ 2
ビデオ 3
ビデオ 4
i. L I N K
P C

**② 決定を押す**

- 決定ボタンを押さなくても、しばらくすると入力切換メニューは消えます。

**入力表示選択について**

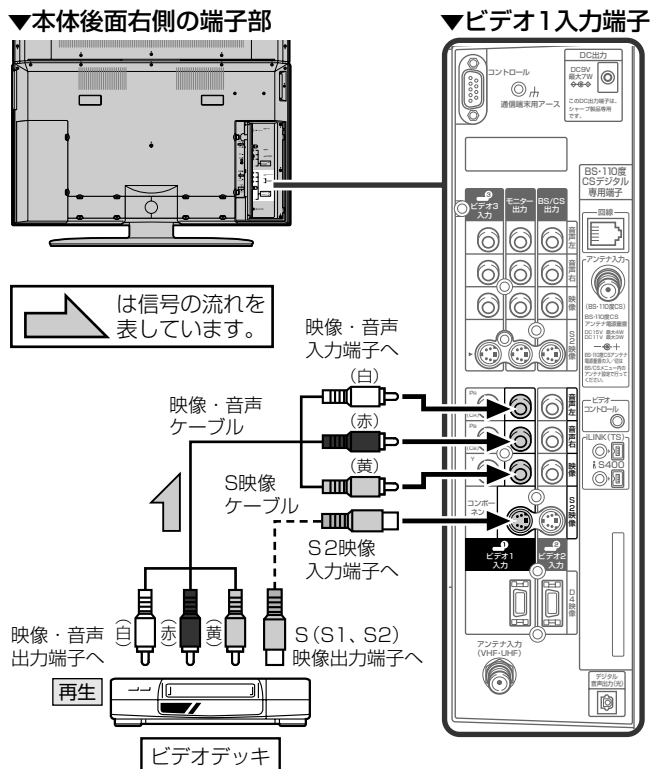
- 入力切換メニューに表示される❶❷❸❹の機器名称を、接続している外部機器に合わせて選択することができます。（**107**ページ参照）

- 「i.LINK」への入力切換えは、入力切換ボタンを使ってもできますが、i.LINKボタンを押すとダイレクトに切り換えることができます。（この場合、イルミネーションバーは点灯しません。）

# ビデオ機器をつなぐ

## ビデオデッキなどの再生映像を見る

### 接続のしかた

[例] ビデオ1入力端子にビデオデッキをつなぐ

**おしらせ**

**入力選択の設定について**

- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。（**105**ページ参照）

[例] ビデオ1入力端子に接続したビデオデッキの再生映像を見る

**1** **再生機器の準備をする**

① 本体後面右側端子部のビデオ1入力端子にビデオデッキを接続し、電源を入れる
② 再生したいビデオテープを入れる

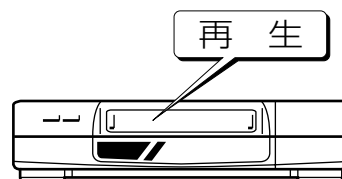
**2** **入力切換 を押し、入力切換メニューを表示する**

- 入力切換メニュー表示中につぎの操作を行います。

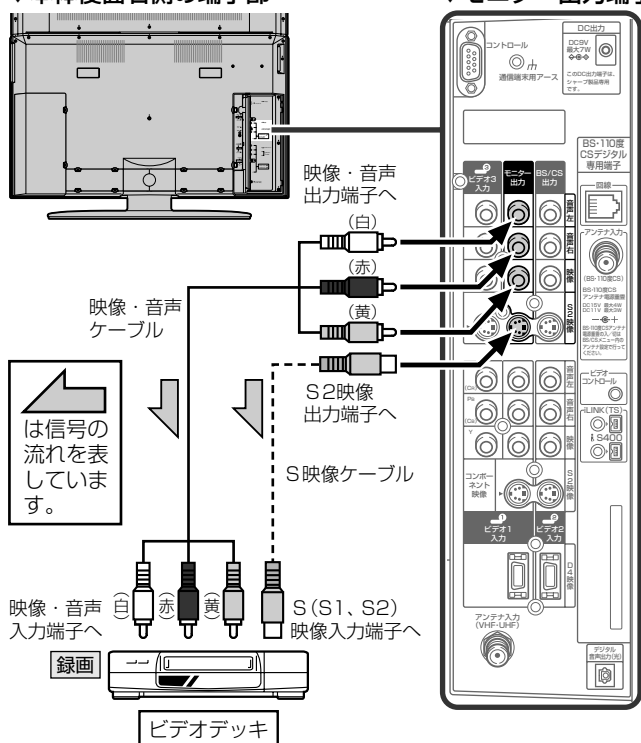
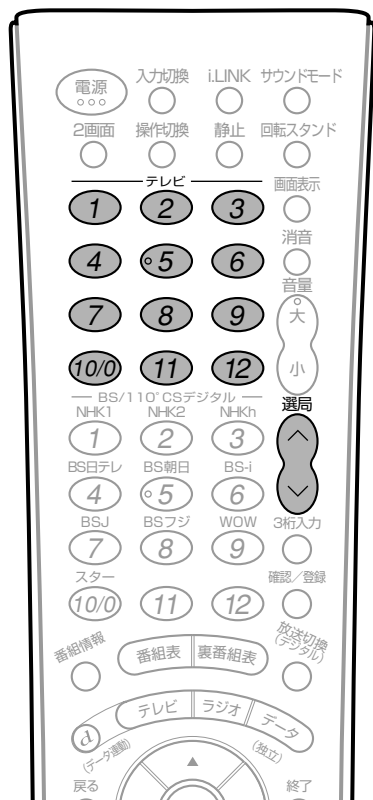
**3** ① **入力切換 または ▲ ▼ を押し、「ビデオ1」を選ぶ**

② **決定 を押す**

- 決定ボタンを押さなくても、しばらくすると入力切換メニューは消えます。

**4** **ビデオ機器を再生状態にする**

# テレビ番組を録画する

## 接続のしかた

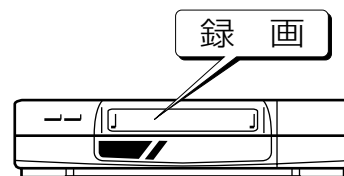
[例] モニター出力端子にビデオデッキをつなぐ

扉を閉じたところ

[例] 6チャンネルの番組を録画する

### 1 録画機器の準備をする

① 本体後面右側端子部のモニター出力端子に録画機器(ビデオデッキなど)を接続し、電源を入れる
② 録画機器の入力切換えを「外部入力」に切り換える
③ 録画可能なビデオテープを入れる

### 2 テレビチャンネルボタンまたは 選局 で、6チャンネルを選ぶ

6 モノラル

### 3 録画機器(ビデオデッキなど)を録画状態にする

おしらせ

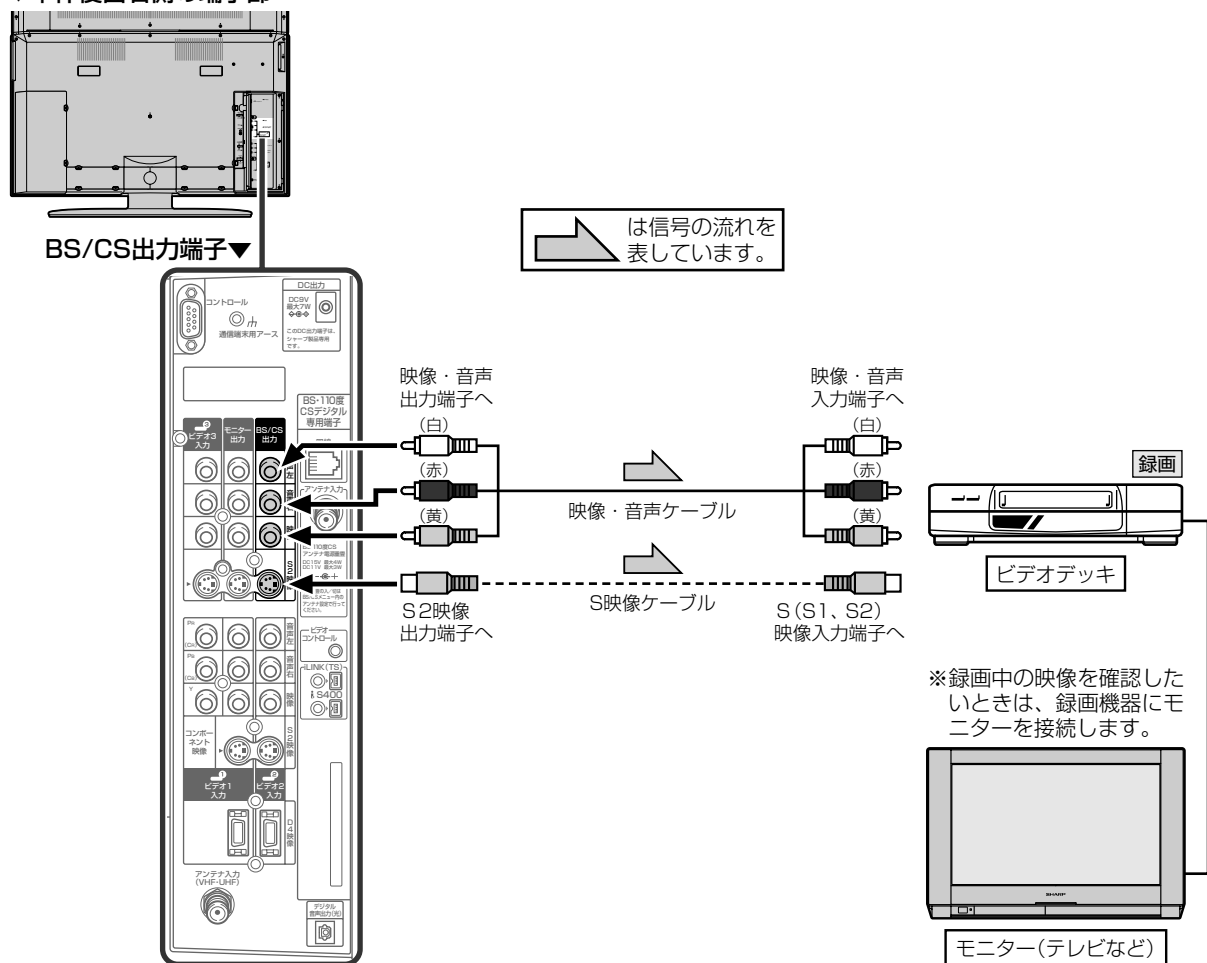
- 録画中にテレビチャンネルを変えると、モニター出力端子から出力される映像も変わります。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子から入力された映像信号は、モニター出力端子から出力されません。(音声は出力されます。)
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# ビデオ機器をつなぐ(つづき)

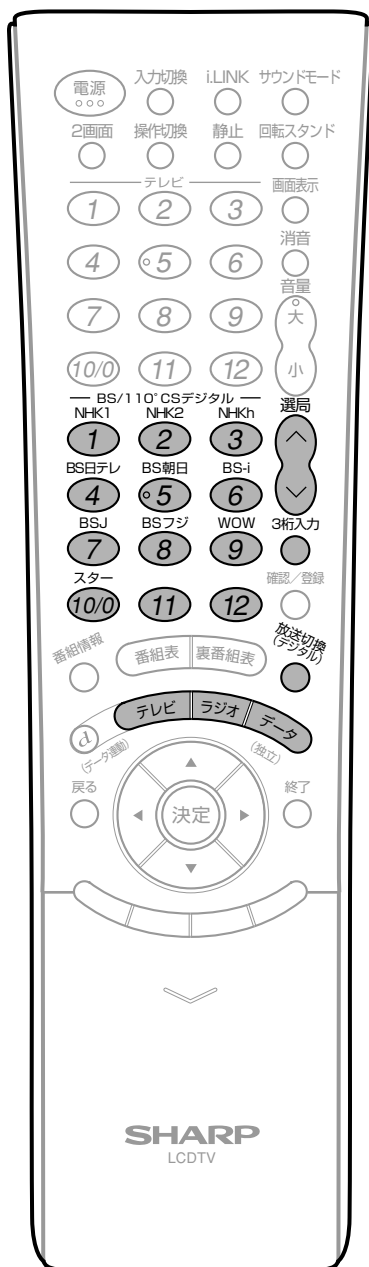
## 視聴中のBS／110°CSデジタル放送をビデオデッキに録画する

■本体後面右側端子部のBS/CS出力端子にビデオデッキなどの録画機器を接続して、BS／110°CSデジタル放送を録画することができます。

### 接続のしかた

[例] BS/CS出力端子にビデオデッキをつなぐ

- BS/CS出力端子からは、BSデジタル放送のハイビジョン画質(1125i)の映像を標準画質(525i)に変換して出力します。したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキをi.LINK接続して行ってください。(**110**～**119**ページ参照)
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。
- 2画面機能を入／切すると、まれにBS/CS出力の映像が一瞬途切れた状態になることがありますが、異常ではありません。
- BS／110°CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」(**96**ページ)または「ビデオ連動録画」(**97**ページ)で録画することをおすすめします。

## BS／110°CSデジタル放送を録画する

［例］NHK BS1の番組を録画するとき

**1**

① **デジタル放送を受信する**

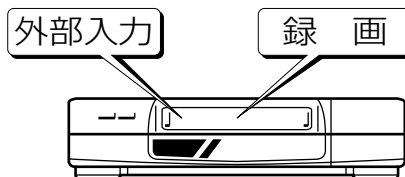
② 放送切換（デジタル） **でBSを選ぶ**

③ テレビ **でテレビ放送を選ぶ**

④ **BS／110°CSチャンネルボタン NHK1 1 を押し、NHK BS1を選局する**

**2**

**ビデオデッキを外部入力に切り換え、録画状態にする**

扉を閉じたところ

おしらせ

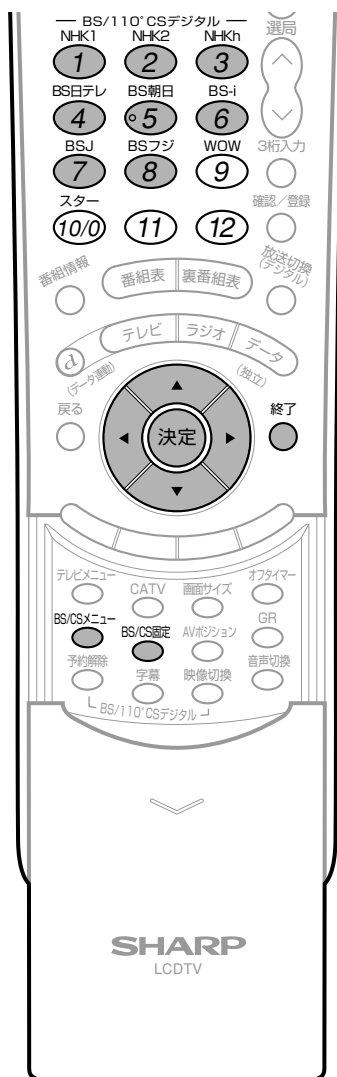
- BS／110°CSデジタル放送を録画しながら、地上放送などの裏番組を見るときは、BS/CS固定を「入」に設定します。（**96**ページ参照）
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# ビデオ機器をつなぐ(つづき)

## BS/CS固定の設定

■「BS/CS固定」とは、現在受信しているBS／110°CSデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。
BS／110°CSデジタル番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。また、電源待機状態でBS／110°CSデジタル番組を録画したり、BS／110°CSデジタル番組を録画しながら地上放送やCATV放送の裏番組を視聴したりすることができます。

■BS/CS固定は、リモコンでの直接操作またはBS/CSメニュー画面操作のいずれでも設定することができます。どちらで設定しても動作は同じです。

扉を開けたところ

**1**

**① 固定したいBS／110°CSデジタル放送のチャンネルを選局する**

**② BS/CS固定 を押す**

●画面左下にBS/CS固定表示が出ます。

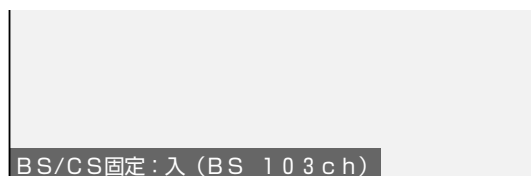
BS/CS固定：切

BS/CS固定表示

**2**

**もう一度、BS/CS固定 を押す**

●BS/CS固定表示が出ている間にボタンを押すと、BS/CS固定を入／切できます。
＜例＞BS103チャンネルを固定する場合

BS/CS固定：入（BS 103ch）

## BS/CSメニュー画面で設定するには

① 固定したいBS／110°CSデシタル放送のチャンネルを選局する
② BS/CSメニューボタンを押し、BS/CSメニュー画面を表示する
③ 左右カーソルボタンで「番組視聴設定」を選ぶ
④ 上下カーソルボタンで「BS/CS固定設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤ 左右カーソルボタンで「する」を選び、決定ボタンを押す
⑥ BS/CSメニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す

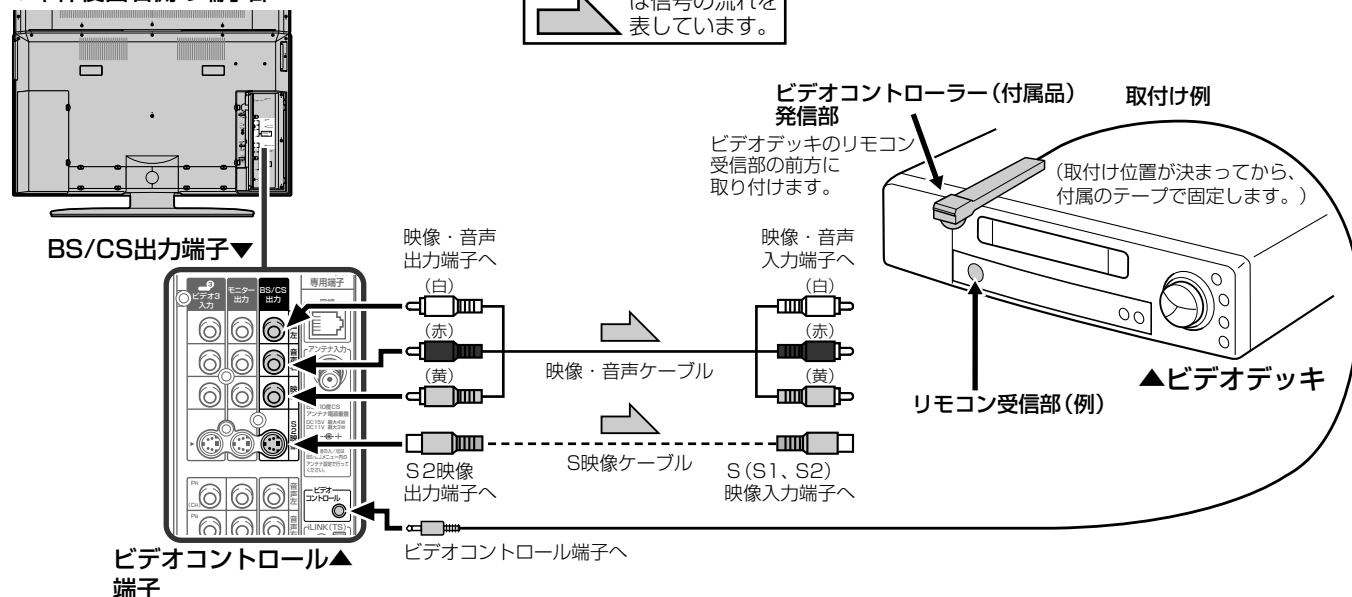
おしらせ

- BS/CS固定中に録画・視聴予約時間の2分前になると、BS/CS固定が自動的に解除されます。
- 予約録画実行中やi.LINK入力時には、BS/CS固定にすることができません。
- BS／110°CSデジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「BS/CS固定」または「ビデオ連動録画」(**97**ページ)で録画することをおすすめします。
- BS/CS固定時には、録画出力の切り換わりを防ぐため、つぎの操作ができません。
  - BS／110°CSデジタル放送の選局、BS/CSメニュー・電子番組表の表示など。
  - i.LINK操作パネルの表示。
  - 「i.LINK」への入力切換え。

## ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動録画)

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動してBS／110°CSデジタル放送の番組を録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

※ビデオデッキの機種によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオデッキ内蔵型テレビにも録画できません。

**接続のしかた** (ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます)

### 機種番号について

■メーカーにより複数のリモコン信号を採用しているため、つぎの機種番号で区分されます。

| メーカー | 機種番号 |
|---|---|
| シャープ | 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 |
| アイワ | 1, 2, 3, 4 |
| NEC | 1, 2, 3, 4 |
| サンヨー | 1, 2, 3, 4 |
| ソニー | 1, 2, 3, 4, 5, 6 |
| 東芝 | 1, 2, 3, 4, 5, 6 |
| ビクター | 1, 2, 3, 4 |
| 日立 | 1, 2, 3 |
| フナイ | 1 |
| 松下 | 1, 2, 3, 4, 5, 6 |
| 三菱 | 1, 2, 3, 4 |
| パイオニア | 1, 2, 3 |

工場出荷時の設定：シャープ 1

### ビデオコントローラー取付けの際のご注意

- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキのメーカーや機種によって異なります。一般的には、液晶表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**98**～**100**ページ「**ビデオ連動録画の設定**」のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

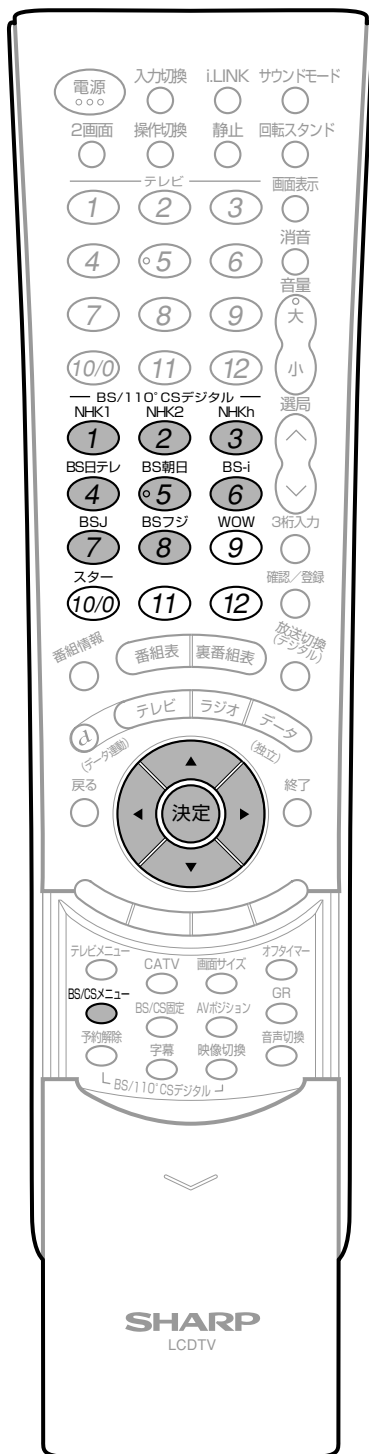
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。



次ページへつづく

# ビデオ機器をつなぐ(つづき)

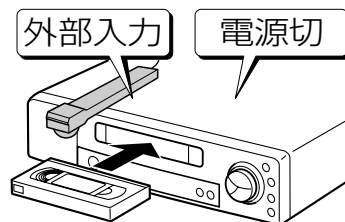
- ビデオ連動録画できるのは、BS／110°CSデジタル放送のみです。地上放送、CATV放送などはビデオ連動録画ができません。

扉を開けたところ

- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

## ビデオ連動録画の設定

**1**

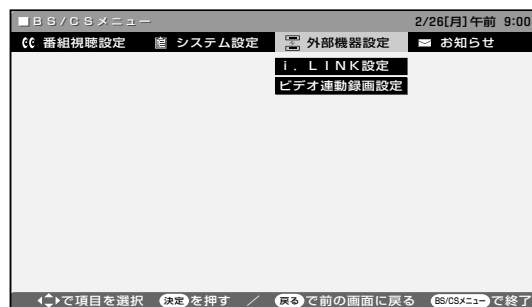
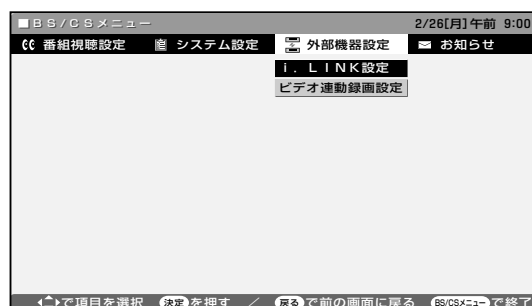
### ビデオデッキの準備をする

① 本機につなぐ(**97**ページ参照)
② ビデオコントローラーを取り付ける(**97**ページ参照)
③ 外部入力に切り換える
④ 録画用ビデオテープを入れる
⑤ 電源を「切」にする

**2**

**① BS／110°CSチャンネルボタンを押し、デジタル放送の画面にする**

**② BS/CSメニューを押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

**③ ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ**

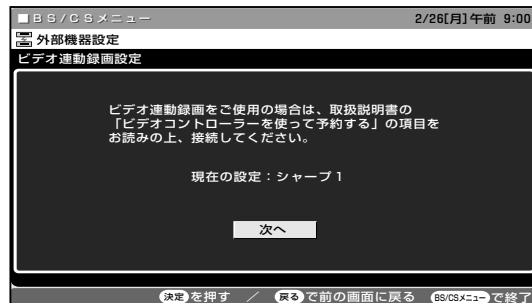
**3**

**▲ ▼ で「ビデオ連動録画設定」を選び、決定を押す**

- 「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

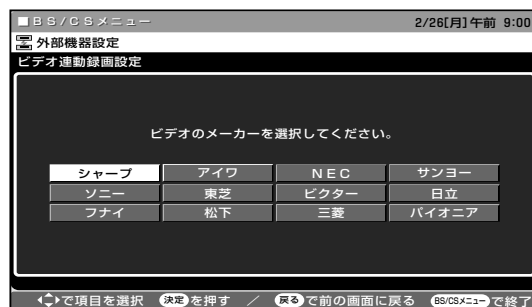
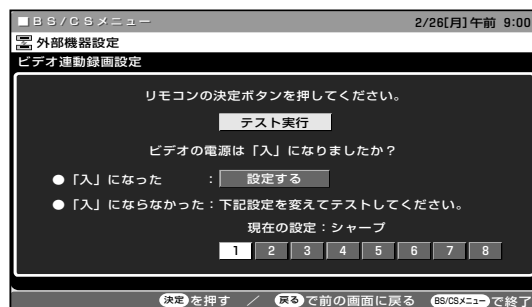
次ページへ

扉を開けたところ

おしらせ

● ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないためにビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順**6**〜**8**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

**4** **① ビデオコントローラーの接続を確認する**
**② 「次へ」で決定を押す**

**5** **お使いのビデオデッキのメーカーを**

**で選び、決定を押す**

**6** **「テスト実行」で決定を押し、テストを開始する**

テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になったとき（正常）
  ⇨ 手順**9**に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**7**に進みます。

次ページへ

次ページへつづく

# ビデオ機器をつなぐ(つづき)

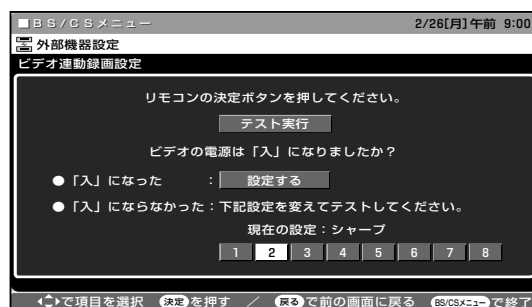
扉を開けたところ

## 7

① でカーソルを機種番号の欄に移動する

② でメーカーの機種番号を選び、決定を押す

● **97**ページ「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順7、8をくり返してください。

## 8

決定を押し、テストを実行する

## 9

① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で決定を押す

● ビデオ連動録画が設定され、メニュー画面に戻ります。

**設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。**

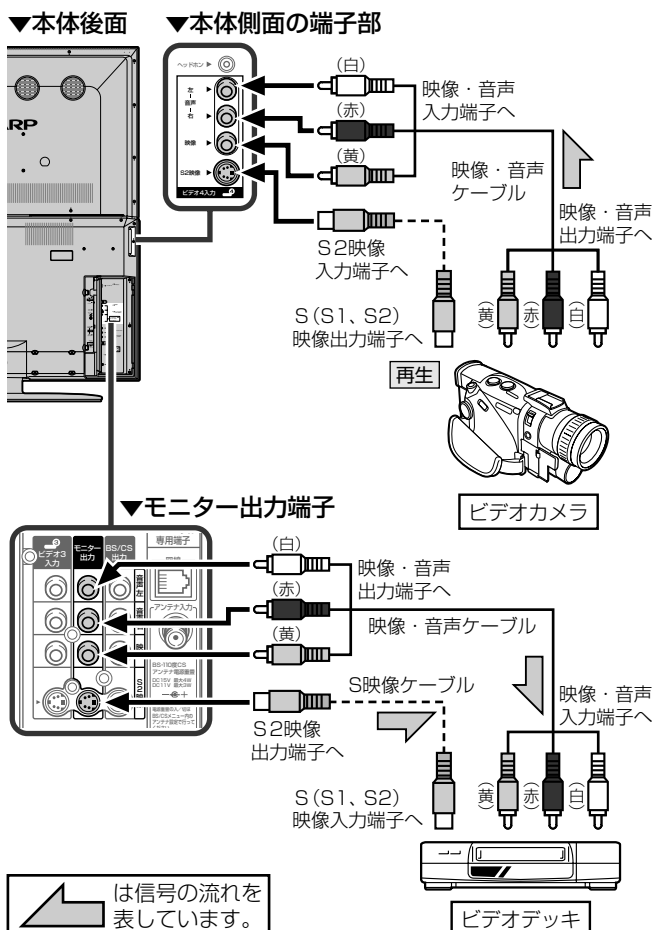
● 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
● 録画予約のしかたについては、**46**〜**60**ページをご覧ください。

● ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部がビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。
● ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは必要ありません。

# ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

## 接続のしかた

▼本体後面　▼本体側面の端子部

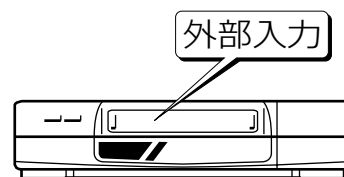
は信号の流れを表しています。

おしらせ
- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子から入力された映像信号は、モニター出力端子から出力されません。(音声は出力されます。)
- あなたが録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

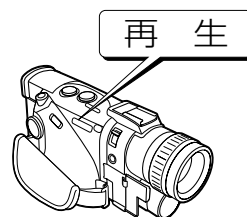
[例] ビデオ4入力端子に接続したビデオカメラなどの映像を、モニター出力端子に接続したビデオデッキに録画する

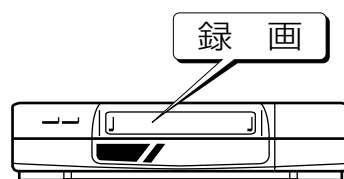
### 1 入力切換で「ビデオ4」を選ぶ

ビデオ1〜4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

### 2 モニター出力端子に接続しているビデオデッキの入力切換を「外部入力」にする

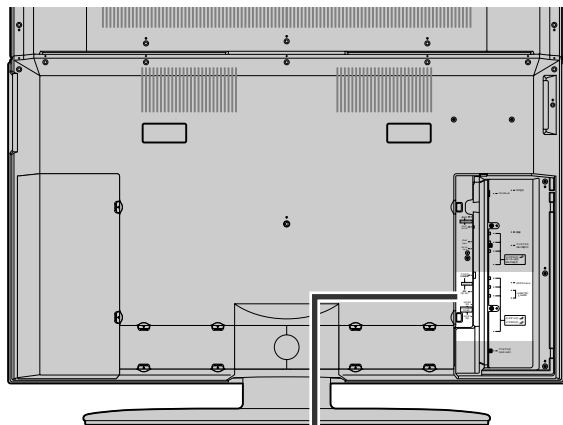
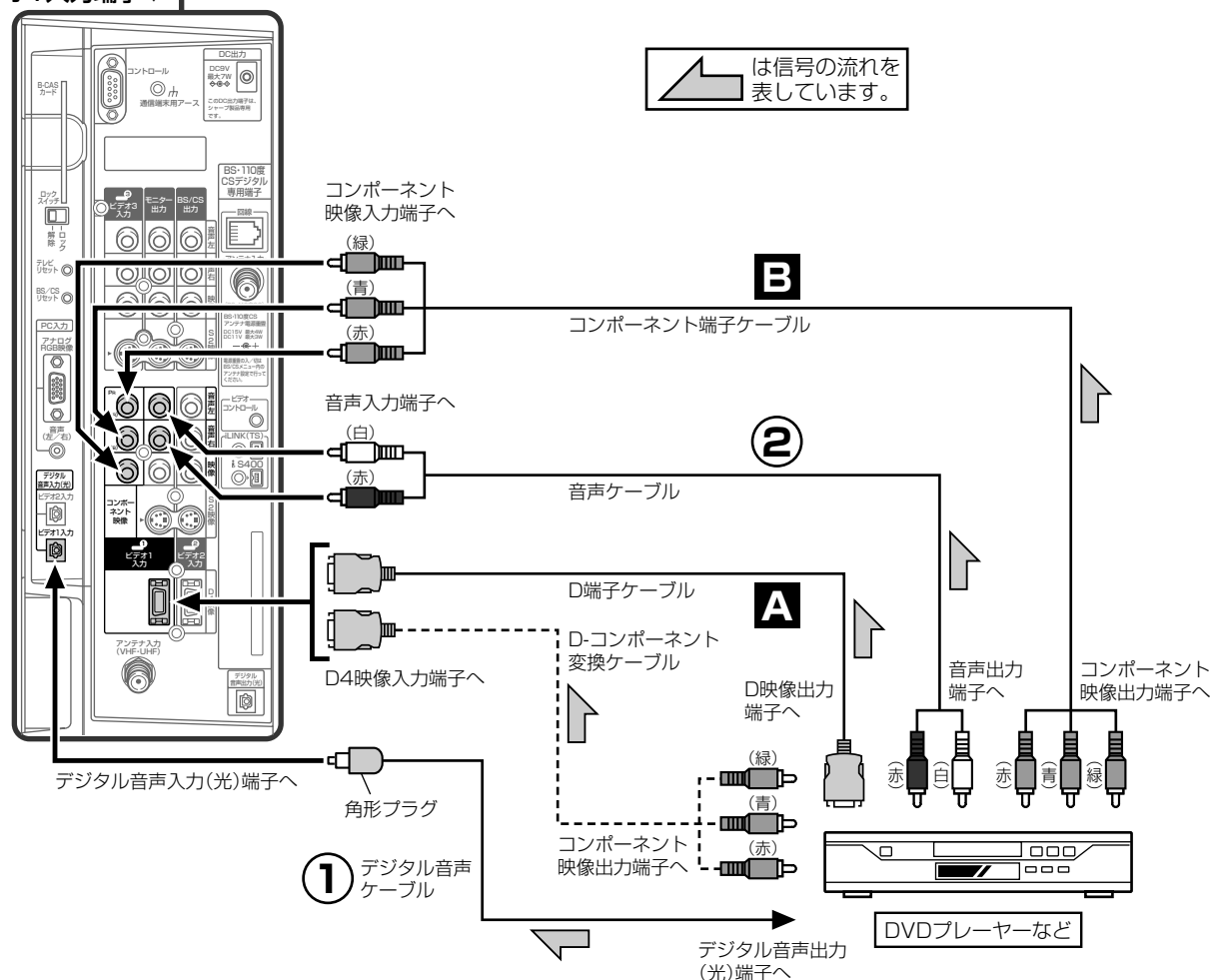
外部入力

### 3 ビデオ4入力端子に接続したビデオカメラなどの機器を再生状態にする

再　生

### 4 モニター出力端子に接続しているビデオデッキを録画状態にする

録　画

# DVDプレーヤーをつなぐ

## 接続のしかた （例．ビデオ1入力に接続する）

■映像は下の接続図のAまたはB、音声は①または②の方法でつなぎます。

▼本体後面右側の端子部

ビデオ1入力端子▼

**おしらせ**

**音声入力選択の設定について**

- ビデオ1入力とビデオ2入力にはデジタル音声入力(光)端子があります。これらを使う場合には、音声入力選択を「デジタル」に設定してください。(**104**ページ参照)

**D識別対応の設定について**

- DVDプレーヤーを本機のD4映像入力端子に接続したときは、接続ケーブルの種類に応じて、D識別対応の設定を行ってください。(**11**ページ)

- DVDプレーヤーの映像出力端子が、S端子(または通常の映像端子)の場合は、S映像ケーブル(または通常の映像ケーブル)を使い、本機のビデオ1～4入力のS2映像入力端子(または映像入力端子)に接続してください。

## 高精細映像を楽しむ

■本体後面のビデオ1入力またはビデオ2入力のD4映像端子や、ビデオ1入力のコンポーネント映像端子にDVDプレーヤーなどの機器を接続して、より高画質の映像を楽しむことができます。

おしらせ
- 音声をデジタル(光)接続している場合は、音声入力選択の設定(**104**ページ)を行ってください。

扉を閉じたところ

おしらせ
**入力選択の設定について**
- 接続されている映像用端子と、入力選択の設定で選択されている端子が異なり、映像が表示されない場合は、その旨のメッセージが画面に表示されます。このときは、外部機器を接続している入力の入力選択設定を行ってください。(**105**ページ参照)

[例] ビデオ1入力端子に接続したDVDプレーヤーの再生映像を見る

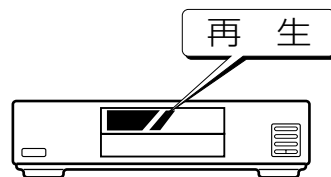
### 1 DVDプレーヤーの準備をする

① 本体後面右側端子部のビデオ1入力端子にDVDプレーヤーを接続し、電源を入れる
② 再生したいディスクを入れる

### 2 入力切換を押し、入力切換メニューを表示する

### 3 入力切換 または ▲ ▼ を押し、「ビデオ1」を選ぶ

ビデオ1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

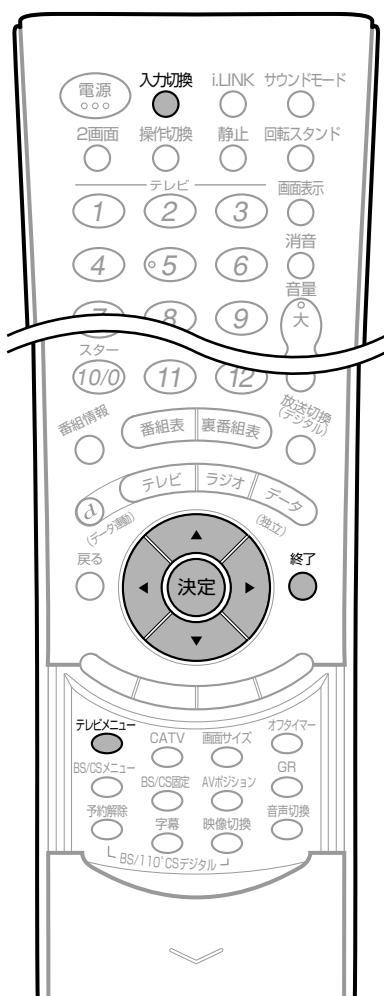
### 4 DVDプレーヤーを再生状態にする

おしらせ
- 詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。
- D4映像端子、コンポーネント映像端子からの入力映像は、モニター出力端子から出力されません。(音声は出力されます。)
- DVDプレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。ビデオデッキを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

# DVDプレーヤーをつなぐ(つづき)

## 音声入力選択の設定

■お手持ちのDVDプレーヤーにデジタル音声出力(光)端子がある場合、本機のデジタル音声入力(光)端子に接続することで、DVDに記録されたままのクリアなデジタルサウンドを楽しむことができます。このとき、音声入力選択を「デジタル」に設定してください。

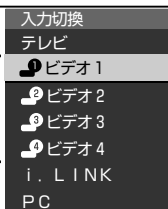
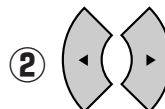
「アナログ」…… 通常の音声ケーブルで音声端子(左・右)に接続しているときに選びます。
「デジタル」…… デジタル音声ケーブルを使ってデジタル音声入力(光)端子に接続しているときに選びます。

扉を開けたところ

ヒント
● 外部機器を通常の音声ケーブルで音声端子(左・右)に接続しているときは、音声入力選択を「アナログ」に設定します。

[例] ビデオ1入力の音声入力選択を「デジタル」に設定する

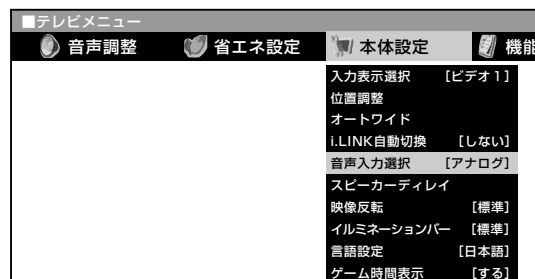
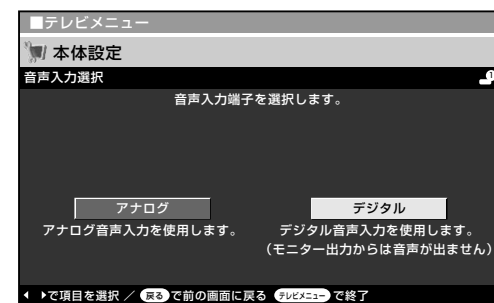
**1** 入力切換 で「ビデオ1」を選ぶ

ビデオ1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

入力切換
テレビ
ビデオ1
ビデオ2
ビデオ3
ビデオ4
i．LINK
PC

**2** ① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「音声入力選択」を選び、決定 を押す

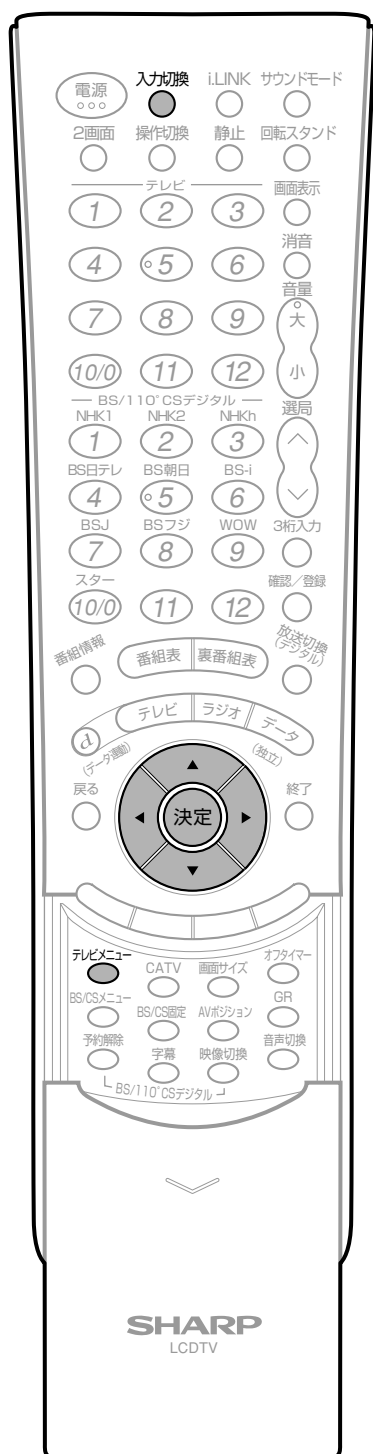
■テレビメニュー
音声調整　省エネ設定　本体設定　機能

入力表示選択 [ビデオ1]
位置調整
オートワイド
i.LINK自動切換 [しない]
音声入力選択 [アナログ]
スピーカーディレイ
映像反転 [標準]
イルミネーションバー [標準]
言語設定 [日本語]
ゲーム時間表示 [する]

**3** ◀ ▶ で「デジタル」を選ぶ

**4** テレビメニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

# 入力選択の設定

■ ビデオ1～4入力端子に外部機器を接続しているとき、複数の映像用端子(例えば、ビデオ1入力では「D4映像」「コンポーネント映像」「S2映像」「映像」の4種類)のどれを使用するかを設定することができます。

■ 工場出荷時は、すべて「自動」に設定されています。通常の使用方法の場合、特に設定を変更する必要はありません。

扉を開けたところ

[例] 外部機器をビデオ2入力に接続しているとき、D4映像端子からの入力を選択する

## 1 入力切換 で「ビデオ2」を選ぶ

ビデオ1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

## 2

① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「機能切換」を選ぶ

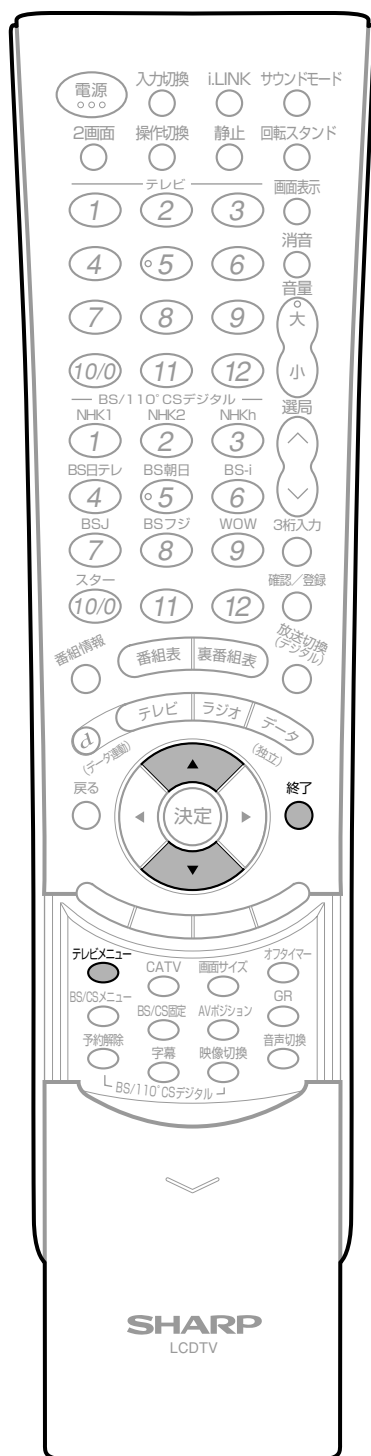
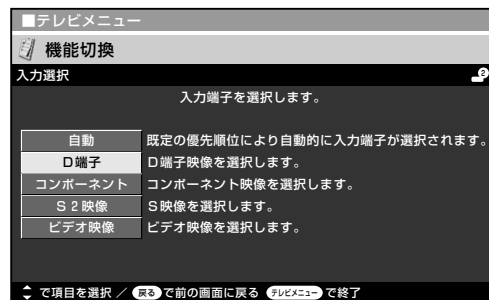
## 3 ▲ ▼ で「入力選択」を選び、決定 を押す

次ページへ



次ページへつづく

# 入力選択の設定(つづき)

扉を開けたところ

## 4  で「D端子」を選ぶ

## 5  または 終了 を押し、通常画面に戻す

おしらせ

- テレビ入力、i.LINK入力、PC入力のとき、「入力選択」はテレビ／PCメニューに表示されません。

### 入力選択の項目について

■ビデオ1～4入力のそれぞれにつき、選択できる入力項目はつぎのとおりです。

| ビデオ 1 |
|---|
| 自動 |
| D端子 |
| コンポーネント |
| S2映像 |
| ビデオ映像 |

| ビデオ 2 |
|---|
| 自動 |
| D端子 |
| S2映像 |
| ビデオ映像 |

| ビデオ 3 |
|---|
| 自動 |
| S2映像 |
| ビデオ映像 |

| ビデオ 4 |
|---|
| 自動 |
| S2映像 |
| ビデオ映像 |

### 映像入力端子選択の優先順位について

- 入力選択を「自動」に設定したときは、つぎの優先順位で映像入力端子が選択されます。

ビデオ1

D端子映像→コンポーネント映像→S2映像→ビデオ映像

ビデオ2

D端子映像→S2映像→ビデオ映像

ビデオ3および4

S2映像→ビデオ映像

# 外部機器に表示を合わせる

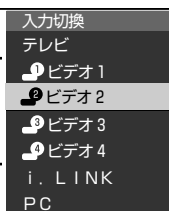
## 入力表示を選択する

■ビデオ1～4入力端子に接続している外部機器に合わせて、入力切換メニューに表示される機器の名称を選択することができます。

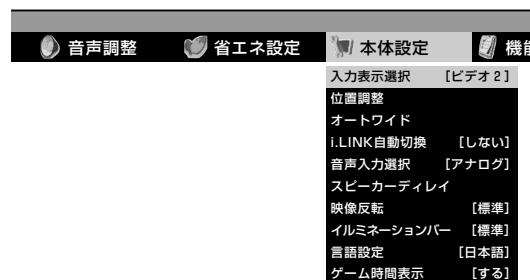
扉を開けたところ

[例] ビデオ2の表示を「ゲーム」に変える

**1** 入力切換 で「ビデオ2」を選ぶ

ビデオ1～4は、外部機器が接続されているときのみ選択できます。

**2** ① テレビメニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する

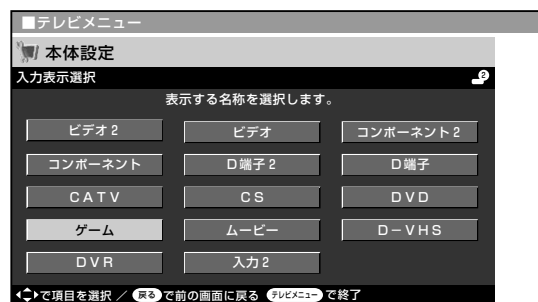
② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

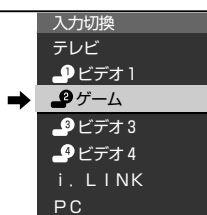
**3** ▲ ▼ で「入力表示選択」を選び、決定 を押す

次ページへ



次ページへつづく

# 外部機器に表示を合わせる(つづき)

## 4 ▲▼◀▶で「ゲーム」を選ぶ

## 5 テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

● 入力切換ボタンを押すと、入力切換メニューに「❷ゲーム」が表示されます。

● テレビ入力、i.LINK入力、PC入力のとき、「入力表示選択」はテレビメニューに表示されません。
● 入力表示選択の設定で選択された名称は、チャンネルサインにも表示されます。

### 入力表示選択できる名称

**❶ビデオ1入力**

| | | |
|---|---|---|
| ビデオ1 | ビデオ | コンポーネント1 |
| コンポーネント | D端子1 | D端子 |
| CATV | CS | DVD |
| ゲーム | ムービー | D-VHS |
| DVR | 入力1 | |

**❷ビデオ2入力**

| | | |
|---|---|---|
| ビデオ2 | ビデオ | コンポーネント2 |
| コンポーネント | D端子2 | D端子 |
| CATV | CS | DVD |
| ゲーム | ムービー | D-VHS |
| DVR | 入力2 | |

**❸ビデオ3入力**

| | | |
|---|---|---|
| ビデオ3 | ビデオ | CATV |
| CS | DVD | ゲーム |
| ムービー | D-VHS | DVR |
| 入力3 | | |

**❹ビデオ4入力**

| | | |
|---|---|---|
| ビデオ4 | ビデオ | CATV |
| CS | DVD | ゲーム |
| ムービー | D-VHS | DVR |
| 入力4 | | |

# モニター出力の音声出力設定を切り換える

## モニター音声出力を設定する

■モニター出力からの音声出力を「固定」または「可変」に設定する機能です。

「固定」……モニター出力からの音声出力が一定の音量で出力されます。

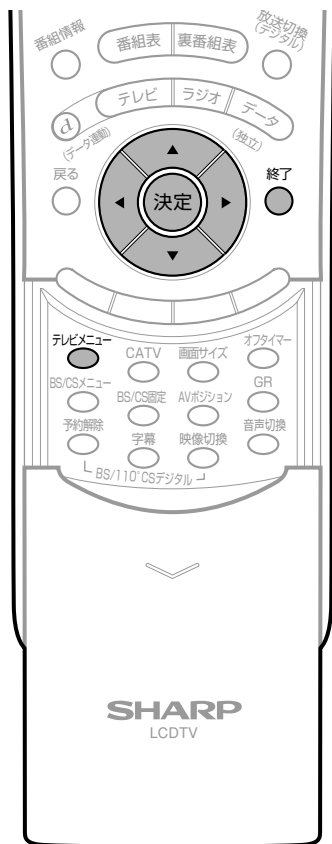
画面の音量表示

30

「可変」……モニター出力からの音声出力を調整することができます。
スピーカーからの音声は消音状態となります。

画面の音量表示

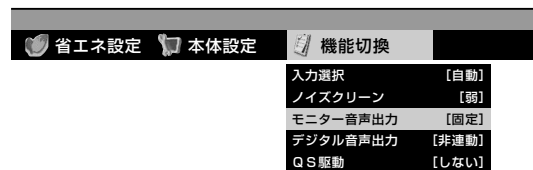
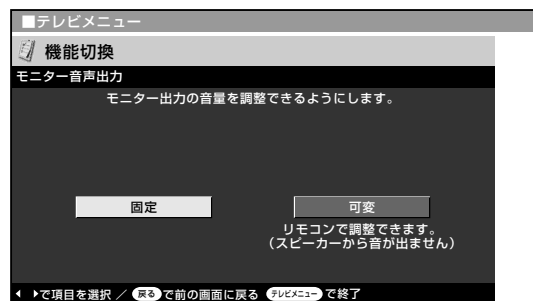
30

扉を開けたところ

おしらせ

- 「可変」に設定し、モニター出力レベルを調整する場合は、スピーカーの音量を変えるときと同じように、音量(大／小)ボタンで調整します。
- 「可変」「固定」の設定にかかわらず、ヘッドホン端子からの音声出力は可能です。

**1** ① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶で「機能切換」を選ぶ

**2** ▲ ▼で「モニター音声出力」を選び、決定を押す

**3** ◀ ▶で「固定」または「可変」を選ぶ

**4** テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

# D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)

## i.LINK(アイリンク)について

■i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

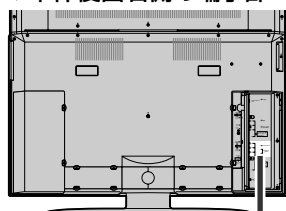
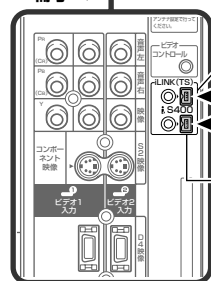
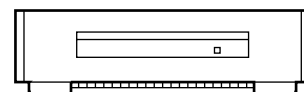
### 本機に接続できるi.LINK機器について

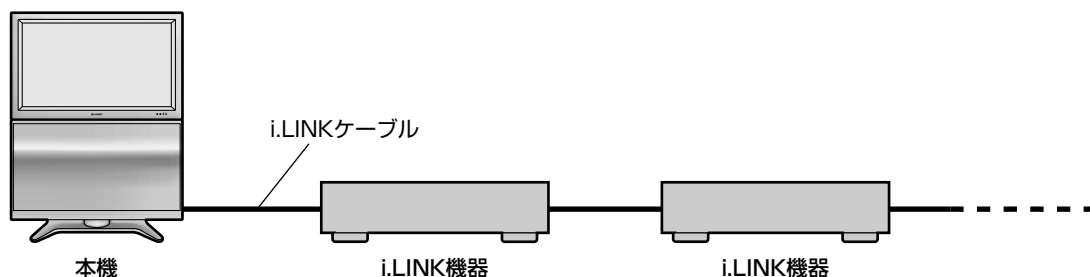
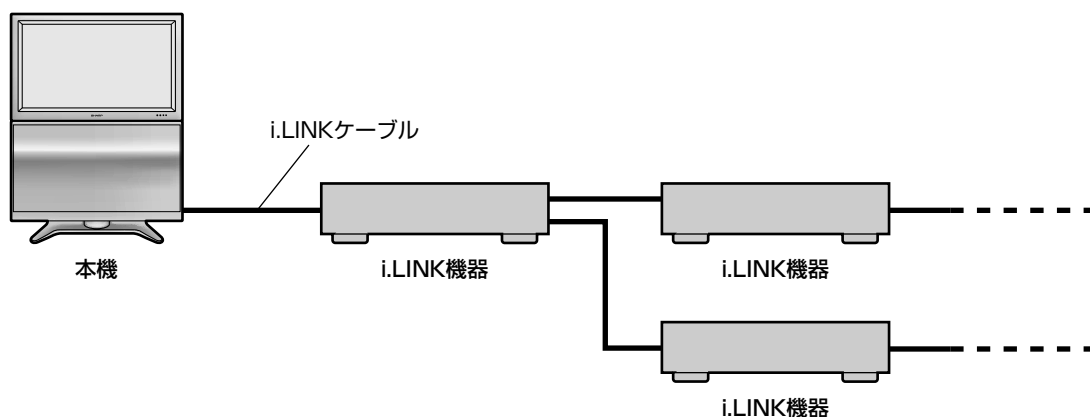
■**本機が対応しているi.LINK機器はD-VHSビデオデッキのみです。**DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)やPC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

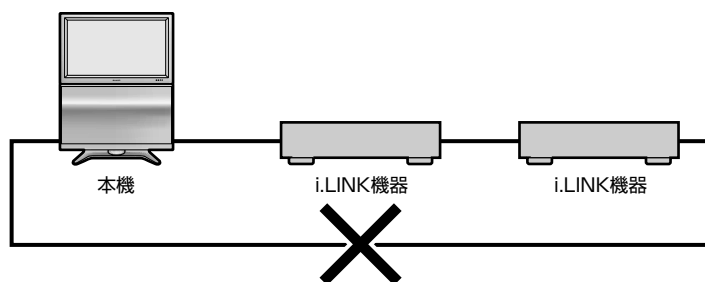
### i.LINKで録画できる内容について

■本機とD-VHSビデオデッキをi.LINK接続して録画できるのは、**BS／110°CSデジタル放送のみ**です。それ以外のテレビ(UHF/VHF)、外部入力(ビデオ1～4)、PC入力は、i.LINK録画ができません。

## i.LINK接続のしかた

［例］ 接続するi.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が1台の場合

## i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が2台以上のとき

■i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を16台までつなげます。

■i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐接続する場合は、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を最大62台までつなげます。

## 接続に関するご注意

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。BS/CSメニューの「電源待機設定」を「する」に設定してください。(**113**ページ参照)
- **下図のようなループ(輪)接続をしないでください。**

- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。

# D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

## i.LINK設定を行う

扉を開けたところ

## 録画モードの設定

- 本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に設定する機能があり、その機能を有効に「する」か「しない」かを選ぶことができます。

**1**

① **BS/CS放送画面のときに BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

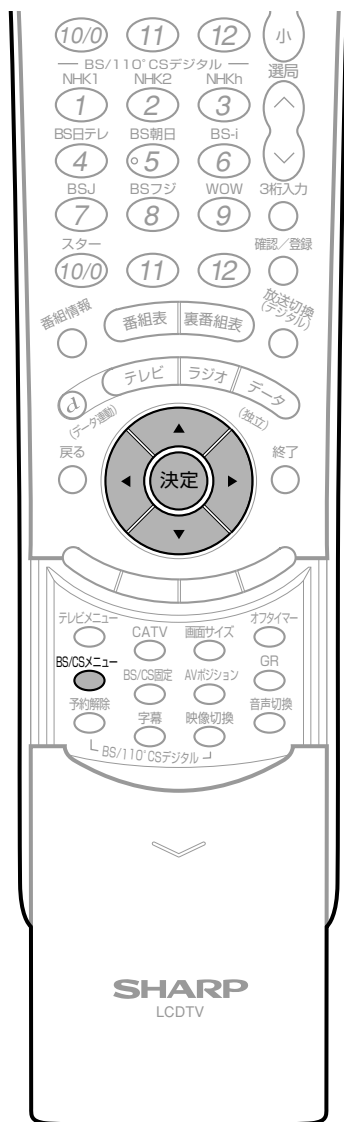
② **◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ**

③ **▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定を押す**

**2**

**「録画モード設定」で 決定 を押す**

**3**

**◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定を押す**

おしらせ

- 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。
- D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。

扉を開けたところ

## i.LINK電源待機の設定

- 本機では、i.LINK電源待機の設定により電源待機時の消費電力を少なくすることができます。
- i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

**1**

① BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定 を押す

**2**

▼ で「電源待機設定」を選び、決定 を押す

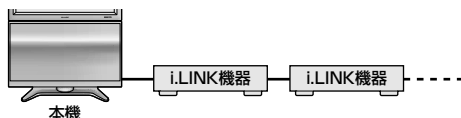
**3**

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」……電源待機時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。

「しない」…電源待機時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

**お願い**

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源を待機状態(電源ランプ赤色点灯)にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

**おしらせ**

- 本機の電源が待機状態(電源ランプ赤色点灯)のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」(電源ランプ緑色点灯)にしてから行ってください。

次ページへつづく

# D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

## i.LINK機器の選択

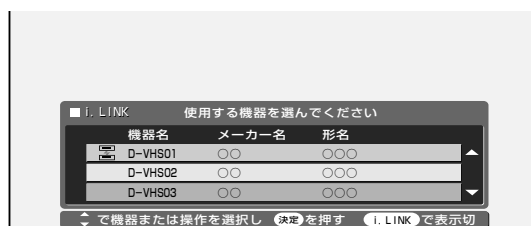
- 本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
- 最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
- 接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

### 1 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。(**110**ページ参照)
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

### 2 

- 機器選択画面が表示されます。

### 3 操作したい機器を▲▼で選び、決定を押す

- 選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

- 本機で使用することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 機器選択画面のリスト項目が暗くなっているi.LINK機器は、接続されていないなど、本機が認識できない状態を示しています。このような機器は使用する機器として選択することができません。

## i.LINK機器の使用解除

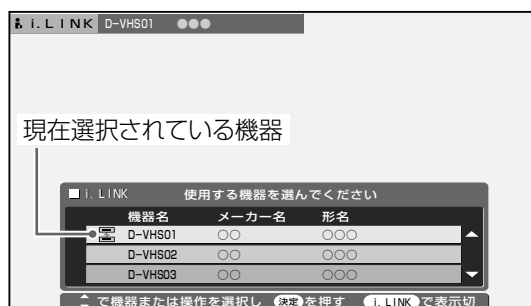
- 登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
- i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

扉を閉じたところ

**1** **i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する**

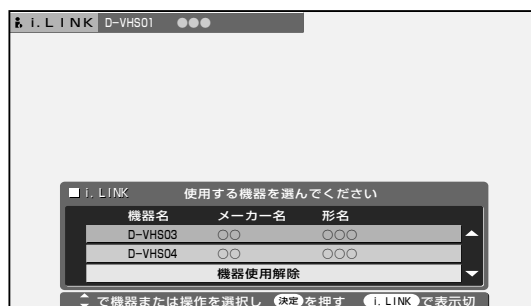
- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。（**110**ページ参照）
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

**2** **▲ ◀で「機器選択」を選び、決定を押す**

- 機器選択画面が表示されます。

**3** **▼で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定を押す**

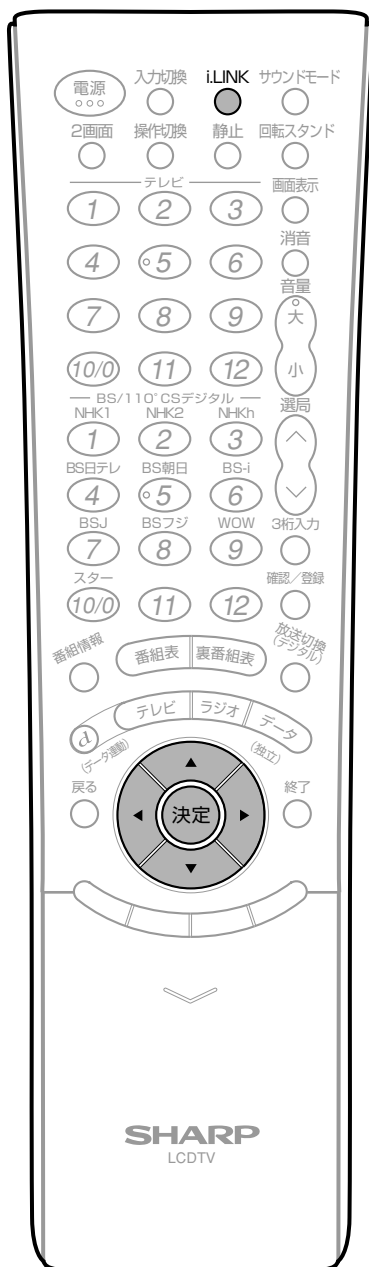
- i.LINK機器の使用が解除されます。

おしらせ

- 本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

他の機器をつないで使う

D-VHSビデオデッキをつなぐ（i.LINK）（つづき）

次ページへつづく

# D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

## i.LINK機器の登録削除

- 機器選択画面に登録されているi.LINK機器をリストから削除できます。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

**1**

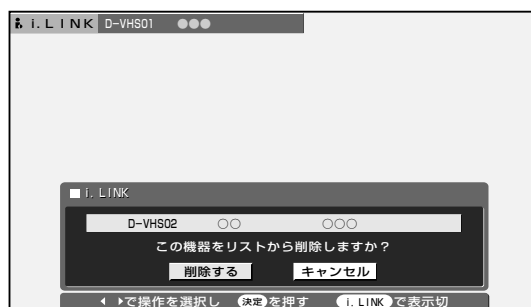
① i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

② ▲ ◀ で「機器選択」を選び、決定 を押す

**2**

削除したいi.LINK機器を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

**3**

◀ で「削除する」を選び、決定 を押す

- 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
- 削除しないときは「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

# i.LINK機器の操作のしかた

■i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作ができます。
画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■操作を始める前に、**112**ページの「i.LINK設定を行う」を済ませておいてください。
■本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

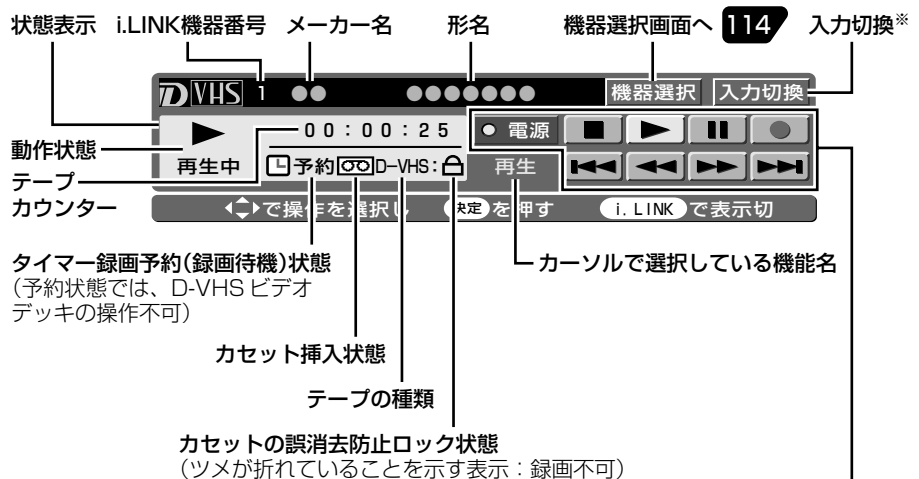
## 基本操作

### 1 i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する

● 操作パネルを終了するときも、このボタンを押します。

### 2 操作したい機能をカーソルボタンで選ぶ

### 3 決定ボタンを押し、選んだ機能を実行する

## i.LINK操作パネルの見かた



※入力切換ボタンについて
● i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、BS／110°CSデジタル放送とi.LINK機器入力との切換えに使用します。

●操作ボタンの機能

| ボタン | 機能 | ボタン | 機能 |
|---|---|---|---|
| ○ 電源 | 電源の入／切 | ⏮ | 1つ前に戻って頭出し |
| ■ | 停止 | ◀◀ | 巻戻し |
| ▶ | 再生 | ▶▶ | 早送り |
| ❚❚ | 一時停止 | ⏭ | 1つ先に進んで頭出し |
| ● | 録画開始 | | |



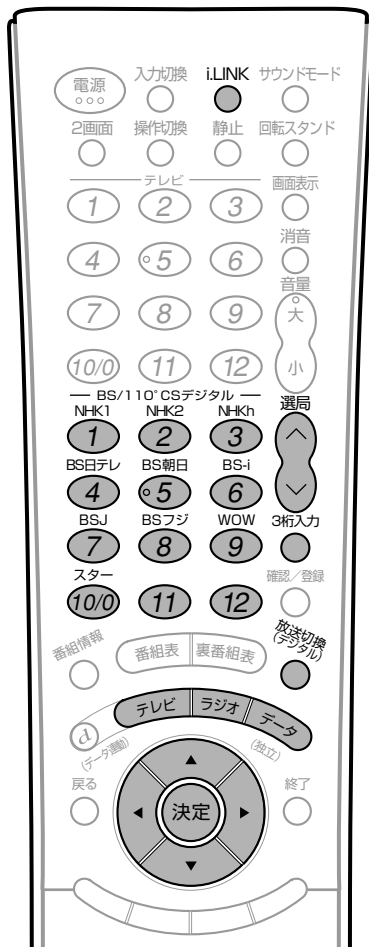
次ページへつづく

# D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

おしらせ

- 本機とD-VHSビデオデッキをi.LINK接続して録画できるのは、BS／110°CSデジタル放送のみです。それ以外のテレビ(UHF/VHF)、外部入力(ビデオ1～4)、PC入力は、i.LINK録画ができません。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキを再生状態にすると、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声に自動的に切り換わるように設定できます。(**120**ページ「i.LINK自動切換の設定」参照)
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキが再生状態のとき、i.LINK操作パネルの入力切換ボタンにカーソルを合わせ、リモコンの決定ボタンを押すと、BS／110°CSデジタル放送の映像・音声に切り換わります。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- 本機は、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されているD-VHSテープの再生映像・音声をi.LINKで視聴することができません。視聴したい場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ映像出力を本機のビデオ1～4入力のいずれかに接続してご使用ください。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキのタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- 本機で受信しているBS／110°CSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- BS/CS固定中は、入力を「i.LINK」に切り換えることができません。
- BS/CS固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示することができません。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。
- 本機に接続したi.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)で録画した内容を再生したとき、ビデオサーチ(早送り／巻戻し)をすると画面がモザイクになる場合があります。

- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

扉を閉じたところ

おしらせ

- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINKコントロール画面（操作パネル）にある操作ボタンで操作できないことがあります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキがタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- i.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているBS／110°CSデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているBS／110°CSデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- BS/CS固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示することができません。
- 録画した放送の内容によっては、再生時にビデオサーチ（早送り、巻戻し）した際、画面がモザイクになる場合があります。

# i.LINK機器でBS／110°CSデジタル放送を録画する

■以下の操作をする前に、**112**ページの「i.LINK設定を行う」を済ませておいてください。

■本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

## 1 録画したいBS／110°CSデジタル放送の番組を選局する

## 2 i.LINKを押し、i.LINK操作パネルを表示する

## 3 ▲▼◀▶で●（録画ボタン）を選び、決定を押す

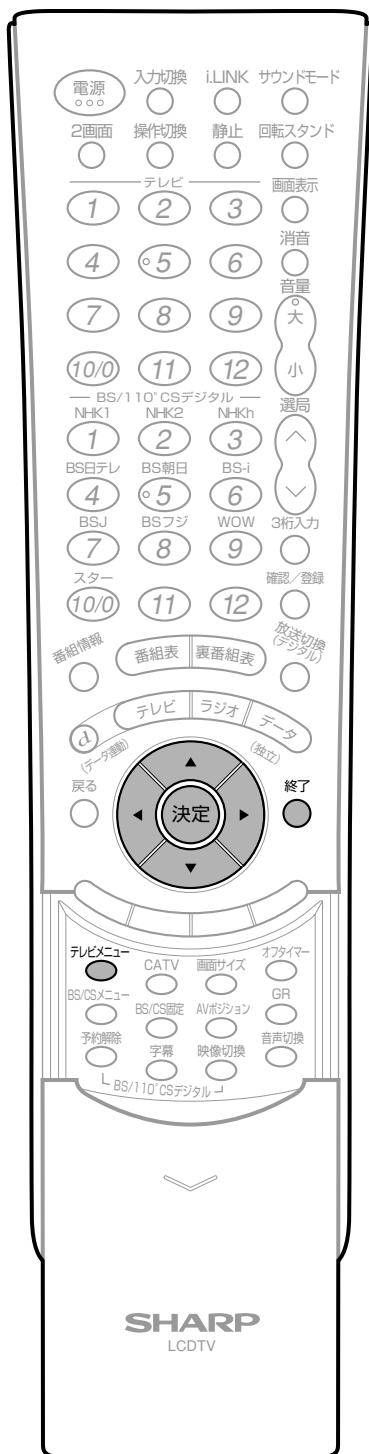
- 録画が開始し、操作パネルが消えます。
- 録画を止めるときは、i.LINKボタンで再度操作パネルを表示し、■（停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。

おしらせ

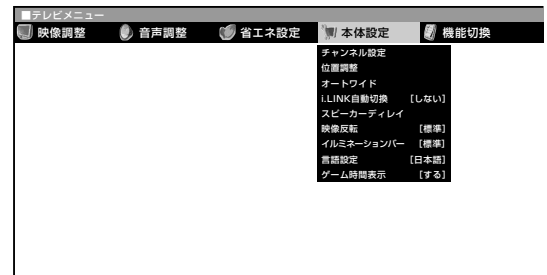
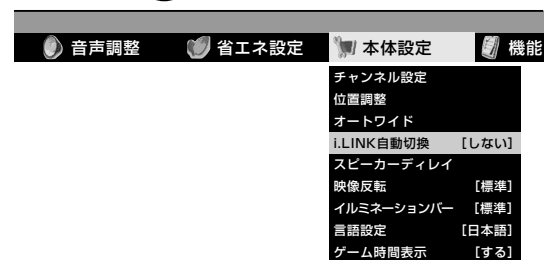
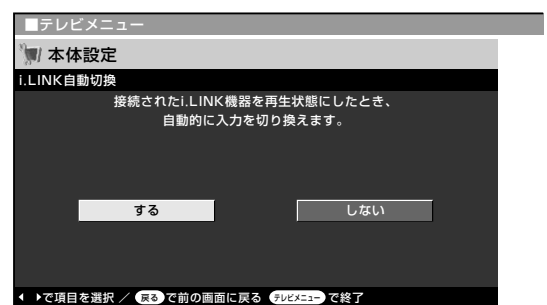
- 録画中は、入力切換ボタンで「i.LINK」を選ぶことはできません。

# D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

■i.LINKで接続したD-VHSビデオデッキを再生状態にしたとき、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるようにするかしないかを設定できます。

扉を開けたところ

## i.LINK自動切換の設定

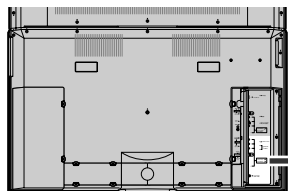
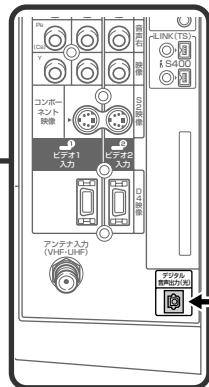
**1** ① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

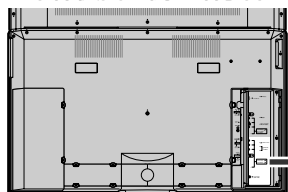
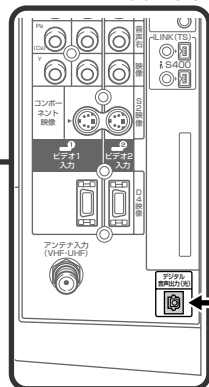
② ◀▶で「本体設定」を選ぶ

**2** ▲▼で「i.LINK自動切換」を選び、決定を押す

**3** ◀▶で「する」または「しない」を選ぶ

**4** テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

# 音響機器をつなぐ

## デジタル音声出力(光)端子から録音する

■デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル音声入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、BS／110°CSデジタル放送の音声を高音質で録音できます。

**接続のしかた**

■また、本機のデジタル音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応デジタルアンプを搭載した録音機器を接続すると、BSデジタルの5.1chサラウンド放送の番組をそのままの高音質で録音することができます。

**接続のしかた**

おしらせ

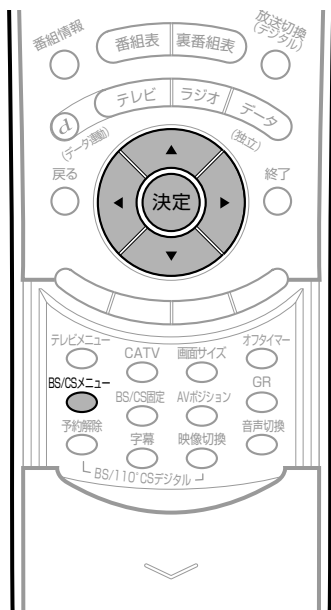
- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 本機では通常、デジタル音声出力の内容はモニター出力端子の音声出力の内容と同じです。
- 設定により、つねにBS／110°CSデジタル放送の音声がデジタル音声出力(光)端子から出力されるようにすることができます。(**123**ページ「デジタル音声出力の設定」をご覧ください。)
- デジタル音声設定を「AAC」にしているとき、字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のデジタル音声出力(光)端子から出力されません。
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

# 音響機器をつなぐ(つづき)

■BS／110°CSデジタル放送の音声やi.LINK入力された音声の出力信号形式を選択するための設定です。選択された形式で内部音声処理およびデジタル音声出力(光)が行われます。

| | |
|---|---|
| AAC ····· | 最大5.1chのデジタル音声です。 |
| PCM ····· | 2chステレオのデジタル音声です。 |

■BS／110°CSデジタル放送、i.LINK入力、デジタル音声入力(光)端子からの入力以外の音声信号は、上記の設定にかかわらず、すべてPCMで出力されます。

扉を開けたところ

●BSデジタル放送のマルチチャンネル音声を楽しむときは、「AAC」に設定します。

●接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。

「AAC」に設定したときは

●字幕放送や一部のデータ放送の音声が出ません。また、デジタル音声出力(光)端子から出力されません。
●サウンドモード「バーチャル」を選んでいても、自動的に「ステレオ」で出力されます(自動ステレオ)。

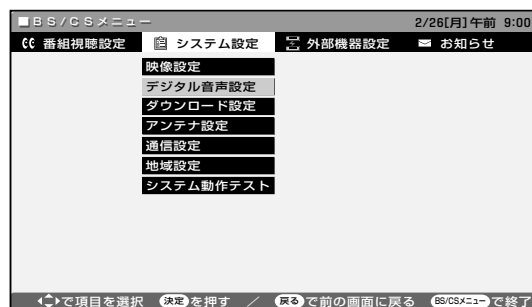
## デジタル音声の設定

**1**

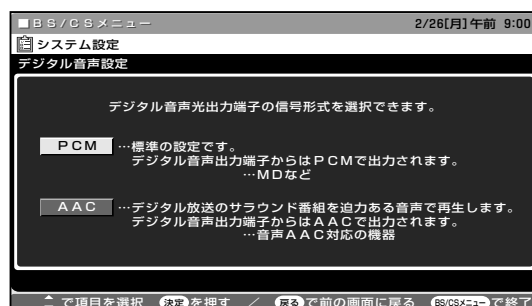
① **BS/CS放送画面のときに BS/CSメニュー を押し、BS/CSメニュー画面を表示する**

② **◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ**

③ **▲ ▼ で「デジタル音声設定」を選び、決定 を押す**

**2**

**▲ ▼ で「PCM」または「AAC」を選び、決定 を押す**

「PCM」…… 標準の設定です。デジタル音声出力(光)端子からは、PCMで出力されます。AACに対応していない音響機器(MDプレーヤー、MDコンポなど)に接続するときに選びます。(※録音にはMDプレーヤー／コンポ側にサンプリングレートコンバータ機能が必要です。詳しくは、接続するMDプレーヤー／コンポの取扱説明書をご覧ください。)

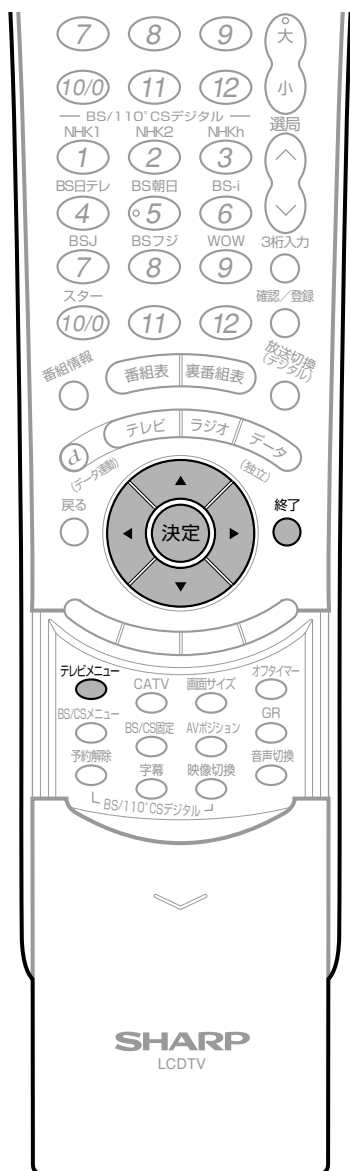
「AAC」…… デジタル放送のサラウンド番組を迫力ある音声で再生します。デジタル音声出力(光)端子からは、AACで出力されます。AAC対応のAVアンプなどに接続するときに選びます。

■デジタル音声出力(光)端子からの出力を、BS/CS固定と連動させるか否かを設定することができます。

「連動」……BS/CS固定した場合、BS/CS固定したBS/110°CSデジタル放送チャンネルの音声がつねに出力されます。
「非連動」…BS/CS固定の設定に関係なく、選択されているチャンネルや入力の音声が出力されます。

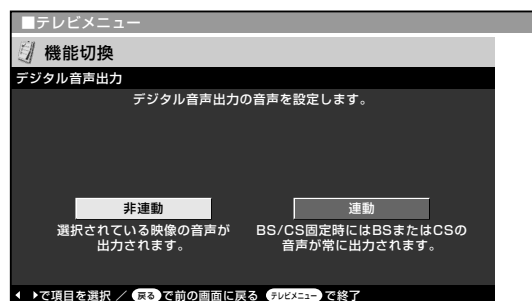
扉を開けたところ

## デジタル音声出力の設定

**1** ① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「機能切換」を選ぶ

**2** ▲ ▼ で「デジタル音声出力」を選び、決定を押す

●デジタル音声出力設定画面が表示されます。

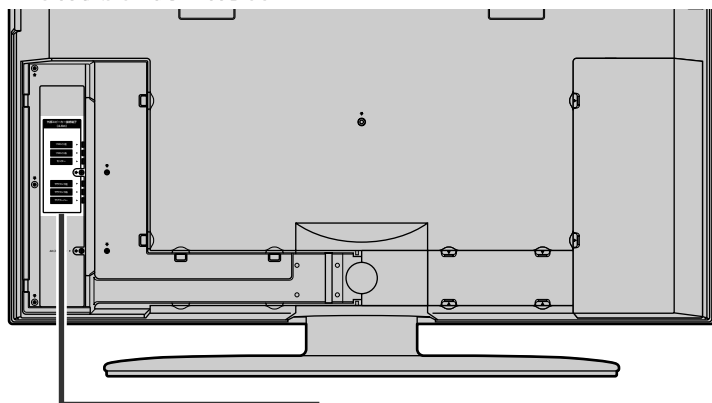
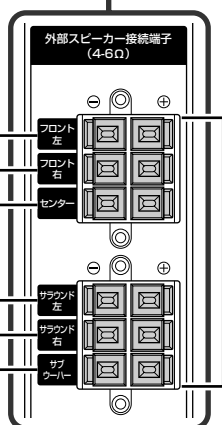
**3** ◀ ▶ で「非連動」または「連動」を選ぶ

**4** テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

# 音響機器をつなぐ(つづき)

## 外部スピーカーを接続する

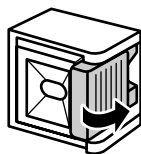
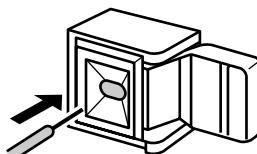
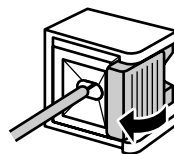
■本体後面の外部スピーカー接続端子に、お手持ちのスピーカーを接続して楽しむことができます。

**ご注意** 接続するときは、主電源スイッチを「切」にしてから行ってください。

▼本体後面左側の端子部

### 使用できるスピーカーについて

●スピーカーは、インピーダンス4～6Ω、定格入力40W以上のものをお使いください。

**おしらせ**
● 外部スピーカーのケーブルの処理(付属のケーブルクランプとケーブルバンドの使いかたや配線のしかた)については、基本編24ページをご覧ください。

### スピーカーケーブルのつなぎかた

1 ツマミを外側に開く
2 ケーブルの先端を穴に差し込む
3 ツマミを閉じる

**スピーカーケーブルをつなぐときは、スピーカー端子とケーブルの極性(⊕、⊖)にご注意ください。**

- スピーカー端子には⊕(プラス)と⊖(マイナス)の極性があります。⊕端子は赤、⊖端子は黒になっています。
- ケーブルも⊕(プラス)用と⊖(マイナス)用に分かれています。
- スピーカーケーブルを接続する際は、それぞれ、⊕端子(赤)どうし、⊖端子(黒)どうしを正しいケーブルでつないでください。

## スピーカーに関する設定について

「スピーカー切換」…………… フロントスピーカー端子(左・右)およびセンタースピーカー端子にお手持ちのスピーカーを接続して使用される場合に設定します。(☞125ページ)

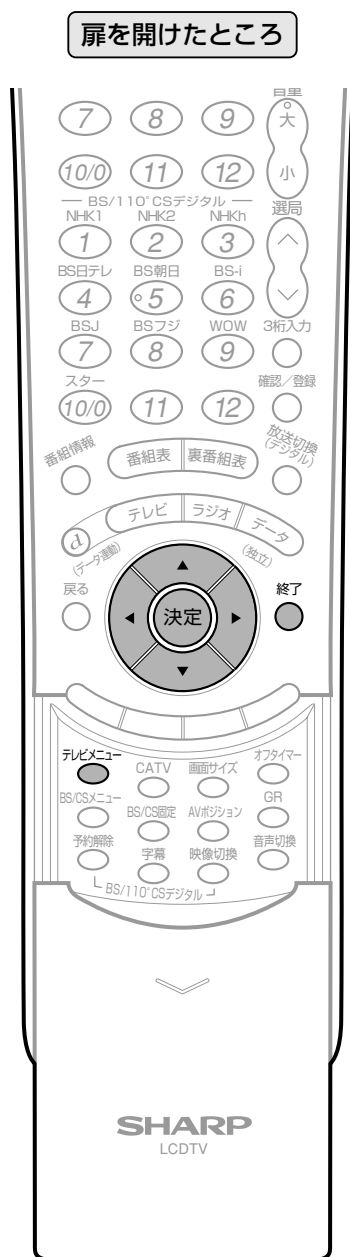
「スピーカーディレイ」…… スピーカーの配置に応じて、聴く位置から各スピーカーまでの距離を設定し、音のズレを補正します。(☞23ページ)

「バランス」……………………… 各スピーカーの音量(出力レベル)のバランスを調整します。(☞25ページ)

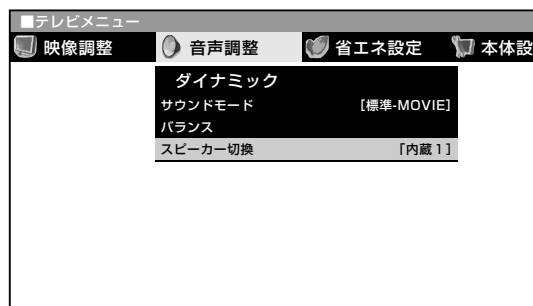
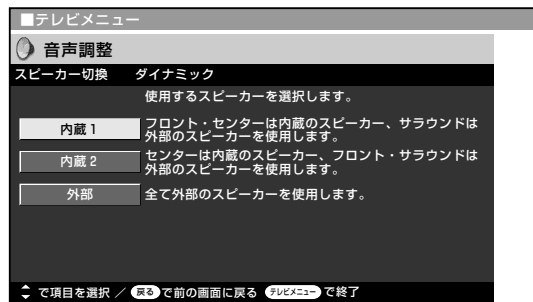
## 使用するスピーカーを選択する（スピーカー切換）

■フロントスピーカーおよびセンタースピーカーにつき、本体内蔵のスピーカーを使うか、お手持ちの外部スピーカーを使うかの選択ができます。
（サラウンド[左・右]およびサブウーハーについては、つねに外部スピーカーになります。）

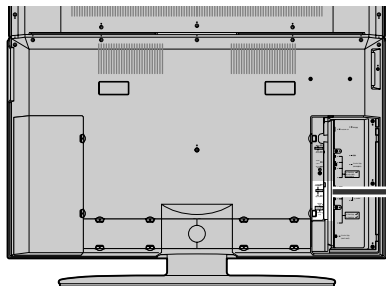
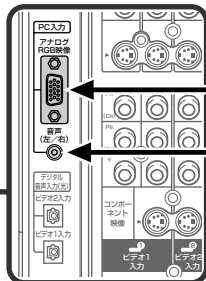
| 設定 | フロント | センター |
| --- | --- | --- |
| 内蔵１ | 内蔵スピーカー | 内蔵スピーカー |
| 内蔵２ | 外部スピーカー | 内蔵スピーカー |
| 外部 | 外部スピーカー | 外部スピーカー |

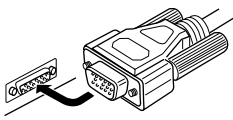
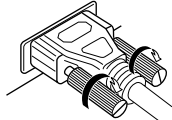
扉を開けたところ

**1** ① テレビメニューを押し、テレビメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「音声調整」を選ぶ

**2** ▲ ▼ で「スピーカー切換」を選び、決定を押す

**3** ▲ ▼ で「内蔵１」「内蔵２」「外部」のいずれかを選ぶ

**4** テレビメニューまたは終了を押し、通常画面に戻す

# PC(パソコン)をつなぐ

## 接続のしかた

### RGB接続ケーブルの取扱いについて

本機とPC（パソコン）を接続するRGB接続ケーブルは、端子とプラグの形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

## PC入力対応表

| 画素数 | 垂直周波数 | 備　考 |
| --- | --- | --- |
| 640×400 | 85Hz | |
| 720×400 | 70Hz | |
| | 85Hz | |
| 640×480 | 60Hz | |
| | 65Hz | Macintosh13"(67Hz) |
| | 72Hz | |
| | 75Hz | |
| | 85Hz | |
| 800×600 | 56Hz | |
| | 60Hz | |
| | 72Hz | |
| | 75Hz | |
| | 85Hz | |
| 832×624 | 74.5Hz | Macintosh16" |
| 1024×768 | 60Hz | |
| | 70Hz | |
| | 75Hz | Macintosh19" |
| | 85Hz | |
| 1280×768 | 60Hz | |
| 1280×1024 | 60Hz | |

※PC接続時の表示設定は、自動同期調整で最良に近い状態に設定されます。
（自動同期調整……**15**ページ参照）

# PC(パソコン)をつなぐ(つづき)

## 入力解像度を選択する

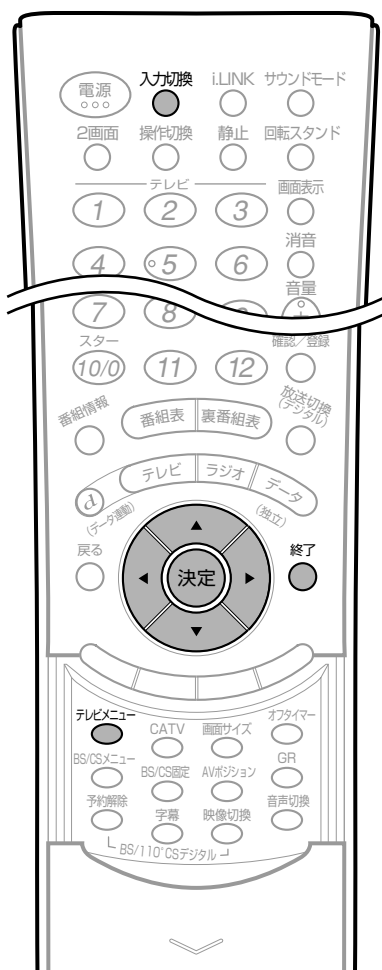
■PC入力時、入力信号によっては、入力解像度を手動で選択する必要がある場合があります。

■入力された信号が下の表に掲載されている信号のとき、横に並んだ信号どうしは自動的に判別ができません。この場合は、「入力解像度選択」でどの信号(解像度)として表示するかを手動で選択します。一度選択すると、それ以降、同じ信号が入力されたとき、最後に選択した信号(解像度)として表示します。

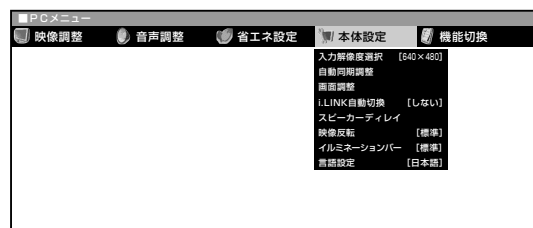
| | |
|---|---|
| 640×400 | 720×400 |
| 640×480 | 848×480 |
| 1024×768 | 1280×768 |

※ この表に掲載されている信号(6種類)が入力されたときのみ、「入力解像度選択」の項目を選択することができます。

※ 垂直ライン数(非表示期間を含む)が特殊な一部の信号では、解像度を正しく判別できないことがあります。

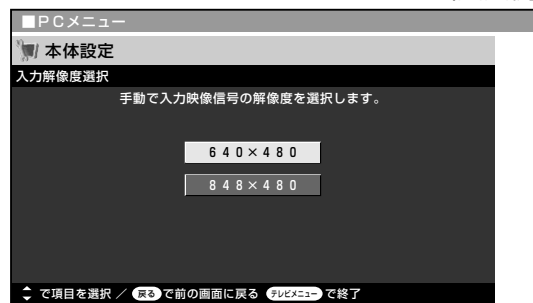
扉を開けたところ

**1** 入力切換 ◯をくり返し押し、PC入力にする

**2** ① テレビメニュー ◯を押し、PCメニュー画面を表示する

② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ

**3** ▲ ▼ で「入力解像度選択」を選び、決定 を押す

**4** ▲ ▼ で入力解像度を選ぶ

(画面例)

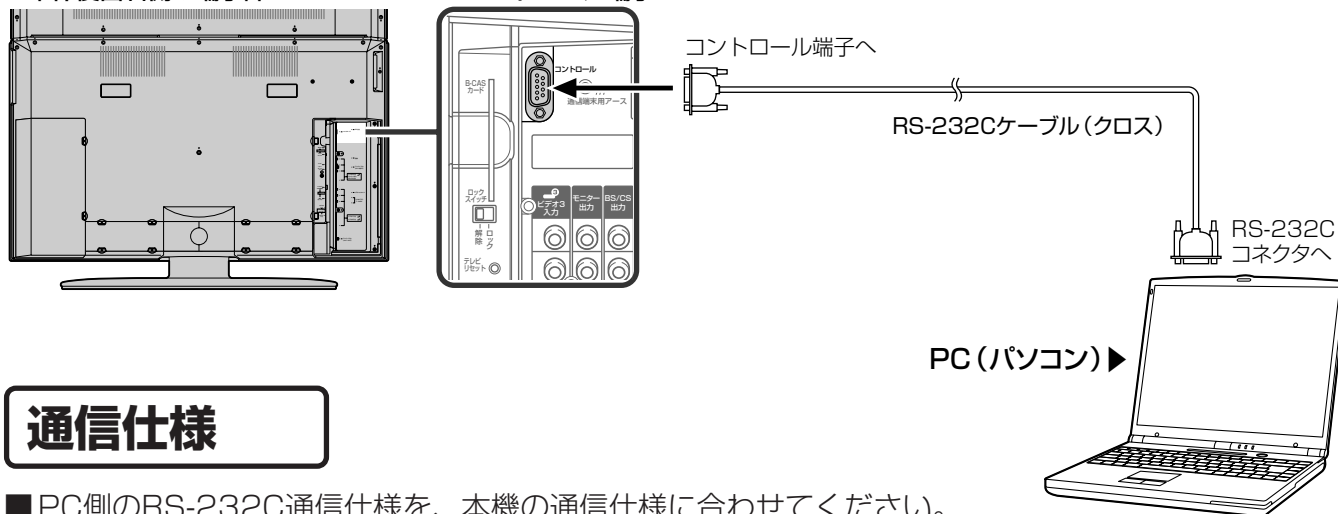
■PCメニュー
本体設定
入力解像度選択
手動で入力映像信号の解像度を選択します。
640×480
848×480
⇕ で項目を選択 ／ 戻る で前の画面に戻る テレビメニュー で終了

**5** テレビメニュー ◯または 終了 ◯を押し、通常画面に戻す

# PC(パソコン)で本機を制御する

## PC(パソコン)による本機の制御について

この操作システムはPC(パソコン)を使い慣れたかたのご利用をお願いいたします。

■ターミナルソフトなどを利用して、RS-232Cコネクタでつないだ PC(パソコン)から本機を制御することができます。チャンネル切換え、入力切換え、音量調整などを行うことができます。
■接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス)をご用意ください。

### 接続のしかた

### 通信仕様

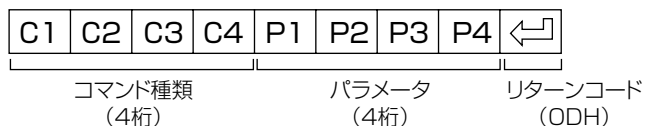
■PC側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
■本機の仕様は、以下のとおりです。

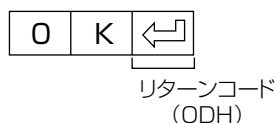
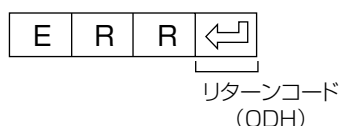
| ボーレート | 9600bps |
|---|---|
| データ長 | 8ビット |
| パリティ | なし |

| ストップビット | 1ビット |
|---|---|
| フロー制御 | なし |

### 通信手順

■PCからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをPC側に送ります。
■複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受けとってから、つぎのコマンドを送信するようにしてください。

**コマンド(PCから本機へ)**

**レスポンス(本機からPCへ)**

● 正常時

● 異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

# PC(パソコン)で本機を制御する(つづき)

## RS-232Cコマンド一覧

■下の表に掲載されている以外のコマンドについては動作保証範囲外です。

| 制御項目 | | "A" part | "B" part | 選択項目 | 制御内容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 電源 | | POWR | 0 | | スタンバイへ移行 |
| 画面表示 | | DISP | − | | |
| 入力切換 | トグル | ITGD | − | （トグル） | トグルで入力切換（入力切換ボタンと同じ） |
| | テレビ | ITVD | 0 | | テレビに入力切換<br>（チャンネルはそのまま［ラストメモリー］） |
| | ビデオ1〜4 | IAVD | 1-4 | （入力端子番号） | ビデオ1〜ビデオ4に入力切換 |
| | i.LINK | LINK | 0 | | i.LINKに入力切換 |
| | PC | IPCD | − | | PCに入力切換 |
| | 放送切換<br>（デジタル） | IDEG | − | （トグル） | BS、CS1、CS2の切換 |
| チャンネル切換 | UV | CCUV | 1〜20 | （TVのチャンネル番号） | UV表示でなかったら入力切換含む |
| | CATV | CCCT | 13〜63 | （CATVのチャンネル番号） | CATV表示でなかったら入力切換含む |
| | 3桁入力 | CCBS | 0〜999 | （デジタル放送のチャンネル番号） | デジタル放送表示でなかったら入力切換含む |
| | 選局＋ | CHUP | − | テレビのチャンネル番号＋1 | テレビ表示でなかったらテレビに入力切換<br>（U/V→CATV→BSD/CSD→U/Vの順でトグル） |
| | 選局− | CHDW | − | テレビのチャンネル番号−1 | テレビ表示でなかったらテレビに入力切換<br>（U/V→BSD/CSD→CATV→U/Vの順でトグル） |
| AVポジション | | AVMD | 0 | （トグル） | 現在選択できるものの中でトグル動作 |
| | | | 1 | 標準 | |
| | | | 2 | ダイナミック | |
| | | | 3 | 映画 | |
| | | | 4 | ゲーム | |
| | | | 5 | AVメモリー | |
| 音量 | | VOLM | 0〜60 | （音量） | |
| 消音 | | MUTE | − | （トグル） | 消音オン、オフのトグル |
| サウンドモード | | SNDM | 0 | （トグル） | トグル動作 |
| | | | 1 | ステレオ | |
| | | | 2 | バーチャル | |
| | | | 3 | 標準 | |
| | | | 4 | 標準-MOVIE | |
| | | | 5 | 標準-MUSIC | |
| | | | 6 | 標準-NIGHT | |
| 音声切換 | | ACHA | − | （トグル） | |
| 2画面 | | TWIN | 0 | 1画面 | |
| | | | 1 | 2画面 | |
| オフタイマー | | OFTM | 0 | 解除 | |
| | | | 1 | オフタイマー30分 | |
| | | | 2 | オフタイマー60分 | |
| | | | 3 | オフタイマー90分 | |
| | | | 4 | オフタイマー120分 | |

※"B" part欄の「−」はスペースを意味します。

# 通信内容

## ■通信設定

| ボーレート | 9600bps |
| --- | --- |
| データ長 | 8ビット |
| パリティ | なし |

| ストップビット | 1ビット |
| --- | --- |
| フロー制御 | なし |

## ■コマンド形式

アスキー8文字+CR

“A” part......コマンド(テキスト4文字)
“B” part......引数(0〜9、ー、空白、?)

## ■引数

“B”partには左詰めで入力し、残りはスペースで埋めます。(必ず4文字になるようにしてください。)
設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。(「返り値」参照)
表中で引数が「–」になっているものは、数値であれば何を書いてもかまいません。

| 0 | 0 | 0 | 9 |
| --- | --- | --- | --- |

| – | 3 | 0 | |
| --- | --- | --- | --- |

| 1 | 0 | 0 | |
| --- | --- | --- | --- |

| 0 | 0 | 5 | 5 |
| --- | --- | --- | --- |

いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

| ? | | | |
| --- | --- | --- | --- |

| ? | ? | ? | ? |
| --- | --- | --- | --- |

## ■返り値

コマンドの実行が終了したら、下記戻り値を返します。

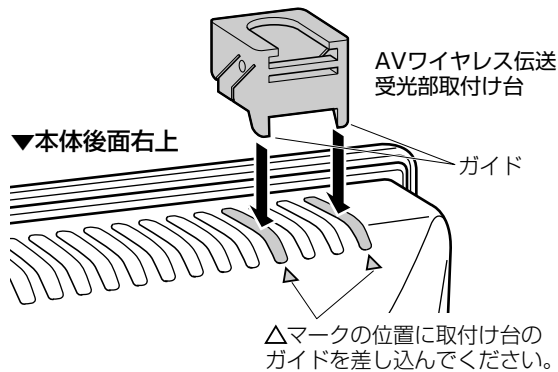
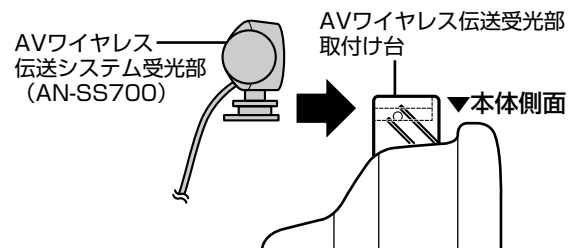
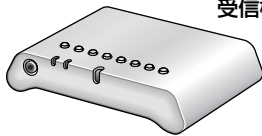
| O | K | (CR) |
| --- | --- | --- |

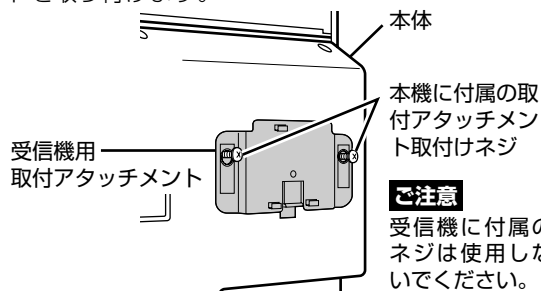
コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、下記戻り値を返します。

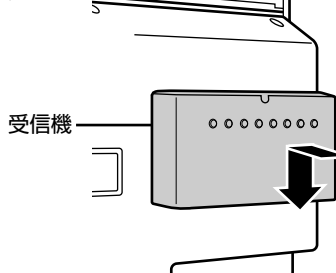
| E | R | R | (CR) |
| --- | --- | --- | --- |

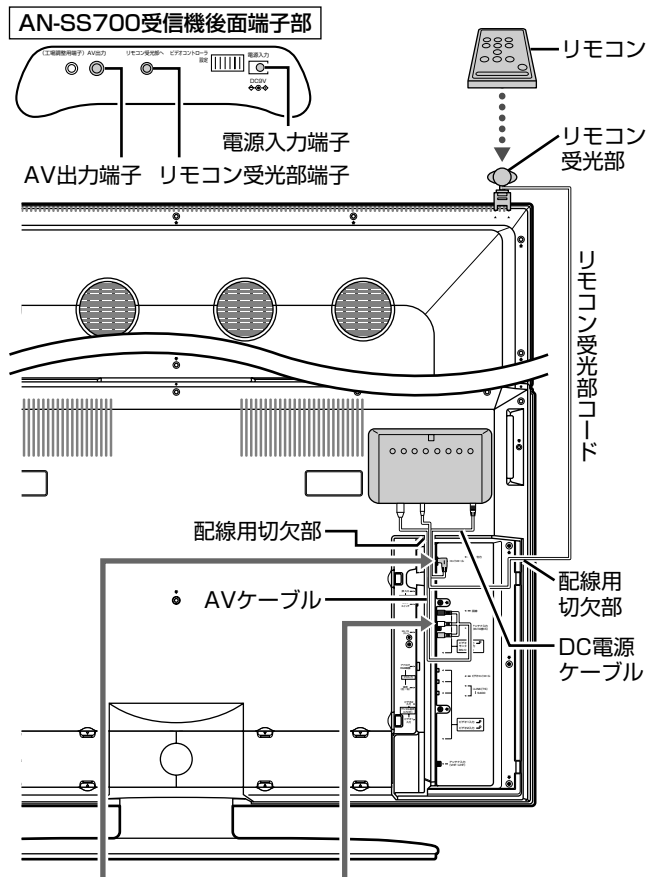
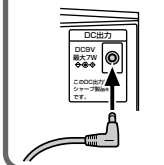
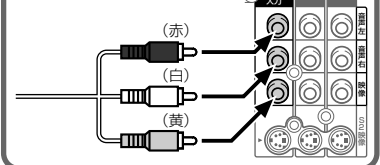
# AVワイヤレス伝送受光部取付け台の取り付けかた

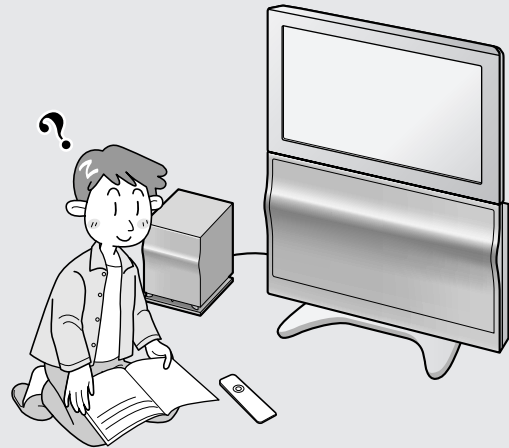
■別売のAVワイヤレス伝送システムでお楽しみいただく場合は、本機に付属しているAVワイヤレス伝送受光部取付け台を使用します。
AVワイヤレス伝送受光部取付け台のガイドを本機上部の溝に取り付けます。

## 1 AVワイヤレス伝送受光部取付け台を、本機の指定位置に取り付ける

## 2 別売のAVワイヤレス伝送システム（AN-SS700またはAN-AV400)に付属のリモコン受光部を、AVワイヤレス伝送受光部取付け台に取り付ける

**本機の後面に受信機を取り付ける。**

1. 本機に付属の取付アタッチメント取付けネジを使用して、本体の後面に受信機用取付アタッチメントを取り付けます。

**ご注意**
受信機に付属のネジは使用しないでください。

2. 受信機用取付アタッチメントに受信機を取り付けます。

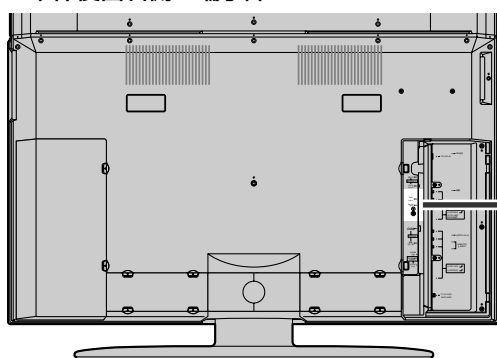
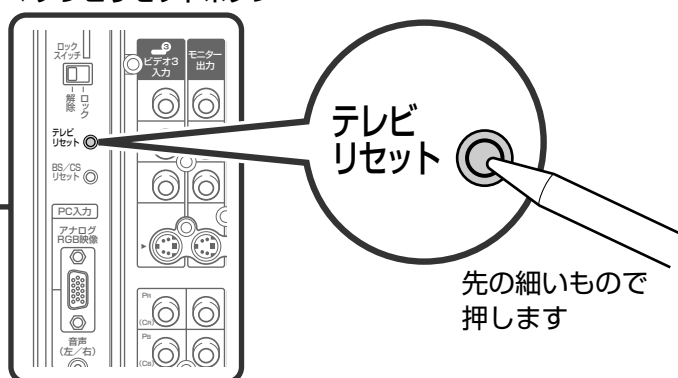
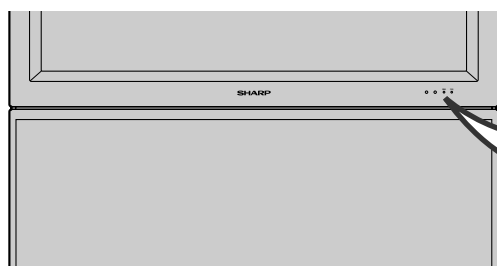
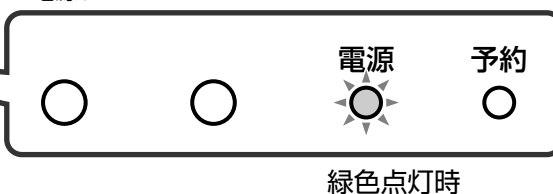
<AN-SS700 接続例>

おしらせ

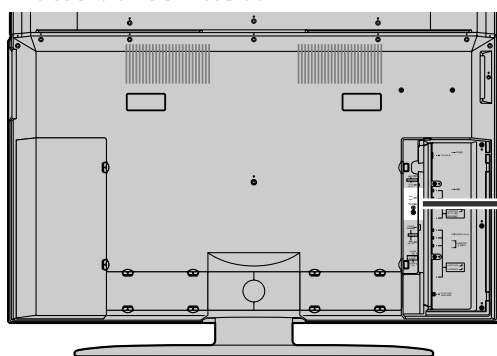
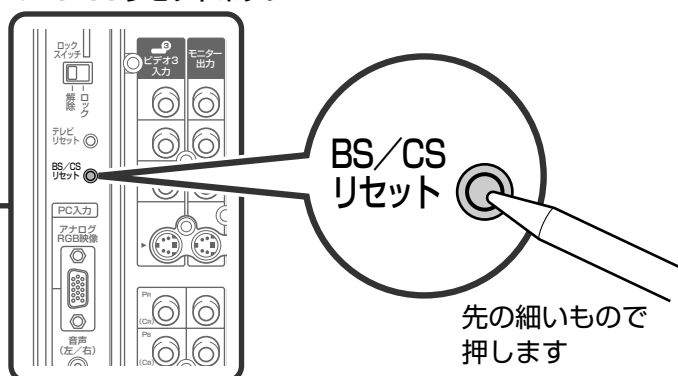
- 詳しくは、AVワイヤレス伝送システムの取扱説明書をご覧ください。
- DC出力端子はシャープ製品専用です。
  [対象機種]AVデジタルワイヤレス伝送システム AV-SS700(2002年11月現在)
- 本体スタンド部台座から背面の壁までは、30cm以上離して本体を設置してください。

# 情報ページ

● 困ったときに役立つ便利な情報のページです。テレビ／PCメニューの項目一覧やテレビ用語の解説、索引なども掲載していますので、ぜひお役立てください。

# リセットボタンについて

## テレビリセットボタン

■複雑な操作などをしてふだん使っている状態に戻せなくなったりした場合などには、チャンネル設定とBS/CSメニューでの設定項目以外の設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

■本機が動作している状態のとき(電源ランプが緑色点灯中)に本体後面右側端子部(カバー内)のテレビリセットボタンを1秒以上押しつづけてください。画面に「**初期設定に戻しています**」と表示されますので、その表示が消えるまでお待ちください。操作の終了後は、テレビの1チャンネル(リモコンのテレビチャンネルボタン「1」を押したときのチャンネル)になります。

## BS/CSリセットボタン

■本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合など、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、本体後面右側端子部(カバー内)のBS/CSリセットボタンを押してから操作をやりなおしてください。

おしらせ
- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

# 故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては基本編**96**ページをご覧ください。

**（太字のページ番号は基本編です）**

| | こんなときに | ここをお確かめください | ページ |
|---|---|---|---|
| 全般 | 映像も音声も出ない | ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。<br>●電源が「切」の状態になっていませんか。<br>●テレビ（地上放送、CATV）やBS/CS放送を見たいのに、ビデオ入力やPC入力に切り換えられていませんか。<br>●入力切換えは正しくされていますか。 | **23**<br>**27**<br>91<br>91 |
| | リモコンが動作しない | ●電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。<br>●リモコンの乾電池が消耗していませんか。<br>●リモコンは画面右下に向けてお使いください。 | **17** |
| | 音が左右逆になる<br>片方しか音が出ない | ●外部スピーカーの接続ケーブルが左右逆に接続されたり、片方が外れたりしていませんか。 | **22**·124 |
| | 映像は出るが<br>音声が出ない | ●音量調整が最小になっていませんか。<br>●「消音」状態になっていませんか。<br>●ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。<br>●モニター音声出力が「可変」に設定されていませんか。「固定」にしてください。<br>●D4映像·コンポーネント映像·S2映像端子は映像用です。これらを使用するときは、音声用端子も接続してください。<br>●音声入力選択は正しく設定されていますか。<br>●スピーカー切換は正しく設定されていますか。 | **74**<br>**75**<br>89<br>109<br>90<br>104<br>125 |
| | 色がうすい<br>色あいが悪い | ●色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。 | 18·19 |
| | 特定のテレビチャンネルだけ映らない | ●テレビチャンネルの微調整がズレていませんか。 | **46** |
| アンテナ | 映像が出ず<br>雑音のみ出る | ●アンテナ線がはずれたり、ショートしたりしていませんか。<br>●アンテナ線は正しく接続されていますか。 | **25·26** |
| | 画像にはん点が出る | ●自動車、電車、ネオンなどからの雑音電波を受けていませんか。アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に立ててください。 | – |
| | 映像が二重になる<br>（ゴースト） | ●近くに山や大きな建物·樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。<br>アンテナの向きや高さを変えてみてください。<br>●GR設定を行ってみてください。 | –<br>28 |
| | 色じま模様が出る | ●近所のテレビからの妨害電波を受けていませんか。アンテナの向きや高さを調整すれば、妨害をある程度少なくすることができます。 | – |
| | 雪が降っているような画面になる | ●アンテナ線は正しく接続されていますか。<br>●屋外アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか。<br>●アンテナの向きが変わったり、アンテナがこわれたりしていませんか。 | **25·26**<br>–<br>– |

# 故障かな？と思ったら（つづき）

（太字のページ番号は 基本編 です）

| | こんなときに | ここをお確かめください | ページ |
|---|---|---|---|
| BS／110°CSデジタル放送関係 | 映像も音声も出ない | ●BS／110°CSアンテナ電源が「切」になっていませんか。<br>●映像、音声のない放送ではありませんか。<br>●ビデオ入力画面に切り換えられていませんか。 | **51**<br>－<br>91 |
| | 画面に四角のノイズ（モザイク）が出る | ●アンテナの向きがズレていませんか。<br>●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。<br>●アンテナの前方に障害物はありませんか。<br>●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 | －<br>**51**<br>－<br>**26** |
| | 有料放送の視聴ができない | ●B-CASカードは正しく挿入されていますか。<br>●有料放送を視聴するための契約はしていますか。<br>●電話回線の接続や設定は正しくされていますか。 | **57**<br>**58·59**<br>**54·60** |
| | 110°CS デジタル放送が受信できない | ●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。<br>●ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110°CS帯域（2150MHz）まで対応した機器に交換する必要があります。 | **26** |
| | 画面にノイズが出る | ●VHF/UHFのアンテナケーブルがBS／110°CSアンテナケーブルと接近していませんか。 | － |
| | 特定のチャンネルだけ映らない | ●契約していない有料放送ではありませんか。<br>●アンテナレベル（信号強度）を確認してください。 | **58·59**<br>**51** |
| | 電子番組表（EPG）が表示されない<br>電子番組表（EPG）に表示されない番組がある | ●電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 | － |
| | ビデオコントローラーでの録画予約ができない | ●ビデオコントローラーは正しく接続されていますか。<br>●ビデオ連動録画設定は正しく設定されていますか。<br>●データ番組はビデオ連動予約ができません。 | 97<br>98<br>－ |
| | 番組の予約をしても受信できない場合があります。 | ●契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等を予約したとき。 | 52 |
| その他 | 回転スタンドが動かない | ●ビデオ4入力端子またはヘッドホン端子にケーブルがつながっていませんか。<br>●本体にものが当たっていませんか。<br>●ケーブルに余裕がなく、引っぱられていませんか。<br>●傾いた場所に本体を設置していませんか。 | **78** |
| | リモコンで電源を「切」（電源待機状態）にしてもファンが回転している | ●BS/CS固定を「入」に設定していませんか。「入」に設定しているときは、ファンが回転しています。<br>●電源を「切」にしても、ファンはすぐに止まりません。ファンの回転が止まるまでに、1分程度かかります。 | 96<br>－ |
| | i.LINK接続されない | ●接続先の機器の電源は入っていますか。<br>●i.LINKケーブルが外れていませんか。<br>●接続先はD-VHSビデオデッキですか。本機はD-VHSビデオデッキのみi.LINK接続が可能です。 | －<br>110<br>110 |

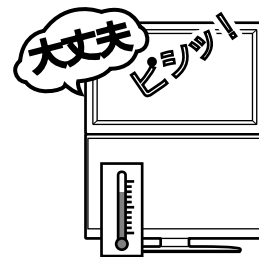
（太字のページ番号は基本編です）

|  | こんなときに | ここをお確かめください | ページ |
|---|---|---|---|
| その他 | 突然電源が切れる | ●電源を入れると画面の右下に「Temperature」もしくは「MONITOR TEMP」という文字が表示されていませんか。その場合、内部の温度が高くなってしまっています。排気孔がゴミなどでふさがれていませんか。（137ページ「温度上昇時のお知らせ表示について」をご覧ください。） | － |
|  |  | ●大きな入力レベルの音声を音量最大値近くで長時間出していませんか。アンプの安全回路が働いています。音量を小さくすれば現象は起こらなくなります。もし電源を入れるとすぐに電源「切」（待機状態）になってしまうようでしたら、一度音声信号線を抜き、音量を小さくしてから再度接続してください。 | － |
|  |  | ●その他の場合は、お近くのサービスセンター（基本編**97**ページ参照）へご連絡ください。その際、本機の電源ランプが点滅動作をしている場合には、その点滅回数を併せてご連絡ください。 | － |

■ 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは本体の主電源スイッチで電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて1分間ほど放置した後、再度差し込み、動作を確認してください。

### このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする
- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
  性能その他に影響はありません。

BS／110°CS 共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害
- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まります。

## ■温度上昇時のお知らせ表示について

**表示内容：**

画面の右下に「Temperature」もしくは「MONITOR TEMPERATURE」の文字が点滅表示されます。そのまま使用を続けると、自動的に電源待機状態になることがあります。

**処置のしかた：**

- 温度が上昇して電源待機状態になったときは、ふだんどおりリモコンなどで電源を入れなおすことができますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、すぐにまた電源待機状態になります。
- 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本体後面に空いている通風孔がふさがれていると、温度が上がりやすくなります。
- 本機の内部や通風孔にホコリがたまっていると、内部の温度が上がりやすくなります。外部から取り除けるホコリはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買い上げの販売店にご相談ください。

# BS／110° CSデジタル放送の注意文など

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ

（太字のページ番号は 基本編 です）

| 画面に表示されるエラーメッセージ例 | エラーコード | 対処のしかた | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| IC カードを正しく装着してください。 | | B-CASカードを正しく挿入し、B-CASカードロックスイッチをロックしてください。 | **57** |
| この IC カードは使用できません。<br>ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | **** | B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | **57** |
| このカードは使用できません。<br>正しいIC カードを装着してください。 | **** | 専用のB-CASカードを挿入してください。 | **57** |
| このチャンネルは契約されていません。<br>ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | **** | ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | – |
| この IC カードには必要な情報が有りません。<br>ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | **** | ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | – |
| 放送チャンネルではないため、視聴できません。 | E200 | このチャンネル（番組）は視聴できません。 | – |
| 降雨対応画面選択中です。<br>映像切換ボタンでもとの画面に戻ります。 | E201 | 天気の回復をお待ちください。 | – |
| 放送が受信できません。 | E202 | アンテナ線を確認してください。<br>アンテナの設定が合っているか確かめてください。 | **26・51** |
| 現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 | E203 | 番組表などで放送時間を確かめてください。 | – |
| ○○○チャンネルが見つかりません。<br>番組表などでチャンネルを確認してください。 | E204 | 番組表などでチャンネルを確かめてください。 | – |
| アンテナ線がショートしています。<br>アンテナとの接続を確認ください。 | E209 | アンテナ線を確かめてください。 | **26** |
| ○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。 | E210 | 選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。 | – |
| 契約期限が切れています。<br>ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | **** | ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | – |
| このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。<br>ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | **** | ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | – |
| 受け付け時間を過ぎていますので購入できません。 | **** | 番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。 | – |
| 電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。 | **** | 電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。<br>ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。 | **54・57** |

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ(つづき)

(太字のページ番号は 基本編 です)

| 画面に表示される<br>エラーメッセージ例 | エラー<br>コード | 対処のしかた | 参照<br>ページ |
|---|---|---|---|
| データの通信に失敗しました。 | E301 | 電話回線の接続を確認して、BS/CSメニューの通信設定を正しく行ってください。 | **54・60** |
| データが受信できません。 | E400 | 現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。 | – |
| 対象地域外のため、データを表示できません。 | E401 | 現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。 | – |
| この受信機では、データを表示できません。 | E401 | 現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。 | – |
| データの表示に失敗しました。 | E402 | 現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。 | – |

■i.LINKに関する注意文

| 注意文 | 内容・対処のしかた |
|---|---|
| 現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。 | 本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。 |
| i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。 | i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。111ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続しなおしてください。 |
| 現在選択している機器は"録画／再生"できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。 | 選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。 |

■システムエラー発生時の注意文

| 注意文 | 内容・対処のしかた |
|---|---|
| システムエラーです。<br>電源を入れなおしてください。 | マイコンの動作がおかしくなったときに表示されます。 |

# テレビ／PCメニュー項目一覧

## テレビメニュー項目一覧

### 映像調整

- 映像　0～+40
- 明るさ　−30～0～+30
- 色の濃さ　−30～0～+30
- 色あい　−30～0～+30
- 画質　−10～0～+10
- プロ設定 →
  - カラーマネージメント →
    - R　−30～0～+30
    - Y　−30～0～+30
    - G　−30～0～+30
    - C　−30～0～+30
    - B　−30～0～+30
    - M　−30～0～+30
    - リセット
  - 色温度　高、高−中、中、中−低、低
  - 黒伸張　しない、強、弱
  - 3次元設定　標準、動画より、静止画より
  - モノクロ　する、しない
  - フィルムモード　する、しない
  - I／P設定　インターレース、プログレッシブ
- リセット　する、しない

### 音声調整

- サウンドモード　ステレオ、バーチャル、標準、標準-MOVIE、標準-MUSIC、標準-NIGHT
- バランス →
  - フロント左　−6～0～+6
  - フロント右　−6～0～+6
  - センター　−6～0～+6
  - サラウンド左　−6～0～+6
  - サラウンド右　−6～0～+6
  - サブウーハー　−10～0～+10
  - テストトーン　開始、停止
  - リセット
- スピーカー切換　内蔵1、内蔵2、外部

### 省エネ設定

- 調光 →
  - 手動　−4～標準～+4
  - オートセーブ（表示あり）
  - オートセーブ（表示なし）
- 無信号オフ　する、しない
- 無操作オフ　する、しない

### 本体設定

- チャンネル設定 ※1 →
  - 自動　全て探す、追加で探す、しない
  - 地域番号　する、しない
  - 個別
    - する →
      - リモコン番号　1～20、C13～C63
      - 受信チャンネル　1～62、C13～C63
      - チャンネル表示　0～99、C13～C63
      - 受信微調整　−64～0～+63
      - GR設定　入、切
      - GR速度　標準、速い
      - スキップ　する、しない
    - しない
- 入力表示選択 ※2 →
  - ※3 ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3、ビデオ4、ビデオ、コンポーネント1、コンポーネント2、コンポーネント、D端子1、D端子2、D端子、CATV、CS、DVD、ゲーム、ムービー、D-VHS、DVR、入力1、入力2、入力3、入力4
- 位置調整 →
  - 水平位置　−10～0～+10
  - 垂直位置　−30～0～+30
  - リセット
- オートワイド →
  - 映像判別　する、しない
  - S2対応 ※2　する、しない
  - EDTVII対応　する、しない
  - D識別対応 ※4　信号、端子
- i.LINK自動切換　する、しない
- 音声入力選択 ※4　アナログ、デジタル
- スピーカーディレイ →
  - フロント左　0.1～9.0m
  - フロント右　0.1～9.0m
  - センター　0.1～9.0m
  - サラウンド左　0.1～9.0m
  - サラウンド右　0.1～9.0m
  - サブウーハー　0.1～9.0m
  - リセット
- 映像反転　標準、左右反転
- イルミネーションバー　切、標準、常時
- 言語設定　日本語、English
- ゲーム時間表示　する、しない

### 機能切換

- 入力選択 ※2　※3 自動、D端子、コンポーネント、S2映像、ビデオ映像
- ノイズクリーン　しない、強、弱
- モニター音声出力　固定、可変
- デジタル音声出力　非連動、連動
- QS駆動　する、しない

※1 テレビ入力時のみ表示されます。
※2 ビデオ入力時のみ表示されます。
※3 選択されているビデオ入力により、表示項目が異なります。
※4 ビデオ1・2入力時のみ表示されます。
● 条件によりメニュー項目が灰色の文字で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

# PCメニュー項目一覧

おしらせ

※1 入力信号の種類によっては表示されません。
※2 入力信号の種類により、表示項目が異なります。
● 条件によりメニュー項目が灰色の文字で表示される場合があり、その項目は選択することができません。

# 用語の解説（よく使われるテレビ用語です）

■ 16：9
BSデジタルハイビジョン放送の画面縦横比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ 525i
走査線525本、インターレース方式。地上放送(VHF/UHF)やBSアナログ放送と同等の画質です。

■ 525p
走査線525本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンに近い画質です。

■ 750p
走査線750本、プログレッシブ方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ 1125i
走査線1125本、インターレース方式。デジタルハイビジョンの高画質です。

■ AAC（→ MPEG2 AAC）

■ B-CAS カード（ビーキャスカード）
各ユーザー独自の番号などが記載されている、BS／110°CSデジタル放送視聴用ICカードのことです。ユーザー登録し、B-CASカードを受信機に挿入すると、双方向サービスの利用が可能となり、放送局からのメッセージを受信できるようになります。また、有料放送の視聴を希望される場合やNHKとの受信確認、そして、今後予定されている各種双方向サービスを希望される場合などにも登録済みカードが必要になります。

■ BS デジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された新しい衛星放送で、従来のBS(アナログ)放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送(BSラジオ)、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

■ 110°CS デジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星(BS)と同じ東経110°に打ち上げられた通信衛星(CS)を利用した新しいデジタル放送です。放送サービスは「プラットワン」と「スカイパーフェクTV！2」の2つのプラットフォーム(運営会社)によって提供され、BSデジタル放送と同じく、テレビ、ラジオ、データのチャンネルがあります。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル(有線)テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えています。

■ D端子

高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号(Y)と色差信号($C_B/P_B$、$C_R/P_R$)を3本のケーブルで接続(コンポーネント接続)していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり(本機はD4に対応)、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ EPG(Electronic Program Guide)

BS／110°CSデジタル放送で送られてくる番組情報のデータを使って画面で見られるようにした電子番組表のことです。

■ i.LINK(アイリンク)

i.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像やデジタル音声などマルチメディア系のデータの双方向通信を行ったり、接続した機器を操作したりできるシリアル転送方式のインターフェースです。接続はi.LINKケーブル1本で行うことができます。i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際規格です。現在、100Mbps、200Mbps、400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100、S200、S400と表示されます。

■ MPEG(Moving Picture Experts Group)

デジタル動画圧縮技術の符号化方式の1つです。一般に「エムペグ」と読みます。MPEG2は、「動き補償」「予測符号化」などの技術を使って画像データを圧縮するもので、圧縮レートは画像の内容により可変ですが、だいたい40分の1に圧縮することができます。

■ MPEG2 AAC(MPEG2 Advanced Audio Coding)

MPEG2音声圧縮技術の符号化方式の1つです。高音質、マルチチャンネル設定が可能な方式です。

■ NTSC(National Television System Committee)

日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、走査線数525本のインターレース方式です。

■ PCM(Pulse Code Modulation)

アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の1つ。音楽CDは、この方式を利用しています。

■ PPV(Pay Per View)

「ペイパービュー」と読みます。番組単位で購入契約が必要な有料番組のことです。

■ S1/S2映像

セパレート(S)映像信号に、画面比率4：3で上下に黒帯のあるワイド映像(レターボックス)や、もと16：9の映像を横方向に圧縮して4：3にした映像(スクイーズ)を自動判別する信号を加えた映像信号のことです。映画サイズの番組やビデオソフトを見るときは、自動的にレターボックスは「シネマ」に、スクイーズは「フル」になります。



次ページへつづく

# 用語の解説(つづき)

■ インターレース（飛び越し走査）

NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレース(interlace)を表します。

■ 液晶パネル

液晶を封入したパネルの電極間に電気を流すと、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ お知らせ

BS／110°CSデジタル放送局から視聴者へメッセージを送るサービスです。

■ コンポーネント接続

映像信号を輝度信号(Y)と色差信号($C_B$/$P_B$、$C_R$/$P_R$)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を用います。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、チラツキのない画質が得られます。

■ コンポジット接続

通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

■ ハイビジョン放送

BSデジタルハイビジョンの高画質放送のことです。現行の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示しているのに対し、BSデジタルハイビジョン放送は750本や1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。BSデジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。

■ プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査(「インターレース」の項を参照)をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525pの場合、525本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べ、チラツキのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を表します。

■ ワイドクリアビジョン放送

地上放送の画面のワイド化と高画質化、および画面サイズの自動切換えを目的とした放送です。本機では画面サイズの自動切換え信号のみ使用しています。

# 索引





次ページへつづく

# 索引（つづき）

| ● 製品についてのお問合せは… | | |
|---|---|---|
| お客様相談センター | 東日本相談室 | TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280** |
| | 西日本相談室 | TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993** |
| ≪受付時間≫ 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く） | | |

| ● 修理のご相談は… | 基本編 **97**ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。 |
|---|---|

| ● シャープホームページ | **http://www.sharp.co.jp/** |
|---|---|


# シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地



TINS-A436WJZZ
02P11-JKK


★この取扱説明書は再生紙を使用しています。